

モクレポ



○徳島県新浜町団地県営住宅2号棟（徳島県）
※ウッド・デザイン賞2023奨励賞（審査委員長賞）

令和6年4月

No.31

特集

- 令和6年能登半島地震に係る林野関係の被害・対応状況（第4報）
- 「第4回木材利用促進本部」の開催
- 特定技能の対象分野へ林業、木材産業を追加
- 「森林の生物多様性を高めるための林業経営の指針」の策定
- 「森林×^{アクト}ACTチャレンジ2024」募集開始

このレポートは、木材需給、木材価格、木材産業の動向等に関するデータを集約・整理し、毎月定期的に公表するものです。林業・木材産業関係者の事業活動に役立てていただくことを目指しています。

【利用上の注意】

1. 原則として毎月中旬に公表。公表日の5営業日前に入手可能なデータを反映しています。
2. 内容については、必要に応じて項目の追加・削除などの変更を行うことがあります。
3. 調査方法の見直しに伴い、データが接続しない場合があります。

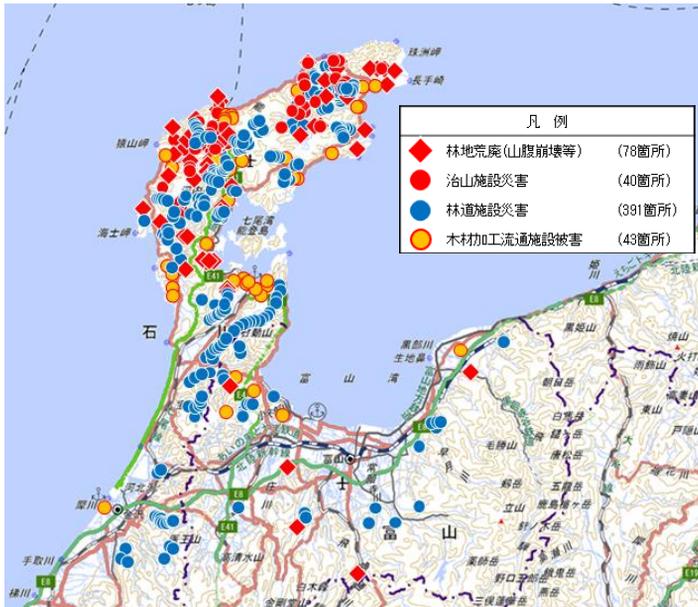
CONTENTS 令和6年4月号

特集	1 令和6年能登半島地震に係る林野関係の被害・対応状況（第4報）	…1
	2 「第4回木材利用促進本部」の開催	…2
	3 特定技能の対象分野へ林業、木材産業を追加	…4
	4 「森林の生物多様性を高めるための林業経営の指針」の策定	…5
	5 「森林×ACTチャレンジ2024」募集開始	…6
01	基礎的指標	
	1 新設住宅着工戸数	…7
	2 新設住宅着工床面積 <参考> 非居住用建築物着工床面積	…8
	3 木材産業の業況	…10
	4 USドル及びユーロ為替相場	…11
	5 米国民間新設住宅着工戸数、日本向けコンテナ運賃	…12
6 中国の木材輸入量の動向	…13	
02	木材価格情報	
	1 スギ・ヒノキ原木の主要市場価格	…14
2 木材価格（農林水産統計）	…16	
03	木材需給情報	
	1 製材工場の原木入荷、製品生産等の動向	…25
	2 合板工場の原木入荷、製品生産等の動向	…26
	3 チップ工場の原木入荷、製品生産等の動向	…27
	4 燃料材（国内生産）利用量、紙品種別生産高	…28
	5 素材生産量	…29
6 木材生産の産出額	…30	
04	林産物輸出入情報	
	1 林産物輸出額	…31
	2 木材輸出額	…32
	3 木材輸入額	…33
	4 木材輸入量	…34
5 製材・構造用集成材・合板の輸入平均単価	…40	
05	特用林産情報	
	1 特用林産物の国内生産量	…41
	2 特用林産物の産出額	…42
	3 特用林産物の輸出入量	…43
	4 特用林産物の輸出額	…44
	5 中国からのしいたけ菌糸輸入量	…47
6 きのご類の卸売数量・価格	…48	
06	セミナー・イベント情報	
4月中旬以降の開催情報	…49	
お知らせ	10月1日から消費税インボイス制度が始まりました！	…50
	独立行政法人農林漁業信用基金からのお知らせ	…52
	ウッド・チェンジ ロゴマーク活用のご案内	…53
	令和6年4月から相続登記の申請が義務化されました	…54
	緑の募金へのご協力をお願い	…56
	森林保険に関するお知らせ	…57

- 2024年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」への林野関係の被害状況、対応状況は以下のとおり。
- 今後の円滑な復旧対策事業実施のため、2024年4月1日に、林野庁近畿中国森林管理局石川森林管理署に「奥能登地区山地災害復旧対策室」を設置。

林野関係の被害状況

(3月21日現在)



(1) 林地荒廃(山腹崩壊等) <計78箇所>

県名	被災市町村と箇所数
新潟県	佐渡市1
富山県	富山市2、氷見市1、黒部市1、射水市1
石川県	七尾市8、輪島市41、珠洲市10、志賀町6、穴水町2、能登町5

(2) 治山施設災害 <計40箇所>

県名	被災市町村と箇所数
石川県	七尾市2、輪島市25、珠洲市9、穴水町1、能登町3

(3) 林道施設災害 <計391箇所>

県名	被災市町村と箇所数
新潟県	長岡市3、佐渡市3
富山県	富山市5、高岡市4、氷見市8、滑川市4、南砺市1、上市町1、立山町1、朝日町1
石川県	金沢市16、七尾市13、輪島市46、珠洲市23、羽咋市3、津幡町4、志賀町53、宝達志水町10、中能登町35、穴水町84、能登町73

(4) 木材加工流通施設被害 <計43箇所>

県名	被災市町村と箇所数
新潟県	新潟市1、佐渡市1
富山県	富山市1、高岡市2、氷見市2、入善町1
石川県	金沢市1、七尾市9、輪島市10、珠洲市4、志賀町4、穴水町3、能登町4

(5) 特用林産施設等被害 <計90箇所>

県名	被災市町村と箇所数
新潟県	新潟市7、長岡市4、小千谷市1、加茂市1、十日町市8、糸魚川市2、妙高市1、上越市4、阿賀野市1
富山県	富山市2、高岡市2、氷見市2、小矢部市3
石川県	金沢市3、七尾市1、輪島市2、珠洲市2、白山市1、能美市1、志賀町1、宝達志水町1、穴水町2、能登町8
長野県	長野市1、中野市12、飯山市16、小布施町1

「奥能登地区山地災害復旧対策室」の設置

石川森林管理署は令和6年4月1日に「奥能登地区山地災害復旧対策室」を設置し、4月12日に開所式を開催。

石川県内関係者との連絡調整を図りつつ、円滑な山地災害復旧に向けた対策を実行。



対策室開所式 (R6. 4. 12) の様子

令和6年能登半島地震に関する情報の詳細は、次のURLをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/saigai/r6notojishin.html>



特集-2 「第4回木材利用促進本部」の開催

- 2024年3月26日、都市（まち）の木造化推進法（※）に基づく第4回木材利用促進本部（本部長：農林水産大臣）を開催。
- この会合では、「令和5年度 建築物における木材の利用の促進に向けた措置の実施状況の取りまとめ」を決定。

（※）脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律

■ 第4回木材利用促進本部（2024年3月26日開催）

<出席者>

坂本農林水産大臣（本部長）
あべ文部科学副大臣
堂故国土交通副大臣
八木環境副大臣
船橋総務大臣政務官
石井経済産業大臣政務官



「令和5年度 建築物における木材の利用の促進に向けた措置の実施状況の取りまとめ」を決定するとともに、出席者から各省の取組を報告。



これまでの開催状況はこちら

■ 令和5年度 建築物における木材の利用の促進に向けた措置の実施状況の取りまとめ

建築物一般での木材利用促進に向けた取組

- 全都道府県と94%の市区町村が、木材利用方針を策定。
2021年10月策定の新基本方針を踏まえ、45都道府県及び685市区町村が改定（2023年12月末時点）。
- 国が実施する補助事業等の一元的な案内窓口として、木材利用促進本部事務局に「建築物の木造化・木質化支援事業コンシェルジュ」を設置し相談に対応。
（2023年2月の設置から1年間の相談件数：174件）
- 建築物木材利用促進協定について、2024年3月15日時点で、国16件、地方公共団体109件の協定が締結。
協定に基づき、計3,165件の建築物の木造化・木質化（約65,900㎡の木材使用、計41,200t-CO2の炭素を貯蔵）、木造に係る人材育成、情報発信等の取組が進展。



コンシェルジュの詳細はこちら



協定制度の詳細はこちら

<建築物木材利用促進協定取組事例>



- 左 [協定締結者] 株式会社 良品計画 × 農林水産省
株式会社 MUJI HOUSE
: 新店舗の完成予定パース
- 右 [協定締結者] 栃木県木材業協同組合連合会 × 那須烏山市 (栃木県)
: こども園の完成予想図

- 木材利用促進月間(10月)を中心とした普及啓発の取組(全国で279件)。
木材利用優良施設等コンクールにおいて、内閣総理大臣賞ほか4大臣賞を交付し、ウッドデザイン賞2023において、農林水産大臣賞ほか3大臣賞を交付。



- 左 農林水産大臣による木材利用促進月間の周知（2023年9月29日 定例会見）
- 右 木づかいシンポジウム2023（2023年10月24日開催）



ウッドデザイン賞の詳細はこちら



木材利用優良施設等コンクールの詳細はこちら

○木造建築物の設計及び施工に係る技術の普及の促進、住宅における木材の利用の促進、規制の在り方の検討、建築用木材の適切かつ安定的な供給の確保といった建築物への木材利用促進のための環境整備を実施。

○建築物への木材利用の状況に関しては

✓2022年における建築用材等の自給率は、49.5%で前年に比べ1.5ポイント上昇。

✓2023年に着工した建築物の木造率(床面積ベース)は、低層住宅で82.6%であるのに対して、低層非住宅建築物では14.7%、中高層建築物では住宅・非住宅ともに0.1%以下。

✓2023年に着工した中高層木造建築物の床面積は、約46,000㎡で前年よりほぼ倍増。過去10年間でみると、概ね増加傾向で推移。

国が整備する公共建築物における木材の利用の目標の達成状況

○令和4年度に国が整備した、積極的に木造化を促進するとされている公共建築物のうち、木造化された公共建築物は91棟あり、施設が必要とする機能等の観点から木造化が困難であったものを除くとその木造化率は100%。

＜国が整備した公共建築物での木材利用推進状況＞

整備及び使用実績	単位	R3年度	R4年度
基本方針において積極的に木造化を促進するとされている公共建築物等 ^{注1} のうち木造化された公共建築物	棟数【A】	75	91
	延べ面積(㎡)	10,760	13,565
各省各庁において木造化になじまない等と判断された公共建築物 ^{注2}	棟数	19	12
うち、施設が必要とする機能等の観点から木造化が困難であったもの ^{注3}	棟数	17	12
うち、木造化が可能であったもの	棟数【B】	2	0
木造化率(A/(A+B))		97.4%	100%
内装等が木質化された公共建築物 ^{注4}	棟数	177	194
木造化及び木質化による木材使用量 ^{注5}	㎥	5,546	5,829

注1:基本方針に基づき、コストや技術の面で木造化が困難である建築物等を除いたもの。ただし、令和3年度末までに設計に着手しているもの等にあつては、旧基本方針に基づき、建築基準法等において耐火建築物とすること又は主要構造部を耐火構造とすることが求められる建築物等を除いた低層の公共建築物。
 注2:注1のうち、当該建築物に求められる機能等の観点から、各省各庁において木造化になじまない又は木造化を図ることが困難であると判断された施設。
 注3:注2について、林野庁・国土交通省の検証チームが、各省各庁にヒアリングを行い、木造化しなかった理由等について検証をした結果。
 注4:木造化された公共建築物の棟数は除いたもので集計。
 注5:木造化を図った公共建築物の内、使用量が不明なものは0.22㎥/㎡で換算した値。
 なお、内装等に木材を使用した公共建築物で、使用量が不明なものについての木材使用量は未計上。

＜木造化した公共建築物の事例＞



法務省 湖南学院 職員宿舎 (石川県)



厚生労働省 国立重度知的障害者総合施設のぞみ園 (群馬県)



農林水産省 農林水産研修所つくば館水戸ほ場庁舎 研究本館 (茨城県)



国土交通省 道の駅若狭美浜はまびより (福井県)

＜内装等の木質化を行った公共建築物の事例＞



環境省 富士山須走ロインフォメーションセンター (静岡県) [内壁等]



防衛省 陸上自衛隊俱知安駐屯地体育館 (北海道) [床、壁]

公共建築物における木材の利用の促進に向けた国の取組

○技術基準類の整備、公共建築物の木造化・木質化に対する支援、木材利用促進に関する講習会等を開催するなど、公共建築物における木材の利用促進に向けた取組を実施。

「令和5年度 建築物における木材の利用の促進に向けた措置の実施状況の取りまとめ」の詳細は、次のURLをご覧ください。

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/koukyou/kentikubutusoti.html>



特集-3 特定技能の対象分野へ林業、木材産業を追加

- ・ 特定技能制度とは、一定の専門性・技能を有し即戦力となる外国人を受け入れる制度。
- ・ 2024年3月29日に、新規の林業、木材産業を含む4分野の対象分野への追加を閣議決定（そのほかの新規は自動車運送、鉄道）。
- ・ 今後、関係省令・告示の公布・施行を行った上で、技能評価試験の準備・実施。

特定技能制度とは

○特定技能制度について

人材確保が困難な産業上の分野に限り、専門性・技能を有し即戦力となる外国人を受け入れるための在留資格(特定技能1号及び特定技能2号)
(平成31年4月から実施)

○既存の12分野

介護	航空
ビルクリーニング	宿泊
製造業	農業
建設	漁業
造船・船用工業	飲食料品製造業
自動車整備	外食業

特定技能1号

在留期間

在留資格を得るための
①技能水準、
②日本語能力水準

家族の帯同

上限5年

①、②試験等で確認
※技能実習2号を修了した場合は免除

基本的に認めない

特定技能2号

更新は必要だが、更新回数に制限なし

①試験等で確認
②試験等での確認は原則として不要

要件を満たせば可能

対象分野追加について

林業、木材産業分野は、2024年3月29日に特定技能1号への追加が閣議決定

	林業分野	木材産業分野
業務内容	育林、素材生産等	製材業、合板製造業などに係る木材の加工工程等 <small>※繊維板等の製造や家具製造等は含まれない</small>
受入れ見込数 (5年間の上限数)	1,000人	5,000人
技能評価試験	林業技能測定試験	木材産業特定技能1号測定試験 <small>※技能実習2号修了者は免除</small>
日本語能力試験 <small>※技能実習2号修了者は免除</small>	国際交流基金日本語基礎テスト又は日本語能力試験(N4以上)	



林業分野の業務イメージ



木材産業分野の業務イメージ

今後の予定

関係省庁

- ・ 省令・告示の公布、施行
- ・ 試験の作成・準備
- ・ 試験概要等の公表、周知

外国人本人

受験準備

受入れ機関 (個別の企業等)

受入れに向けた手続き
(企画・立案、面接、雇用契約等)

新規分野における特定技能の試験開始 ※技能実習ルートの場合、試験免除

試験受験
合格

※合格の後には在留申請して、その後特定技能外国人の受入れが開始となる。

特定技能制度の閣議決定等に関しては、次のURLをご覧ください。

https://www.moj.go.jp/isa/applications/ssw/nyuukokukanri01_00132.html



「森林の生物多様性を高めるための林業経営の指針」の策定

- 林野庁は、2024年3月29日に、生物多様性を高めるための具体的な森林管理手法を示した「森林の生物多様性を高めるための林業経営の指針」を策定・公表。
- 同日、林業事業者等による生物多様性保全の取組事例を整理した事例集も公表。

経緯

- 2022年の「昆明・モントリオール生物多様性枠組」による30by30目標の設定や、「自然関連財務情報開示タスクフォース（TNFD）」の動き等により、民間企業の生物多様性保全に対する関心が高まる。
- 林野庁では、令和5年12月に「生物多様性保全に資する森林管理のあり方に関する検討会」を設置。本年3月に「森林の生物多様性を高めるための林業経営の指針」を策定。
- 策定に当たっては、案文のパブリックコメントを実施、122件の意見提出あり。

指針の概要

（目的）森林の経営管理による生物多様性を高めるための森林管理のあり方を明確化。

（対象）森林の管理の担い手となっている林業事業者等（森林組合、林業事業者、社有林保有企業体、公有林を所有する自治体等）。

（主な内容）

- 林業の生産活動自体が生態系サービスの発揮に貢献すること、民間企業との連携による生物多様性保全は林業経営の新たな収益機会となることを強調。
- 生物多様性を高めるための課題を整理（森林管理の手法、社会・経済的課題、活動の評価等）
- 生物多様性を高めるための具体的な森林管理手法を提示（面的な管理、施業手法、病虫害への対応、里山林の整備等）。
- 「森林ポジティブ計画」として、自ら活動目標を設定した上で、活動状況と森林環境のモニタリングにより、「PDCAサイクル」を回すことを推奨。

事例集

- 本指針の策定に併せて、森林の生物多様性を高める林業経営に取り組む林業事業者等の優良事例を示した事例集を作成。
- 全国の24事例を分野別に紹介



「森林の生物多様性を高めるための林業経営の指針」

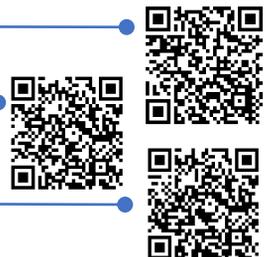
https://www.rinya.maff.go.jp/j/sin_riyou/tayousei/attach/pdf/top-4.pdf

「森林の生物多様性を高めるための林業経営事例集」

https://www.rinya.maff.go.jp/j/sin_riyou/tayousei/attach/pdf/top-3.pdf

生物多様性保全に資する森林管理のあり方に関する検討会

https://www.rinya.maff.go.jp/j/sin_riyou/tayousei/kentoukai.html



特集-5 「森林×^{アクト}ACTチャレンジ2024」 募集開始

林野庁は、2024年4月15日より、森林づくり活動等を通じて、カーボンニュートラルの実現、生物多様性の保全等に貢献する企業等の取組を顕彰する「森林×ACTチャレンジ2024」の募集を開始。

■ 「森林×^{アクト}ACTチャレンジ」とは

日本の国土の3分の2は森林が占めており、これらを適切に整備・保全することは、森林によるCO₂吸収量の確保や強化につながり、2050年カーボンニュートラルの実現に貢献するとともに、生物多様性保全といった公益的機能を発揮させる上でも重要。

SDGsやESG投資への関心が高まる中、企業等が支援をして行う森林づくり活動が全国で拡大。民間の活力を活かした森林づくり活動は、森林整備による気候変動対策や生物多様性保全を国民運動として展開する上で、また、豊かな自然を未来に守り伝えるためにも重要。

このため、森林の適切な整備・保全につながる企業等の森林づくり活動や森林由来J-クレジットの活用を推進するため、企業等の取組を募集。



2023年グランプリ(農林水産大臣賞) 和の会/(株)明和不動産管理/(株)明和不動産管理/小国町(熊本県)/(株)ATGREEN クレジットを創出した小国杉の森林

■ 募集内容

応募対象

令和4年度及び令和5年度に、以下の取組を行った企業・団体・個人・地方自治体

自ら又は支援をして森林整備に取り組んだ

森林由来J-クレジットを無効化した

<募集内容>

森林づくり部門

- ① 整備した森林の1年間のCO₂吸収量
- ② 森林整備に関する取組内容
 - ・森林整備に取り組む背景・目的
 - ・森林の循環利用への貢献
 - ・山村地域の振興への貢献
 - ・**生物多様性保全への貢献**
 - ・その他公益的機能発揮への貢献

審査項目を追加

<募集内容>

J-クレジット部門

- ① 無効化したJ-クレジット量(CO₂吸収量)
- ② 無効化したJ-クレジットに関する活用内容・効果
 - ・森林由来J-クレジット選択の理由・目的
 - ・クレジットの活用方法・計画等
 - ・クレジット購入による森林整備等への貢献(特に、**生物多様性保全に貢献する取組**)

外部有識者による審査委員会において受賞者を選定

【募集期間】

2024年4月15日(月)
～6月28日(金)17時

表彰区分

- **グランプリ**
(農林水産大臣賞)
全ての応募者から1件
- **優秀賞(林野庁長官賞)**
森林づくり部門
...9件以内
J-クレジット部門
...3件以内

■ 応募のメリット

<メリット1: マークで自社の取組をPR!>

全ての応募者が、森林づくり活動等を通じてカーボンニュートラルの実現、生物多様性保全に貢献する証として「グリーンパートナーマーク」(右図)を取組のPRに使用可能。

<メリット2: 林野庁が皆様の取組を発信!>

応募者のCO₂吸収量や取組内容等について、林野庁ウェブサイトやSNS及び各種広報媒体を通じ広く発信。

<メリット3: 林野庁内に木製銘板を掲示!>

さらに、グランプリ・優秀賞の受賞者について、応募者名とCO₂吸収量を刻印した木製銘板を林野庁庁舎内に設置。



グリーンパートナーマーク

- ① 募集内容や応募方法の詳細については、林野庁ウェブサイトをご覧ください
https://www.rinya.maff.go.jp/j/kikaku/forest_act_challenge/2024.html
- ② BUZZ MAFFでも紹介動画を公開中。審査委員長からのメッセージも!
<https://www.youtube.com/watch?v=ciF-MQoiHQo>

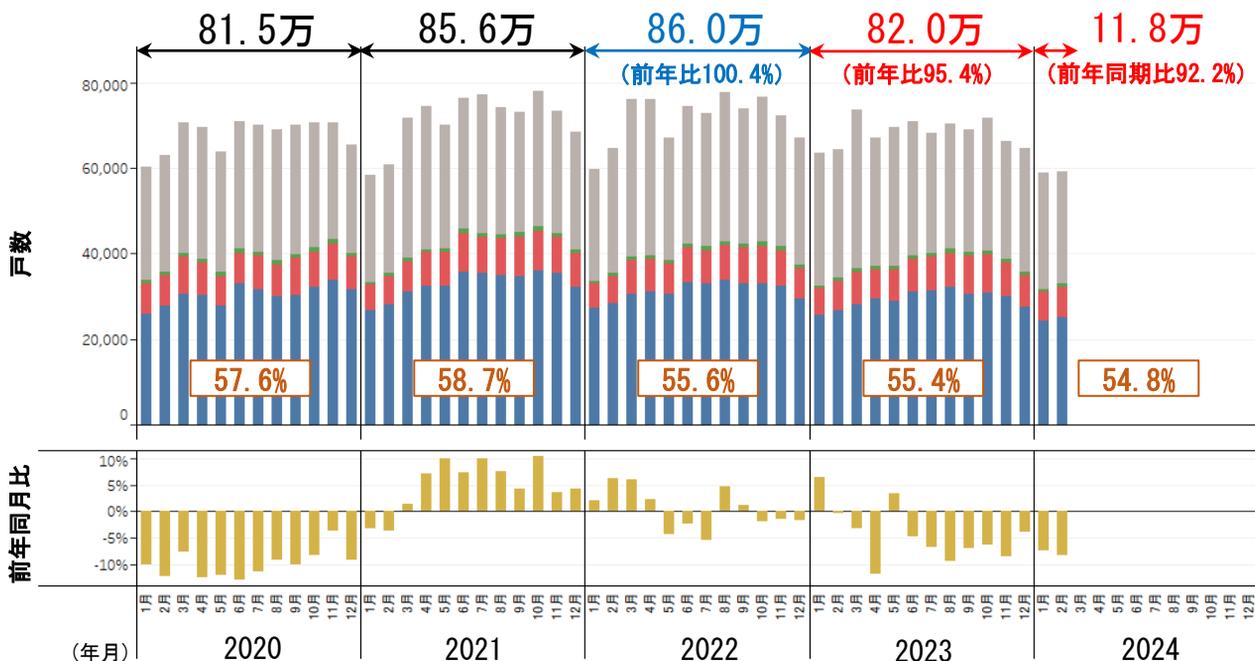


①

②

基礎的指標-1 新設住宅着工戸数

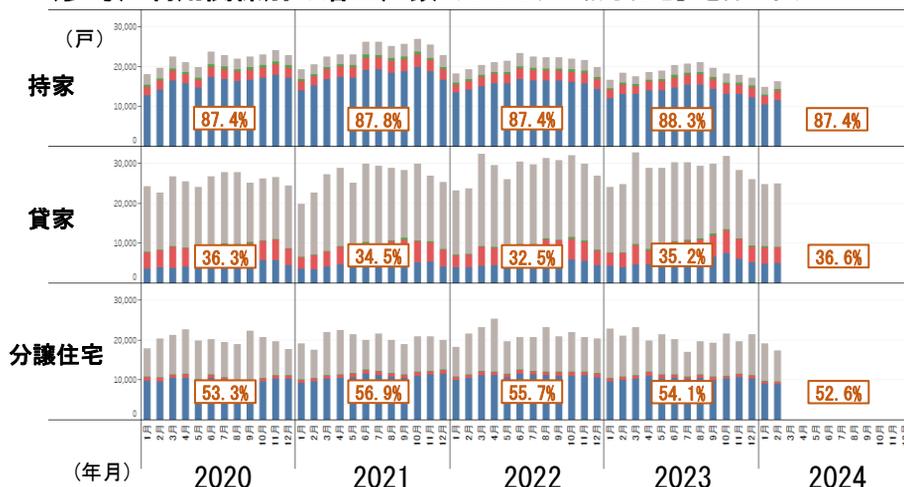
- 2023年の新設住宅着工戸数は、82.0万戸（前年比95.4%）、このうち木造住宅は、45.4万戸（同95.1%）
- 2024年1～2月の新設住宅着工戸数は、11.8万戸（前年同期比 92.2%）、このうち木造住宅は、6.5万戸（同96.5%）。



(単位：戸)

構造別の着工戸数	2024年 1～2月	2023年 同期	2023年 同期比	2022年 同期	2022年 同期比
合計	118,011	128,030	92.2%	124,304	94.9%
■非木造	53,328	61,031	87.4%	55,183	96.6%
木造	64,683	66,999	96.5%	69,121	93.6%
■木造プレハブ	1,490	1,527	97.6%	1,263	118.0%
■2×4	13,734	12,911	106.4%	12,048	114.0%
■在来軸組	49,459	52,561	94.1%	55,810	88.6%
□木造率	54.8%	52.3%		55.6%	

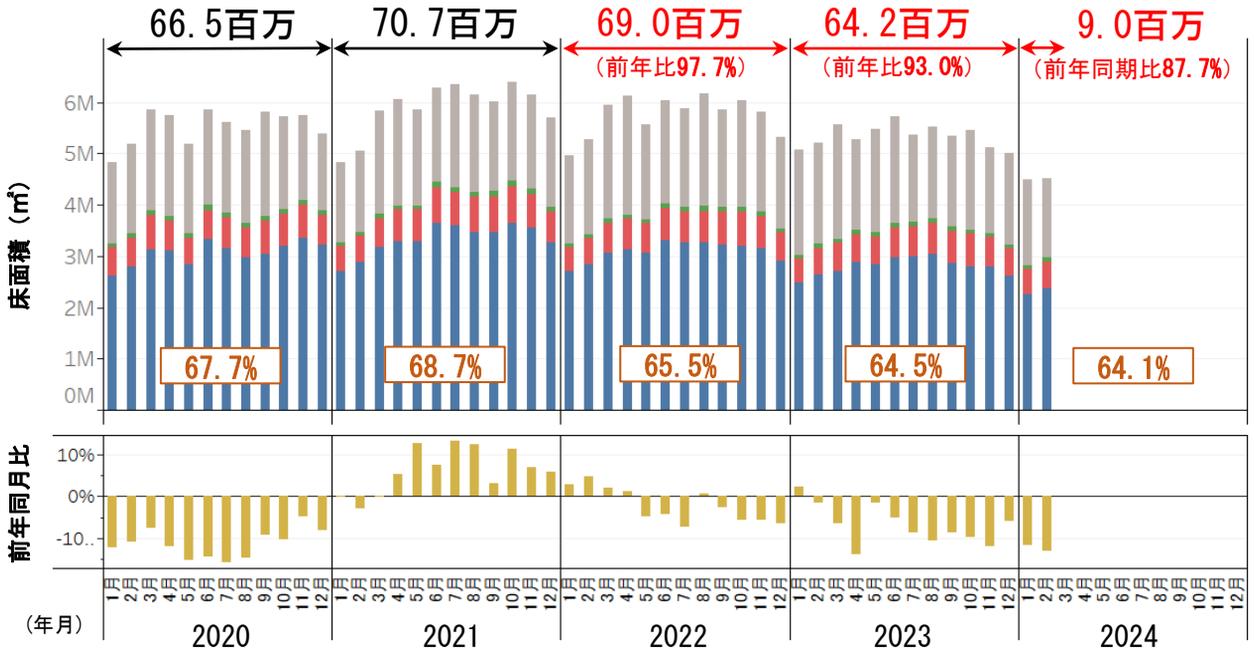
(参考) 利用関係別の着工戸数 (ただし、「給与住宅」を除く。)



資料：国土交通省「住宅着工統計」

基礎的指標-2 新設住宅着工床面積

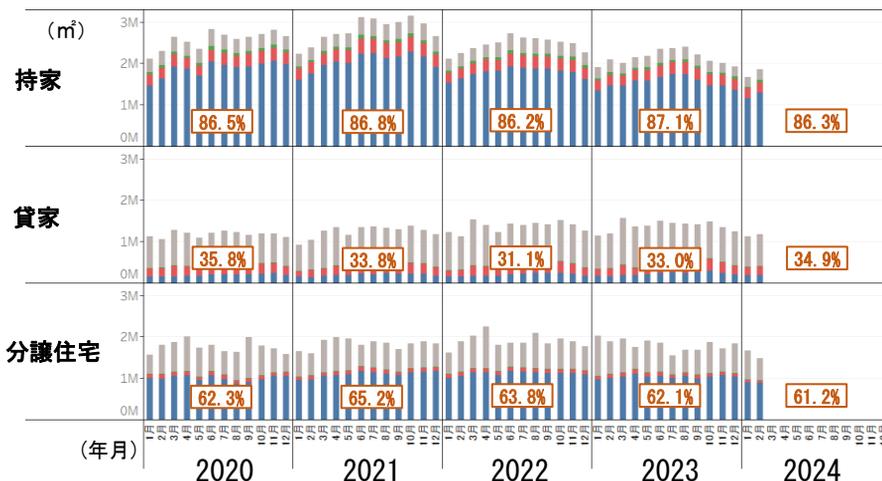
- 2023年の新設住宅着工床面積は、64.2百万㎡（前年比93.0%）、このうち木造住宅は、41.4百万㎡（同91.7%）
- 2024年1～2月の新設住宅着工床面積は、9.0百万㎡（前年同期比87.7%）、このうち木造住宅は、5.8百万㎡（同92.2%）。



(単位：千㎡)

構造別の 着工床面積	2024年 1～2月	2023年 同期	2023年 同期比	2022年 同期	2022年 同期比
合計	9,013	10,277	87.7%	10,250	87.9%
■ 非木造	3,233	4,007	80.7%	3,602	89.7%
■ 木造	5,780	6,270	92.2%	6,647	87.0%
■ 木造プレハブ	149	148	100.9%	130	114.8%
■ 2×4	1,017	1,008	100.9%	957	106.3%
■ 在来軸組	4,614	5,114	90.2%	5,561	83.0%
□ 木造率	64.1%	61.0%		64.9%	

(参考) 利用関係別の着工床面積 (ただし、「給与住宅」を除く。)



資料：国土交通省「住宅着工統計」

＜参考＞非居住用建築物着工床面積

(單位:千㎡、%)

年次	月	合計		構造別			
			前年比	木造	前年比	非木造	前年比
2020年	1	2,973	75	228	88	2,745	74
	2	3,605	97	230	95	3,374	98
	3	3,718	112	280	95	3,437	113
	4	4,086	92	312	88	3,774	92
	5	4,078	98	259	79	3,818	99
	6	3,798	82	347	92	3,451	81
	7	3,855	77	323	71	3,532	78
	8	3,662	92	371	77	3,291	94
	9	3,891	108	416	97	3,476	109
	10	3,635	93	400	98	3,235	92
	11	3,371	90	346	90	3,025	90
	12	3,565	85	308	93	3,257	85
2021年	1	3,364	113	246	108	3,118	114
	2	3,345	93	241	105	3,104	92
	3	4,272	115	287	103	3,984	116
	4	4,207	103	347	111	3,861	102
	5	4,277	105	307	119	3,970	104
	6	4,275	113	327	94	3,948	114
	7	4,082	106	344	107	3,738	106
	8	3,127	85	299	81	2,828	86
	9	3,700	95	307	74	3,394	98
	10	5,328	147	341	85	4,987	154
	11	3,737	111	293	85	3,444	114
	12	4,747	133	281	91	4,465	137
2022年	1	3,237	96	214	87	3,023	97
	2	3,711	111	223	93	3,488	112
	3	3,627	85	244	85	3,384	85
	4	4,866	116	285	82	4,581	119
	5	3,920	92	318	104	3,602	91
	6	4,788	112	349	107	4,438	112
	7	4,983	122	346	101	4,637	124
	8	3,980	127	327	109	3,653	129
	9	3,589	97	354	115	3,236	95
	10	3,599	68	300	88	3,299	66
	11	3,512	94	299	102	3,213	93
	12	3,391	71	256	91	3,134	70
2023年	1	3,898	120	216	101	3,682	122
	2	3,570	96	224	100	3,346	96
	3	2,803	77	226	93	2,577	76
	4	4,804	99	306	107	4,498	98
	5	3,254	83	325	102	2,930	81
	6	3,148	66	315	90	2,834	64
	7	3,612	72	278	80	3,333	72
	8	3,523	89	332	102	3,191	87
	9	3,617	101	342	97	3,275	101
	10	4,622	128	292	97	4,330	131
	11	3,170	90	297	99	2,873	89
	12	3,426	101	254	99	3,172	101
2024年	1	3,269	84	199	92	3,071	83
	2	3,105	87	192	86	2,913	87
2020年計		44,237	91	3,820	88	40,415	91
2021年計		48,461	110	3,620	95	44,841	111
2022年計		47,203	97	3,515	97	43,688	97
2023年計		43,447	92	3,407	97	40,041	92
2020年	第1四半期	10,296	94	738	93	9,556	94
	第2四半期	11,962	90	918	87	11,043	91
	第3四半期	11,408	91	1,110	81	10,299	92
	第4四半期	10,571	89	1,054	94	9,517	89
2021年	第1四半期	10,981	107	774	105	10,206	107
	第2四半期	12,759	107	981	107	11,779	107
	第3四半期	10,909	96	950	86	9,960	97
	第4四半期	13,812	131	915	87	12,896	136
2022年	第1四半期	10,575	96	681	88	9,895	97
	第2四半期	13,574	106	952	97	12,621	107
	第3四半期	12,552	115	1,027	108	11,526	116
	第4四半期	10,502	76	855	93	9,646	75
2023年	第1四半期	10,271	97	666	98	9,605	97
	第2四半期	11,206	83	946	99	10,262	81
	第3四半期	10,752	86	952	93	9,799	85
	第4四半期	11,218	107	843	99	10,375	108

資料：国土交通省「建築着工統計調査報告」

基礎的指標-3 木材産業の業況

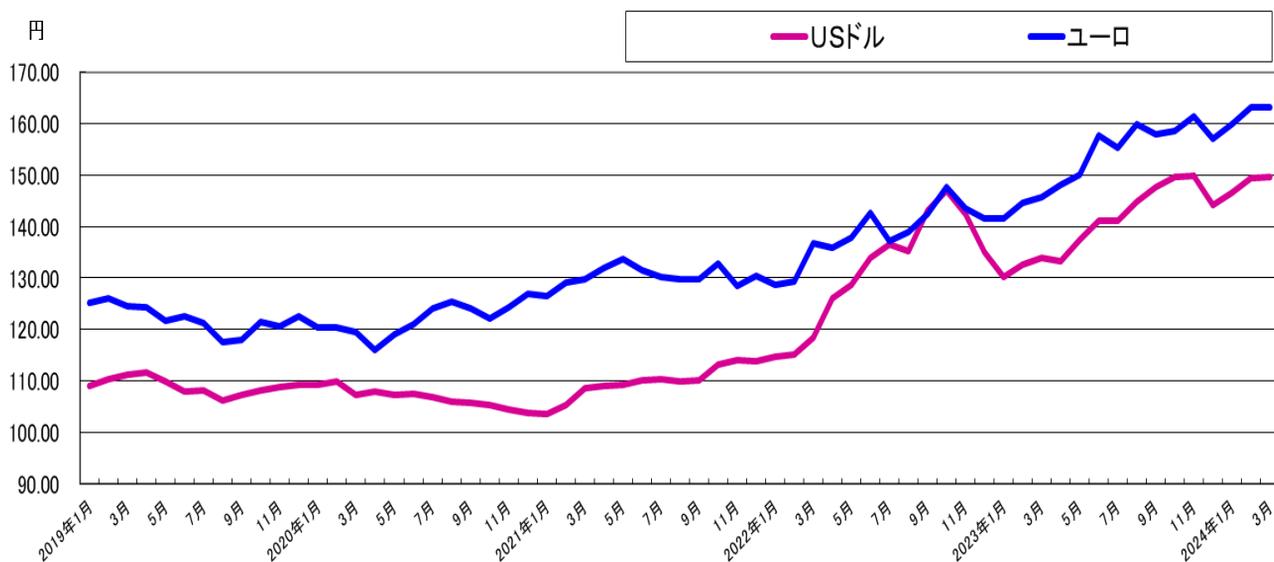
- 2023年は、木材産業の倒産件数が27件（前年比208%）、負債金額が5,322百万円（同70%）
- 2024年1～2月は、木材産業の倒産件数が2件（前年同期比50%）、負債金額が256百万円（同67%）

年・月		企業倒産状況							
		全 企 業				木材・木製品業			
		件数 (件)	前年 比(%)	負債金額 (百万円)	前年 比(%)	件数 (件)	前年 比(%)	負債金額 (百万円)	前年 比(%)
2021年	1	474	61	81,388	65	2	-	180	-
	2	446	69	67,490	95	0	-	0	-
	3	634	86	141,453	134	3	300	327	109
	4	477	64	84,098	58	4	40	50	4
	5	472	150	168,664	207	1	50	120	38
	6	541	69	68,566	53	5	125	3,296	742
	7	476	60	71,465	71	0	-	0	-
	8	466	70	90,973	126	1	50	10	7
	9	505	89	90,860	128	2	200	230	36
	10	525	84	98,464	126	0	-	0	-
	11	510	90	94,101	92	0	-	0	-
	12	504	90	93,181	67	1	100	100	400
2022年	1	452	95	66,940	82	1	50	13	7
	2	459	103	70,989	105	0	-	0	-
	3	593	94	169,673	120	4	133	2,010	615
	4	486	102	81,253	97	2	50	2,900	5,800
	5	524	111	87,380	52	1	100	180	150
	6	546	101	1,232,583	1,798	0	-	0	-
	7	494	104	84,570	118	0	-	0	-
	8	492	106	111,428	122	1	100	1,880	18,800
	9	599	119	144,871	159	1	50	45	20
	10	596	114	86,995	88	1	-	200	-
	11	581	114	115,589	123	1	-	86	-
	12	606	120	79,172	85	1	100	331	331
2023年	1	570	126	56,524	84	3	300	230	1,769
	2	577	126	96,580	136	1	-	154	-
	3	809	136	147,434	87	4	100	1,340	67
	4	610	126	203,861	251	3	150	1,122	39
	5	706	135	278,734	319	2	200	270	150
	6	770	141	150,947	12	3	-	571	-
	7	758	153	162,137	192	3	-	339	-
	8	760	154	108,377	97	2	200	140	7
	9	720	120	691,942	478	0	-	0	-
	10	793	133	308,010	354	0	-	0	-
	11	807	139	94,871	82	1	100	50	58
	12	810	134	103,228	130	5	500	1,106	334
2024年	1	701	123	79,123	140	1	33	166	72
	2	712	123	139,596	145	1	100	90	58
2021年計		6,030	78	1,150,703	94	19	70	4,313	112
2022年計		6,428	107	2,331,443	203	13	68	7,645	177
2023年計		8,690	135	2,402,645	103	27	208	5,322	70
2021年	第1四半期	1,554	72	290,331	96	5	500	507	169
	第2四半期	1,490	81	321,328	90	10	63	3,466	170
	第3四半期	1,447	72	253,298	104	3	75	240	27
	第4四半期	1,539	88	285,746	90	1	17	100	16
2022年	第1四半期	1,504	97	307,602	106	5	100	2,023	399
	第2四半期	1,556	104	1,401,216	436	3	30	3,080	89
	第3四半期	1,585	110	340,869	135	2	67	1,925	802
	第4四半期	1,783	116	281,756	99	3	300	617	617
2023年	第1四半期	1,956	130	300,538	98	8	160	1,724	85
	第2四半期	2,086	134	633,542	45	8	267	1,963	64
	第3四半期	2,238	141	962,456	282	5	250	479	25
	第4四半期	2,410	135	506,109	180	6	200	1,156	187

資料：東京商工リサーチ「TSR情報（全国企業倒産状況）」

基礎的指標-4 USドル及びユーロ為替相場

- 2024年3月の為替相場は、1ドル149.63円、1ユーロ163.24円。



(単位:円)

年月	USドル	ユーロ
2019年1月	108.95	125.15
2月	110.36	126.09
3月	111.21	124.56
4月	111.66	124.38
5月	109.83	121.74
6月	108.06	122.49
7月	108.22	121.19
8月	106.27	117.63
9月	107.41	118.02
10月	108.12	121.46
11月	108.86	120.59
12月	109.18	122.54
2020年1月	109.34	120.30
2月	109.96	120.32
3月	107.29	119.55
4月	107.93	116.00
5月	107.31	119.13
6月	107.56	121.08
7月	106.78	124.13
8月	106.04	125.47
9月	105.74	124.17
10月	105.24	122.14
11月	104.40	124.38
12月	103.82	126.95
2021年1月	103.70	126.48
2月	105.36	129.15
3月	108.65	129.80
4月	109.13	131.99
5月	109.19	133.74
6月	110.11	131.58
7月	110.29	130.11
8月	109.84	129.69
9月	110.17	129.86
10月	113.10	132.77
11月	114.13	128.41
12月	113.87	130.51

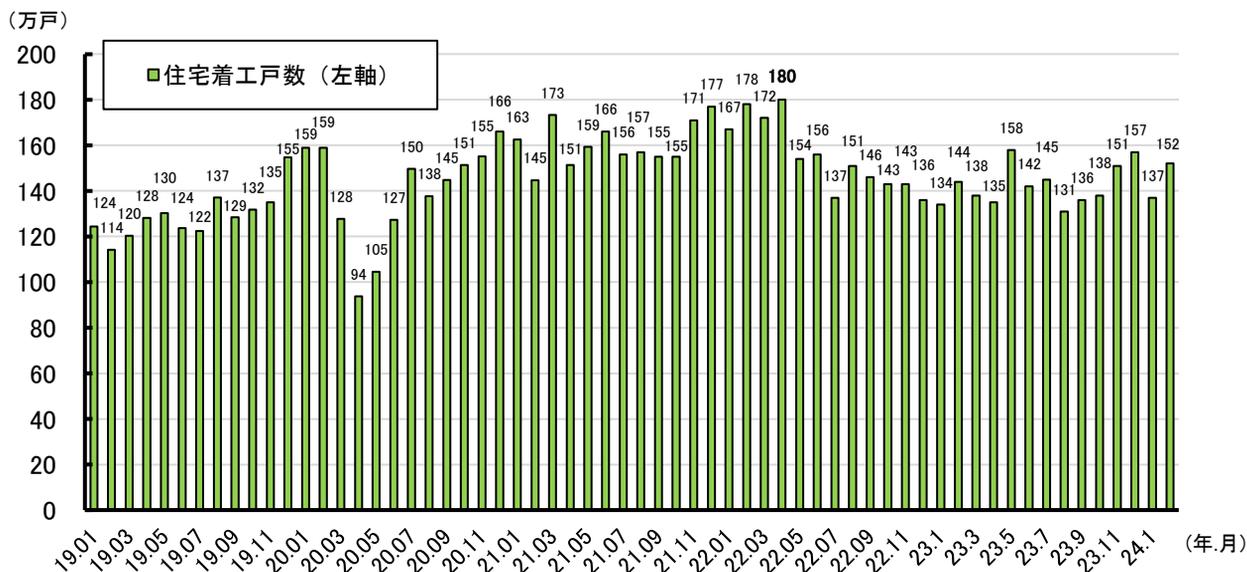
(単位:円)

年月	USドル	ユーロ
2022年1月	114.83	128.66
2月	115.20	129.34
3月	118.51	136.70
4月	126.04	135.83
5月	128.78	137.76
6月	133.86	142.67
7月	136.63	137.25
8月	135.24	139.03
9月	143.14	142.32
10月	147.01	147.59
11月	142.44	143.58
12月	134.93	141.47
2023年1月	130.20	141.56
2月	132.68	144.61
3月	133.85	145.72
4月	133.33	148.04
5月	137.37	150.04
6月	141.19	157.60
7月	141.21	155.35
8月	144.77	159.84
9月	147.67	158.00
10月	149.53	158.66
11月	149.83	161.51
12月	144.07	157.12
2024年1月	146.57	159.97
2月	149.42	163.25
3月	149.63	163.24

資料：USドルは日銀 主要時系列統計データ表 為替相場（東京市場 スポットレート 中心相場 月中平均）、ユーロは日銀「金融経済統計月報」対顧客為替相場。

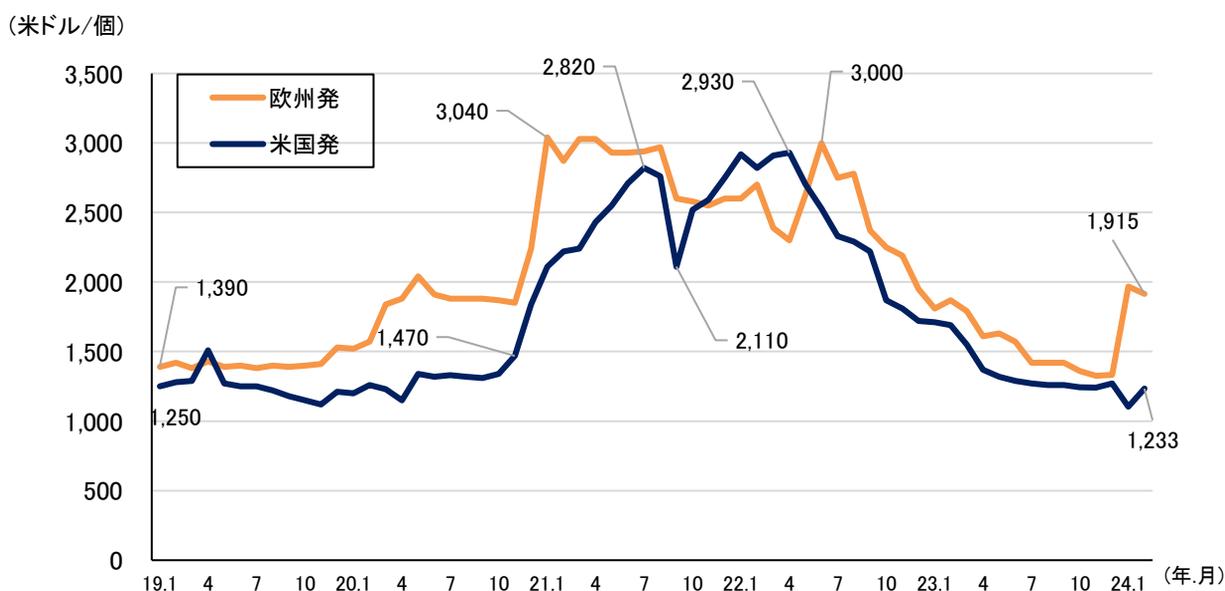
- 2024年2月の米国の住宅着工戸数(年率換算、戸建て計)は、前月比111%の約152万戸。
- 日本向けコンテナ運賃は、欧州発、米国発ともに一時期高騰していたが、2023年末時点で2019年頃の水準に戻った。2024年1月以降は、紅海でのフーシ派攻撃によるサプライチェーンの混乱の影響で欧州発コンテナ運賃が高騰。

○米国における住宅着工戸数



資料: (住宅着工戸数)米国商務省「住宅着工統計」(季節調整済み、年率換算、戸建て計)

○日本向けコンテナ運賃の推移



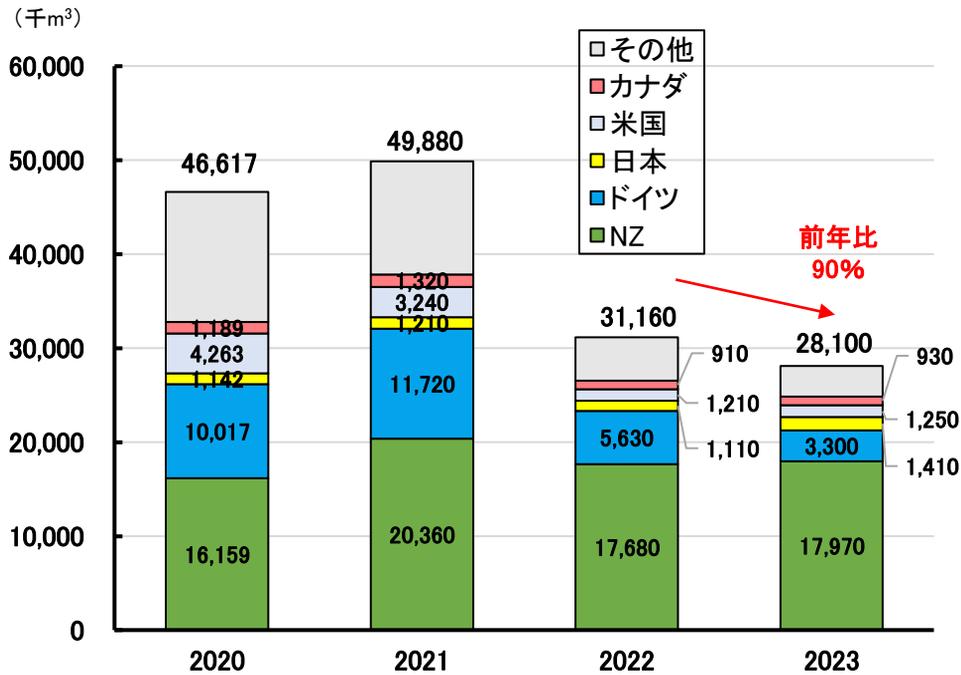
注: 40ftコンテナ。「米国発」はLos Angeles発横浜着、「欧州発」はRotterdam発横浜着。

出典: Drewry「Container Freight Rate Insight」

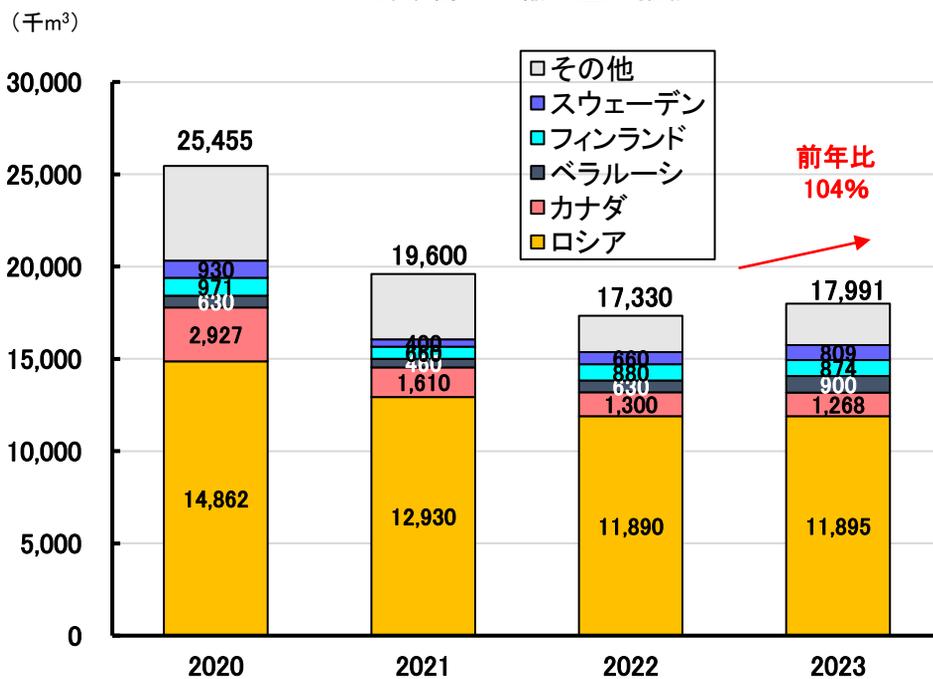
資料: 日本海事センター「主要航路コンテナ運賃動向」

- 2023年の中国における針葉樹丸太輸入量は、前年比90%の2,810万m³。
- 同年の中国における針葉樹製材輸入量は、前年比104%の1,799万m³。

○中国の木材輸入量(2020年~2023年)



針葉樹丸太輸入量の推移

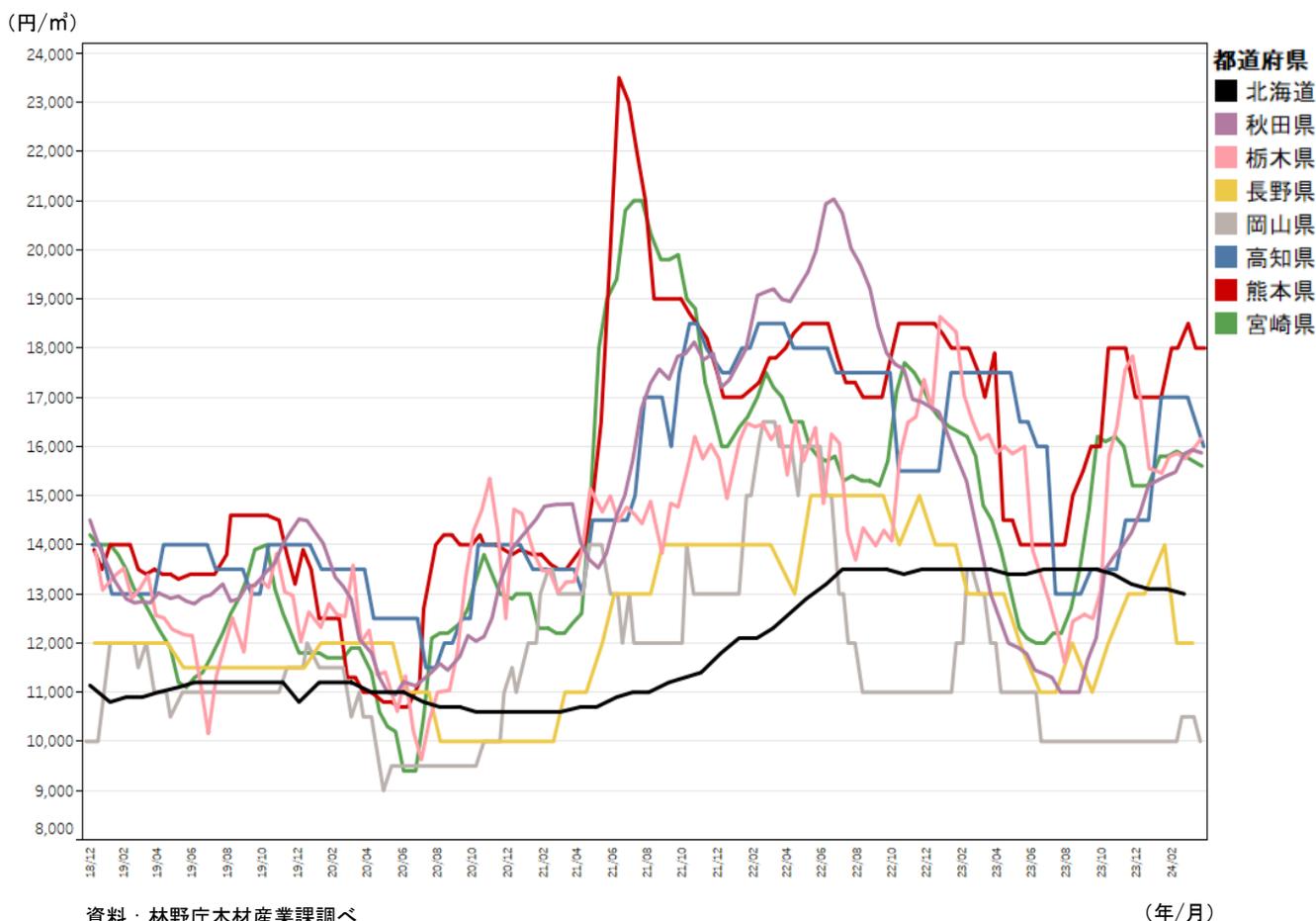


針葉樹製材輸入量の推移

資料:ITTO (Tropical Timber Market Report, Vol.26 (3) (5)、Vol.27 (3) (4)、Vol.28(3)(4)を基に作成

木材価格情報-1 スギ原木の主要市場価格

- 全国の原木市場・共販所において、直近のスギ原木価格は、10,000円～18,000円/㎡となっている。



資料：林野庁木材産業課調べ

注1：北海道はカラマツ（工場着価格）。

注2：径24cm程度、長さ3.65～4.0m（2018年12月～）。

注3：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。

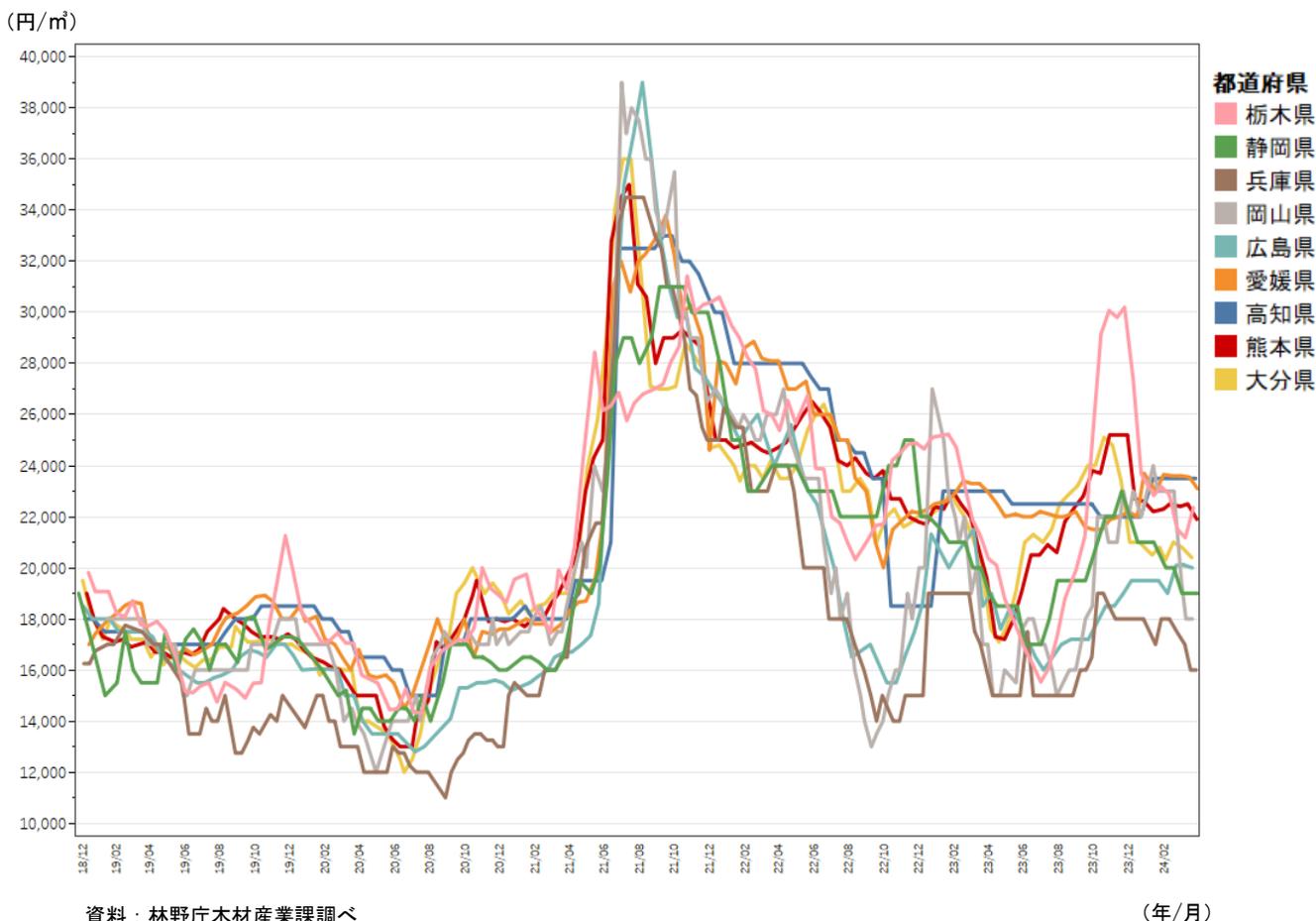
(年/月)

(単位：円/㎡)

都道府県	2024年直近※	前年同期	前年同期比
■ 北海道	13,000	13,500	96%
■ 秋田県	15,870	13,000	122%
■ 栃木県	16,160	16,240	100%
■ 長野県	12,000	13,000	92%
■ 岡山県	10,000	12,000	83%
■ 高知県	16,000	17,500	91%
■ 熊本県	18,000	17,900	101%
■ 宮崎県	15,600	14,500	108%

※北海道については2月、秋田県、栃木県、長野県、岡山県、高知県、熊本県及び宮崎県については3月の値を使用。

- 全国の原木市場・共販所において、直近のヒノキ原木価格は、16,000円～23,500円/㎡となっている。



資料：林野庁木材産業課調べ

注1：径24cm程度、長3.65～4.0m（2018年12月～）

注2：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。

(年/月)

(単位：円/㎡)

都道府県	2024年直近※	前年同期	前年同期比
栃木県	22,360	21,250	105%
静岡県	19,000	19,000	100%
兵庫県	16,000	17,000	94%
岡山県	18,000	17,000	106%
広島県	20,000	18,500	108%
愛媛県	23,100	23,000	100%
高知県	23,500	23,000	102%
熊本県	21,900	19,600	112%
大分県	20,400	20,300	100%

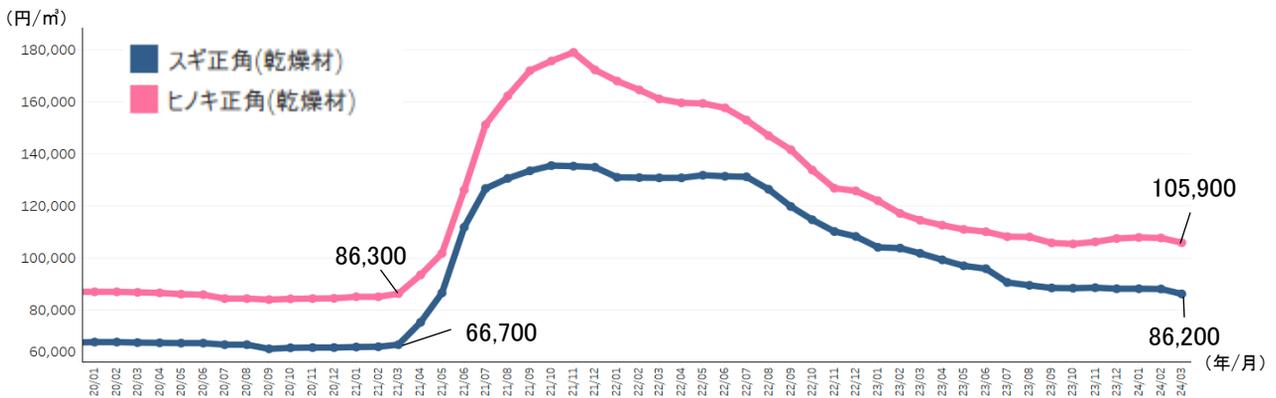
※各県3月の値を使用。

木材価格情報-2 木材価格（農林水産統計）

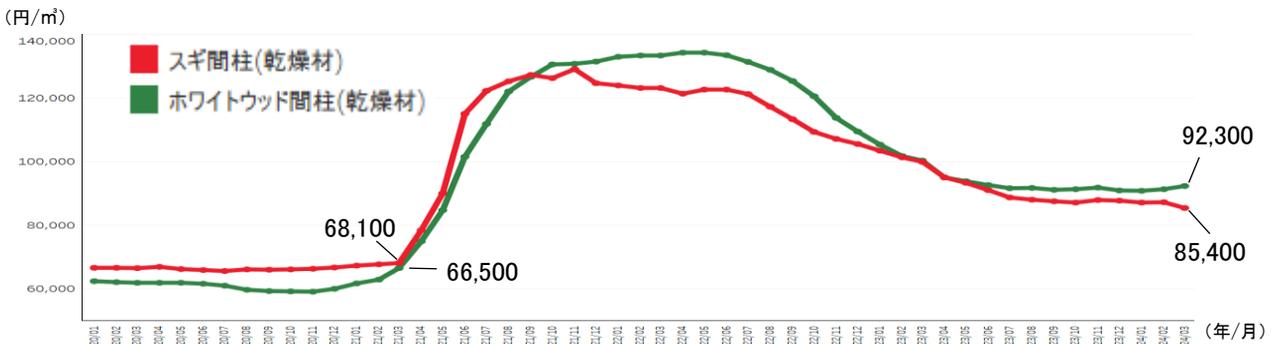
- 2024年3月の正角（乾燥材）の価格について、スギは86,200円/m³（前年同期比85%）、ヒノキは105,900円/m³（同92%）。
- 同月の間柱（乾燥材）の価格は、スギは85,400円/m³（前年同期比85%）、ホワイトウッドは92,300円/m³（同92%）。
- 2024年3月の針葉樹合板の価格は、1,680円/枚（前年同月比76%）。

■主な製材品等の価格推移（全国平均価格）

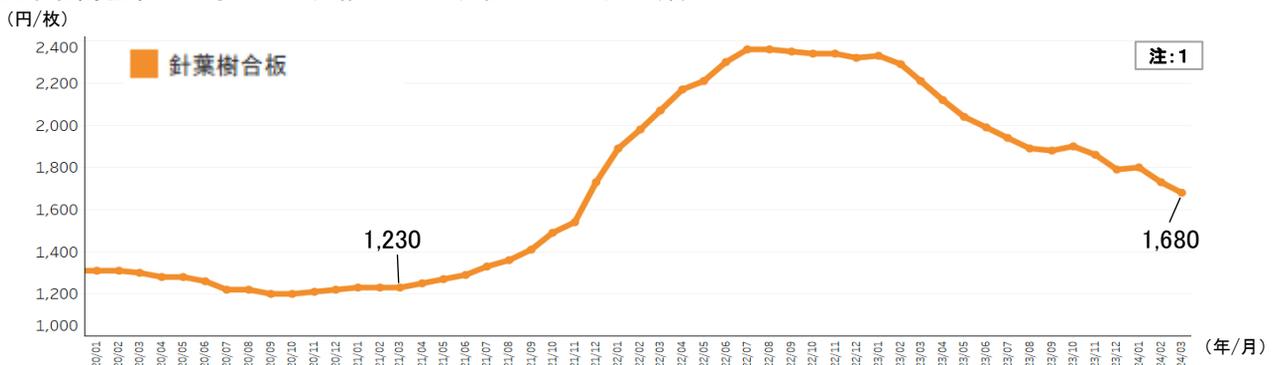
○正角（乾燥材）※厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級



○間柱（乾燥材）※厚3.0cm、幅10.5cm、長3.0m、特等



○針葉樹合板 ※厚1.2cm、幅91.0cm、長1.82m、1類



資料：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」

注：1 針葉樹合板は、2022年1月より、四半期ごとの公表となった（4月に1～3月分、7月に4～6月分、10月に7～9月分、翌1月に10～12月分を公表）。

2 製材品価格及び合板価格は、木材市売市場にあたってはせり又は入札による取引価格、木材センター及び木材販売業者にあたっては店頭渡し価格である。

3 2023年は「木材価格」に拠る速報値、2022年以前は「木材需給報告書」に拠る確定値である。（速報値は今後修正される可能性がある）

(1) 全国平均価格

年次	月	丸太								製材品													
		スギ		ヒノキ		カラマツ		スギ		スギ		スギ		ヒノキ		ヒノキ		ミツガ		スギ		ホワイトウッド	
		中丸太(製材用)		中丸太(製材用)		中丸太(製材用)		丸太(合板用)		スギ 正角		スギ 正角(乾燥材)		ヒノキ 正角		ヒノキ 正角(乾燥材)		10.5cm角、 正角(防蟻処理材)		3.0×10.5cm、 間柱(乾燥材)		3.0×10.5cm、 間柱(乾燥材)	
		14-22cm 3.65-4m (円/m ²)	対前 年比 (%)	14-22cm 3.65-4m (円/m ²)	対前 年比 (%)	14-28cm 3.65-4m (円/m ²)	対前 年比 (%)	18cm上	対前 年比 (%)	10.5cm角、 3.0m (円/m ²)	対前 年比 (%)	10.5cm角、 4.0m (円/m ²)	対前 年比 (%)	3.0×10.5cm、 3.0m (円/m ²)	対前 年比 (%)	3.0×10.5cm、 3.0m (円/m ²)	対前 年比 (%)						
2021年	1	13,500	104	18,100	97	12,400	98	10,900	96	62,200	99	65,800	97	77,400	98	85,100	98	79,600	100	67,300	101	61,700	99
	2	13,300	102	18,700	101	12,500	98	11,000	96	62,200	99	65,900	97	77,400	98	85,100	98	79,800	100	67,700	102	62,900	101
	3	13,400	105	18,900	106	12,400	98	11,100	98	62,500	100	66,700	99	79,200	100	86,300	99	81,300	102	68,100	102	66,500	107
	4	13,600	111	19,800	118	12,400	98	11,300	101	64,500	103	75,300	112	79,400	103	93,500	108	87,500	110	78,400	117	74,900	121
	5	15,500	129	21,400	132	12,500	99	11,400	102	65,400	105	86,600	129	83,700	108	101,800	118	94,300	118	90,000	136	84,700	137
	6	17,500	151	25,200	158	13,100	105	11,900	107	70,100	112	111,800	166	87,900	112	126,100	147	103,600	130	115,000	175	101,500	165
	7	17,800	150	30,100	195	13,400	108	12,000	109	71,400	115	126,700	190	98,000	127	151,200	179	118,200	149	122,200	186	111,800	183
	8	18,100	141	32,100	201	13,500	109	12,300	114	68,900	107	130,600	196	93,700	127	162,300	192	126,700	159	125,200	189	122,000	204
	9	18,100	141	32,300	190	13,800	110	12,400	116	68,900	-	133,500	205	99,700	-	172,000	205	135,300	171	127,200	193	126,600	213
	10	18,000	137	33,000	189	13,900	112	12,700	118	69,000	-	135,500	207	96,200	-	175,700	208	136,600	172	126,200	191	130,500	220
	11	17,500	131	32,000	176	14,000	113	13,400	123	68,900	-	135,300	206	96,200	-	179,000	212	136,100	172	129,000	195	130,700	221
	12	17,200	128	29,100	159	14,000	113	13,900	128	67,800	-	134,900	206	95,500	-	172,300	204	136,100	172	124,600	187	131,400	219
2022年	1	16,900	125	29,100	161	14,400	116	14,200	130	67,600	-	131,000	199	94,800	-	168,000	197	139,200	175	123,900	184	132,900	215
	2	17,600	132	27,900	149	14,500	116	15,500	141	65,800	-	130,900	199	94,100	-	164,600	193	139,300	175	123,100	182	133,300	212
	3	17,800	133	27,600	146	14,800	119	15,700	141	65,800	-	130,800	196	93,400	-	161,100	187	139,300	171	123,100	181	133,300	200
	4	17,500	129	27,200	137	15,000	121	16,000	142	65,900	-	130,800	174	93,800	-	159,600	171	141,400	162	121,300	155	134,200	179
	5	17,900	115	26,500	124	16,000	128	16,100	141	65,900	-	131,800	152	93,400	-	159,400	157	142,100	151	122,600	136	134,200	158
	6	17,800	102	25,900	103	17,300	132	16,100	135	65,900	-	131,400	118	92,000	-	157,700	125	143,100	138	122,600	107	133,400	131
	7	17,500	98	25,300	84	17,000	127	16,200	135	65,900	-	131,200	104	91,200	-	153,000	101	143,500	121	121,200	99	131,300	117
	8	17,400	96	24,000	75	17,000	126	15,900	129	64,600	94	126,400	97	89,300	95	147,000	91	143,100	113	117,200	94	128,800	106
	9	17,400	96	21,900	68	16,900	122	15,700	127	63,500	92	119,800	90	88,400	89	143,600	82	142,400	105	113,300	89	125,300	99
	10	18,000	100	21,600	65	16,900	122	15,600	123	61,700	89	114,700	85	86,700	90	131,800	76	141,800	104	109,300	87	120,500	92
	11	17,800	102	22,100	69	16,700	119	15,400	115	61,700	90	110,200	81	85,900	89	126,800	71	141,200	104	107,100	83	113,700	87
	12	17,500	102	22,000	76	16,700	119	15,400	111	60,500	89	108,300	80	84,800	89	125,800	73	140,700	103	105,500	85	109,400	83
2023年	1	17,400	103	23,000	79	16,400	114	15,200	107	59,700	88	104,100	79	81,800	86	122,000	73	140,200	101	103,400	83	105,300	79
	2	17,300	98	23,000	82	16,300	112	15,200	98	59,200	90	103,800	79	80,700	86	117,100	71	136,000	98	101,300	82	101,700	76
	3	16,700	94	22,700	82	16,300	110	15,200	97	58,600	89	101,800	78	77,700	83	114,500	71	134,600	97	99,900	81	100,300	75
	4	15,800	90	21,900	81	16,200	108	15,100	94	55,500	84	99,300	76	76,600	82	112,600	71	131,600	93	95,000	78	95,000	71
	5	15,100	84	20,700	78	16,200	101	14,900	93	54,300	82	97,000	74	76,500	82	111,000	70	129,500	91	93,300	76	93,800	70
	6	14,700	83	20,600	80	16,200	94	14,800	92	50,100	76	95,900	73	75,400	82	110,100	70	127,300	89	91,000	74	92,600	69
	7	14,500	83	20,500	81	16,100	95	14,500	90	50,100	76	90,600	69	73,800	81	108,200	71	125,000	87	88,700	73	91,600	70
	8	14,400	83	20,800	87	15,400	91	14,400	91	50,000	77	89,500	71	73,100	82	108,100	74	124,300	87	88,000	75	91,700	71
	9	15,200	87	21,400	98	16,000	95	14,200	90	48,300	76	88,500	74	72,600	82	105,800	75	124,300	87	87,500	77	91,100	73
	10	15,900	88	22,600	105	15,800	93	14,200	91	50,000	81	88,400	77	72,800	84	105,400	79	123,200	87	87,100	80	91,300	76
	11	16,200	91	23,500	106	15,800	95	14,100	92	50,100	81	88,600	80	73,100	85	106,200	84	119,400	85	87,900	82	91,800	81
	12	15,900	91	23,600	107	15,800	95	14,100	92	50,100	83	88,200	81	75,400	89	107,500	85	119,400	85	87,700	83	90,900	83
2024年	1	16,300	94	23,400	102	15,800	96	14,100	93	54,300	91	88,200	85	77,400	95	107,900	88	119,500	85	87,100	84	90,800	86
	2	16,300	94	23,700	103	15,600	96	14,100	93	54,800	93	88,100	85	77,400	96	107,700	92	119,500	88	87,200	86	91,300	90
	3	16,400	98	23,300	103	15,300	94	13,900	91	54,800	94	86,200	85	77,400	100	105,900	92	119,300	89	85,400	85	92,300	92
2021年		16,100	127	25,900	151	13,200	106	12,000	108	68,900	-	105,700	158	109,600	-	132,500	155	109,600	138	103,400	156	100,400	165
2022年		17,600	109	25,100	97	16,100	122	15,700	131	64,600	-	124,800	118	90,700	-	149,900	113	141,400	129	117,500	114	127,500	127
2023年		15,800	90	22,000	88	16,000	99	14,700	94	53,000	82	94,600	76	75,800	84	110,700	74	127,900	90	92,600	79	94,800	74
2021年	第1四半期	13,400	103	18,600	102	12,400	98	11,000	96	62,300	99	66,100	98	78,000	99	85,500	98	80,200	101	67,700	102	63,700	103
	第2四半期	15,500	129	22,100	136	12,700	101	11,500	103	66,700	107	91,200	136	83,700	108	107,100	124	95,100	119	94,500	143	87,000	141
	第3四半期	18,000	144	31,500	196	13,600	110	12,200	113	68,900	-	130,300	197	99,700	-	161,800	192	126,700	160	124,900	190	120,100	200
	第4四半期	17,600	132	31,400	174	14,000	113	13,300	122	68,600	-	135,200	206	96,000	-	175,700	208	136,300	172	126,600	191	130,900	220
2022年	第1四半期	17,400	130	28,200	152	14,600	118	15,100	137	66,400	-	130,900	198	94,100	-	164,600	193	139,300	174	123,400	182	133,200	209
	第2四半期	17,700	114	26,500	120	16,100	127	16,100	140	65,900	-	131,300	144	93,100	-	158,900	148	142,200	150	122,200	129	133,900	154
	第3四半期	17,400	97	23,700	75	17,000	125	15,900	130	64,700	-	125,800	97	89,600	-	147,200	91	143,000	113	117,200	94	128,500	107
	第4四半期	17,800	101	21,900	70	16,800	120	15,500	117	61,300	89	111,100	82	85,800	89	128,800	73	141,200	104	107,300	85	114,500	87
2023年	第1四半期	17,100	98	22,900	81	16,300	112	15,200	101	59,200	89	103,200	79	80,100	85	117,900	72	136,900	98	101,500	82		

年次	月	構造用集成材						合板		チップ							
		スギ集成管柱 国産、無化粧			ホワイトウッド集成管柱 国産、無化粧			針葉樹合板		チップ用素材(丸太)				木材チップ			
		10.5角×2.98～3m JAS		対前 年比 (%)	10.5角×2.98～3m JAS		対前 年比 (%)	1.2×91.0cm _m		針葉樹		広葉樹		針葉樹		広葉樹	
		(円/m ³) (参考値:注4)	(円/本)		(円/m ³) (参考値:注4)	(円/本)		1.82m (円/枚)	対前 年比 (%)	(円/m ³)	対前 年比 (%)	(円/m ³)	対前 年比 (%)	(円/ト)	対前 年比 (%)	(円/ト)	対前 年比 (%)
2021年	1	63,492	2,100	105	57,445	1,900	95	1,230	94	6,500	100	9,500	100	14,800	99	19,400	100
2021年	2	60,469	2,000	100	57,445	1,900	95	1,230	94	6,500	100	9,500	100	14,600	98	19,300	99
2021年	3	60,469	2,000	95	60,469	2,000	100	1,230	95	6,500	100	9,500	101	14,600	98	19,300	99
2021年	4	63,492	2,100	105	66,515	2,200	110	1,250	98	6,500	100	9,500	100	14,600	98	19,300	99
2021年	5	66,515	2,200	110	72,562	2,400	120	1,270	99	6,700	103	9,500	100	14,600	98	19,300	99
2021年	6	72,562	2,400	120	84,656	2,800	140	1,290	102	6,700	103	9,500	100	14,700	99	19,300	99
2021年	7	75,586	2,500	119	96,750	3,200	160	1,330	109	6,700	103	9,500	100	14,700	99	19,300	99
2021年	8	90,703	3,000	143	117,914	3,900	195	1,360	111	6,700	103	9,500	100	14,700	99	19,400	100
2021年	9	96,750	3,200	152	142,101	4,700	235	1,410	118	6,700	103	9,500	100	14,700	99	19,400	100
2021年	10	105,820	3,500	175	154,195	5,100	255	1,490	124	6,700	103	9,500	100	14,700	99	19,400	101
2021年	11	108,844	3,600	180	154,195	5,100	255	1,540	127	6,700	103	9,500	100	14,700	99	19,300	101
2021年	12	111,867	3,700	185	154,195	5,100	268	1,730	142	6,700	103	9,500	100	14,600	99	19,400	101
2022年	1	111,867	3,700	176	157,218	5,200	274	1,890	154	6,700	103	9,500	100	15,000	101	19,400	100
2022年	2	114,890	3,800	190	157,218	5,200	274	1,980	161	6,700	103	9,600	101	15,000	103	19,400	101
2022年	3	111,867	3,700	185	154,195	5,100	255	2,070	168	6,800	105	9,600	101	15,100	103	19,400	101
2022年	4	114,890	3,800	181	154,195	5,100	232	2,170	174	6,900	106	9,700	102	15,200	104	19,600	102
2022年	5	114,890	3,800	173	154,195	5,100	213	2,210	174	7,000	104	9,700	102	15,300	105	19,800	103
2022年	6	114,890	3,800	158	154,195	5,100	182	2,300	178	7,000	104	9,800	103	15,300	104	19,800	103
2022年	7	111,867	3,700	148	142,101	4,700	147	2,360	177	7,100	106	9,800	103	15,300	104	19,800	103
2022年	8	111,867	3,700	123	139,078	4,600	118	2,360	174	7,100	106	9,800	103	15,300	104	19,900	103
2022年	9	111,867	3,700	116	133,031	4,400	94	2,350	167	7,200	107	9,800	103	15,300	104	19,900	103
2022年	10	105,820	3,500	100	123,961	4,100	80	2,340	157	7,100	106	9,800	103	15,500	105	19,900	103
2022年	11	102,797	3,400	94	120,937	4,000	78	2,340	152	7,200	107	9,900	104	15,700	107	20,200	105
2022年	12	99,773	3,300	89	105,820	3,500	69	2,320	134	7,100	106	9,900	104	15,800	108	20,300	105
2023年	1	93,726	3,100	84	99,773	3,300	63	2,330	123	7,200	107	9,900	104	15,900	106	20,400	105
2023年	2	90,703	3,000	79	93,726	3,100	60	2,290	116	7,300	109	9,900	103	15,900	106	20,400	105
2023年	3	84,656	2,800	76	87,680	2,900	57	2,210	107	7,200	106	9,900	103	15,900	105	20,400	105
2023年	4	81,633	2,700	71	78,609	2,600	51	2,120	98	7,500	109	9,800	101	16,700	110	20,900	107
2023年	5	81,633	2,700	71	78,609	2,600	51	2,040	92	7,400	106	9,900	102	16,900	110	21,100	107
2023年	6	81,633	2,700	71	78,609	2,600	51	1,990	87	7,400	106	9,900	101	16,900	110	21,100	107
2023年	7	81,633	2,700	73	78,609	2,600	55	1,940	82	7,500	106	10,000	102	17,000	111	21,100	107
2023年	8	81,633	2,700	73	78,609	2,600	57	1,890	80	7,500	106	10,000	102	17,000	111	21,100	106
2023年	9	81,633	2,700	73	78,609	2,600	59	1,880	80	7,500	104	10,000	102	17,000	111	21,100	106
2023年	10	81,633	2,700	77	78,609	2,600	63	1,900	81	7,600	107	10,000	102	17,100	110	21,100	106
2023年	11	81,633	2,700	79	81,633	2,700	68	1,860	79	7,500	104	10,000	101	17,100	109	21,200	105
2023年	12	81,633	2,700	82	81,633	2,700	77	1,790	77	7,600	107	10,000	101	17,200	109	21,200	104
2024年	1	81,633	2,700	87	81,633	2,700	82	1,800	77	7,700	107	10,100	102	17,200	108	21,200	104
2024年	2	81,633	2,700	90	81,633	2,700	87	1,730	76	7,700	105	10,100	102	17,300	109	21,200	104
2024年	3	81,633	2,700	96	81,633	2,700	93	1,680	76	7,700	107	10,100	102	17,300	109	21,200	104
2021年		81,633	2,700	135	102,797	3,400	170	1,360	109	6,600	102	9,500	100	14,700	99	19,300	99
2022年		111,867	3,700	137	142,101	4,700	138	2,220	163	7,000	106	9,700	102	15,300	104	19,800	103
2023年		84,656	2,800	76	81,633	2,700	57	2,020	91	7,400	106	9,900	102	16,700	109	20,900	106
2021年	第1四半期	60,469	2,000	100	57,445	1,900	95	1,230	94	6,500	100	9,500	100	14,700	99	19,300	99
2021年	第2四半期	66,515	2,200	110	75,586	2,500	125	1,270	100	6,600	102	9,500	100	14,600	98	19,300	99
2021年	第3四半期	87,680	2,900	138	117,914	3,900	195	1,370	113	6,700	103	9,500	100	14,700	99	19,400	100
2021年	第4四半期	108,844	3,600	180	154,195	5,100	255	1,590	131	6,700	103	9,500	100	14,700	99	19,400	101
2022年	第1四半期	111,867	3,700	185	157,218	5,200	274	1,980	161	6,700	103	9,600	101	15,000	102	19,400	101
2022年	第2四半期	114,890	3,800	173	154,195	5,100	204	2,230	176	7,000	106	9,700	102	15,300	105	19,700	102
2022年	第3四半期	111,867	3,700	128	139,078	4,600	118	2,360	172	7,100	106	9,800	103	15,300	104	19,900	103
2022年	第4四半期	102,797	3,400	94	117,914	3,900	76	2,330	147	7,100	106	9,900	104	15,700	107	20,100	104
2023年	第1四半期	90,703	3,000	81	93,726	3,100	60	2,280	115	7,200	107	9,900	103	15,900	106	20,400	105
2023年	第2四半期	81,633	2,700	71	78,609	2,600	51	2,050	92	7,400	106	9,900	102	16,800	110	21,000	107
2023年	第3四半期	81,633	2,700	73	78,609	2,600	51	1,900	81	7,500	106	10,000	102	17,000	111	21,100	106
2023年	第4四半期	81,633	2,700	79	81,633	2,700	69	1,850	79	7,600	107	10,000	101	17,100	109	21,200	105
2024年	第1四半期	81,633	2,700	90	81,633	2,700	87	1,740	76	7,700	107	10,100	102	17,300	109	21,200	104

資料：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」

注：1 構造用集成材価格、木材チップ用丸太価格及び木材チップ価格は、それぞれ集成管柱工場から販売先への出荷時の販売価格、木材チップ工場における工場着購入価格、バルブ向けチップ工場における工場渡し価格である。

2 合板価格は、木材市売市場にあってはせり又は入札による取引価格、木材センター及び木材販売業者にあっては店頭渡し価格である。

3 2022年1月より、四半期ごとの公表となった（4月に1～3月分、7月に4～6月分、10月に7～9月分、翌1月に10～12月分を公表）。

4 構造用集成材のm3当たりの価格は、1本を0.033075m3に換算して算出した。

5 2023年は「木材価格」に拠る速報値、2022年以前は「木材需給報告書」に拠る確定値である。（速報値は今後修正される可能性がある）

(2) 都道府県別価格

○スギ中丸太（製材用、径14.0～22.0cm、長3.65～4.0m）

・2023年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
青森	14,400	13,300	13,300	13,300	13,300	13,200	13,200	13,200	12,100	12,100	12,100	12,100
岩手	17,300	17,000	16,700	15,000	14,600	14,300	14,100	14,100	14,100	14,300	14,900	15,200
宮城	14,800	14,200	14,500	13,700	13,700	13,700	12,600	12,000	12,600	13,100	14,200	14,200
秋田	14,300	13,800	13,400	12,600	12,400	12,100	11,800	11,800	11,700	11,800	12,000	12,700
山形	20,500	20,500	20,300	20,400	18,800	18,600	18,600	18,600	18,600	18,700	19,100	19,200
福島	13,200	13,300	12,100	12,000	12,500	12,300	11,800	10,900	11,100	12,100	13,000	12,700
栃木	16,500	16,500	15,400	14,800	14,300	13,200	13,200	13,200	14,300	14,900	15,400	14,900
岐阜	18,300	18,300	17,000	18,500	16,900	16,600	16,300	16,300	16,300	16,300	16,300	16,300
静岡	18,600	18,300	18,200	17,900	17,200	16,500	15,900	15,700	15,700	15,900	15,900	15,800
三重	16,600	16,900	16,800	17,200	16,400	15,900	14,400	14,300	14,300	14,400	15,800	15,700
奈良	15,800	15,300	15,300	15,300	13,800	13,800	13,800	13,800	13,800	13,800	13,800	14,800
岡山	14,000	14,000	14,000	13,000	13,100	12,400	11,400	10,900	11,000	11,000	11,000	11,000
徳島	16,700	16,700	16,700	16,700	16,700	16,700	16,700	16,700	16,700	16,700	16,700	16,700
愛媛	18,700	18,700	18,700	17,600	16,600	16,600	16,500	14,400	14,400	13,400	13,400	13,400
佐賀	16,500	16,500	16,700	16,100	15,400	14,800	14,900	15,200	15,400	15,400	15,800	16,100
熊本	20,800	20,800	20,800	19,100	18,100	17,600	17,600	17,600	20,000	20,900	19,700	19,300
大分	17,900	18,200	17,300	16,300	15,500	15,900	16,300	16,700	17,300	17,600	17,300	16,900
宮崎	17,900	17,800	16,500	15,500	14,600	14,000	13,900	13,800	15,100	17,000	17,600	16,700
鹿児島	18,800	18,800	18,700	17,300	15,000	14,300	13,700	13,900	15,200	15,700	18,400	18,200

・2024年

都道府県	1月	2月	3月
青森	12,100	11,100	11,100
岩手	15,200	15,400	15,000
宮城	14,200	14,200	14,200
秋田	12,900	13,200	14,500
山形	19,200	19,100	19,100
福島	12,800	12,500	12,800
栃木	15,400	15,400	14,800
岐阜	18,100	18,100	18,100
静岡	15,900	15,600	15,800
三重	15,800	16,600	16,400
奈良	14,800	14,800	16,800
岡山	11,000	11,000	12,100
徳島	16,700	16,700	16,700
愛媛	13,400	13,400	13,400
佐賀	16,100	16,100	16,300
熊本	19,600	19,600	19,600
大分	16,800	17,600	17,100
宮崎	17,600	17,400	17,300
鹿児島	18,000	18,000	18,200

○ヒノキ中丸太（製材用、径14.0～22.0cm、長3.65～4.0m）

・2023年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
福島	25,600	25,500	23,400	21,300	20,700	19,700	18,000	18,600	21,700	29,300	32,500	30,900
茨城	23,300	23,500	22,400	21,200	20,200	19,400	18,800	19,100	20,700	24,700	27,200	27,000
栃木	25,700	25,700	24,400	23,200	20,900	18,800	17,800	18,800	21,800	29,000	31,200	27,800
岐阜	22,300	22,300	22,300	21,700	20,800	20,200	19,500	19,100	19,100	19,100	19,100	19,800
静岡	24,900	24,600	23,300	22,700	21,800	20,600	20,500	20,700	21,600	22,300	23,100	24,000
三重	23,500	23,600	23,200	21,400	19,600	19,800	18,900	19,300	20,100	21,300	22,200	22,500
兵庫	25,000	25,000	25,100	22,900	21,800	21,800	21,800	21,800	21,800	21,900	21,900	25,100
奈良	26,900	26,800	26,800	25,900	21,900	19,800	19,300	17,800	17,800	18,800	18,800	19,800
和歌山	22,000	21,900	21,800	20,500	20,100	20,100	18,400	18,300	18,200	17,300	17,400	18,200
岡山	25,900	25,100	24,500	23,800	20,700	22,000	21,100	21,100	21,400	22,500	23,000	23,500
広島	22,800	25,100	24,500	23,700	23,000	22,700	23,000	22,900	22,800	22,800	23,200	22,800
愛媛	20,000	20,200	20,700	20,600	20,300	20,000	21,000	21,900	22,200	22,700	23,800	24,800
高知	21,700	21,500	22,000	22,400	22,400	22,400	22,600	22,800	22,800	23,100	24,600	24,600
熊本	25,700	25,700	24,900	22,700	22,500	23,100	24,200	24,200	25,200	26,000	26,400	25,700
大分	18,400	17,900	18,000	18,200	16,900	17,000	17,700	18,700	18,800	19,600	20,600	19,900
宮崎	21,900	22,600	22,900	21,900	20,700	21,400	20,300	20,900	23,100	23,700	24,500	23,700

・2024年

都道府県	1月	2月	3月
福島	25,300	24,800	24,900
茨城	23,900	23,400	22,800
栃木	23,800	23,400	22,200
岐阜	23,100	23,100	23,500
静岡	23,600	23,600	23,200
三重	21,100	23,100	22,000
兵庫	25,100	25,100	25,100
奈良	19,800	21,900	21,900
和歌山	18,300	18,300	17,400
岡山	23,500	23,900	22,800
広島	23,100	24,300	24,100
愛媛	25,700	25,600	25,600
高知	24,700	25,500	25,400
熊本	25,300	25,300	25,200
大分	20,200	20,800	20,400
宮崎	22,600	22,600	22,300

資料：農林水産省「木材価格」

注1：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注2：年間を通じて価格を「x」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

○カラマツ中丸太（製材用、径14.0~28.0cm、長3.65~4.0m）

・2023年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道	15,500	15,400	15,400	15,300	15,300	15,300	15,200	14,400	15,100	14,900	14,900	14,900
岩手	25,700	25,700	25,600	25,500	25,400	25,300	25,300	25,300	25,300	25,300	25,300	25,300

・2024年

都道府県	1月	2月	3月
北海道	14,900	14,600	14,300
岩手	25,300	25,300	24,800

○スギ丸太（合板用、径18.0cm上）

・2023年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
岩手	13,100	13,100	13,100	12,700	12,200	12,200	11,400	11,400	11,100	11,100	11,100	11,100
宮城	16,400	16,400	16,400	16,400	16,100	15,900	15,300	15,000	14,800	14,800	14,800	14,800
秋田	16,100	16,000	16,000	15,900	15,900	15,800	15,900	15,600	15,200	15,200	14,900	14,900
島根	15,000	15,100	15,100	15,000	14,800	14,700	14,600	14,500	14,600	14,400	14,300	14,300

・2024年

都道府県	1月	2月	3月
岩手	11,300	11,300	11,200
宮城	14,800	14,600	14,300
秋田	14,800	14,900	14,700
島根	14,300	14,400	14,200

○スギ正角（厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級）

・2023年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
千葉			77,000				66,500			66,000			66,000
東京			53,500				x			x			x
大阪			81,500				80,400			80,400			80,400
福岡			56,400				54,700			52,800			55,700

・2024年

都道府県	1月	2月	3月
千葉			66,000
東京			x
大阪			80,400
福岡			65,300

※2022年1月より四半期ごとの公表（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。

○スギ正角・乾燥材（厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級）

・2023年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
埼玉	94,400	94,400	93,300	92,000	86,300	85,300	80,800	80,500	80,500	80,300	80,500	80,500
千葉	130,800	120,200	120,200	107,800	107,800	107,800	101,600	97,600	97,600	97,600	91,400	91,400
東京	109,800	109,800	109,800	109,400	109,400	109,100	98,500	98,400	98,400	98,500	98,500	98,500
神奈川	128,700	128,300	128,200	118,600	109,400	104,200	99,700	99,500	90,300	90,300	85,800	85,900
愛知	106,900	105,700	104,300	98,500	98,400	95,700	93,900	93,900	93,900	92,500	91,200	91,200
大阪	99,700	99,000	93,600	93,600	93,600	93,600	93,600	88,700	88,700	88,700	88,700	83,800
兵庫	111,600	111,600	111,600	102,200	98,200	98,100	94,100	94,100	94,100	94,100	91,100	91,100
福岡	102,800	102,800	98,300	94,500	92,600	90,700	88,000	86,200	83,500	83,500	85,200	85,200

・2024年

都道府県	1月	2月	3月
埼玉	80,500	80,500	75,800
千葉	91,400	91,400	89,400
東京	98,500	98,200	98,200
神奈川	86,100	86,400	86,400
愛知	92,500	92,500	88,400
大阪	83,800	83,200	83,200
兵庫	89,000	89,000	87,400
福岡	85,200	85,200	83,300

資料：農林水産省「木材価格」

注1：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注2：年間を通じて価格を「x」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

○ヒノキ正角（厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級）

・2023年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
千葉県			81,100			78,900			75,600			75,600
東京			x			x			x			x
愛知			93,500			92,200			89,300			89,300
大阪			78,500			79,600			74,700			74,700
兵庫			95,500			90,000			87,800			89,800
福岡			82,500			75,100			69,600			76,500

単位：円/m³

・2024年

都道府県	1月	2月	3月
千葉県			75,600
東京			x
愛知			89,300
大阪			82,000
兵庫			89,800
福岡			88,800

※2022年1月より四半期ごとの公表（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。

○ヒノキ正角・乾燥材（厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級）

・2023年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
埼玉	108,400	108,400	107,200	106,200	101,900	100,900	96,800	96,800	96,800	96,800	98,400	103,500
千葉	150,200	146,800	146,800	x	x	x	114,400	114,400	113,300	113,300	104,500	104,500
東京	153,200	142,700	142,400	142,000	142,000	142,000	141,900	141,800	131,400	131,400	131,400	131,400
神奈川	138,900	133,700	133,600	131,800	131,500	129,300	129,300	129,100	129,100	128,800	130,700	134,300
愛知	114,900	109,800	107,200	105,600	105,400	102,900	101,400	101,400	100,900	98,600	96,800	96,800
大阪	118,900	110,700	104,400	104,400	104,400	104,400	102,500	102,100	102,100	102,100	103,300	103,300
兵庫	112,600	112,600	112,000	107,400	102,900	101,600	101,600	101,600	97,000	97,000	101,600	101,600

単位：円/m³

・2024年

都道府県	1月	2月	3月
埼玉	103,500	103,500	99,000
千葉	105,600	105,600	104,500
東京	131,400	130,200	130,200
神奈川	134,600	134,600	134,600
愛知	99,100	99,100	96,500
大阪	103,600	103,300	102,900
兵庫	101,600	101,600	99,700

○米ツガ正角・防腐処理材（厚10.5cm、幅10.5cm、長4.0m、2級）

・2023年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道			139,800			128,200			125,700			125,700
埼玉			141,400			129,900			133,600			117,600
千葉			131,200			116,300			111,600			106,600
東京			148,100			147,500			147,500			114,500
神奈川			138,300			135,500			129,600			129,600
愛知			132,000			138,100			129,500			129,500
大阪			132,000			132,000			132,000			132,000
兵庫			138,300			131,700			131,700			131,700

単位：円/m³

・2024年

都道府県	1月	2月	3月
北海道			125,700
埼玉			117,600
千葉			106,900
東京			106,800
神奈川			129,600
愛知			129,500
大阪			132,000
兵庫			131,700

※2022年1月より四半期ごとの公表（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。

資料：農林水産省「木材価格」

注1：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注2：年間を通じて価格を「x」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

注3：ヒノキ正角、米ツガ正角・防腐処理材の価格は、2022年1月より四半期ごとの公表となった（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。

○スギ間柱・乾燥材（厚3.0cm、幅10.5cm、長3.0m、特等）

・2023年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
埼玉県	95,000	92,900	92,200	87,100	86,200	85,900	80,300	77,900	77,900	77,900	80,900	80,900
千葉県	102,400	98,700	96,200	85,500	82,100	77,900	76,900	76,900	76,800	76,800	79,400	79,400
東京都	96,800	96,700	96,500	89,400	89,400	83,200	82,300	82,300	82,000	84,100	84,100	83,900
神奈川県	111,200	107,900	106,700	106,100	106,100	102,700	100,400	99,200	94,700	94,700	92,500	92,500
愛知県	97,700	93,700	93,700	99,500	99,500	95,500	95,300	95,300	95,300	91,900	88,500	88,500
大阪府	95,700	95,700	94,600	94,600	93,500	93,500	89,100	89,100	89,100	89,100	89,100	84,700
兵庫県	110,500	110,500	105,200	99,600	99,600	99,500	94,200	94,100	94,100	94,100	93,700	93,700
広島県	124,700	121,500	121,000	120,400	113,500	109,200	109,200	109,000	107,400	106,700	106,400	106,200
福岡県	104,500	104,500	103,700	95,800	95,100	94,900	93,700	93,000	92,200	92,000	92,700	92,700

単位：円/m³

・2024年

都道府県	1月	2月	3月
埼玉県	79,700	79,400	76,900
千葉県	78,200	78,200	78,100
東京都	83,900	83,900	83,900
神奈川県	92,500	93,100	93,100
愛知県	88,300	88,300	87,000
大阪府	84,700	84,700	84,700
兵庫県	93,700	93,700	93,700
広島県	106,200	107,100	107,400
福岡県	92,700	92,700	85,900

○ホワイトウッド間柱・乾燥材（厚3.0cm、幅10.5cm、長3.0m、特等）

・2023年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
埼玉県	94,700	93,200	91,600	87,600	84,200	84,100	83,800	84,500	84,500	84,500	84,500	84,500
千葉県	125,000	122,600	121,700	100,500	100,200	99,900	94,500	94,500	94,300	94,300	96,400	96,400
東京都	121,200	120,000	119,100	118,200	117,400	111,500	111,500	111,500	111,500	111,500	111,500	111,500
神奈川県	118,700	113,200	110,600	109,900	109,900	107,600	107,600	107,600	107,600	107,600	109,900	110,400
愛知県	97,400	91,000	90,300	89,300	86,700	85,300	84,300	84,300	82,000	84,300	83,600	83,600
大阪府	93,500	93,100	92,900	87,700	87,600	87,700	87,700	87,700	87,400	87,400	87,400	82,500
兵庫県	104,500	101,600	98,800	90,600	90,600	88,000	88,000	88,000	88,000	88,000	88,000	88,000
広島県	112,300	105,400	102,800	102,800	100,500	99,400	99,400	99,400	99,400	93,800	93,800	93,800

単位：円/m³

・2024年

都道府県	1月	2月	3月
埼玉県	84,500	84,500	83,800
千葉県	96,500	96,500	96,500
東京都	111,500	111,900	112,300
神奈川県	110,400	112,800	112,800
愛知県	83,100	83,400	83,400
大阪府	82,500	82,500	87,400
兵庫県	88,000	88,000	88,000
広島県	92,600	94,200	96,400

○スギ集成管柱（厚10.5cm、幅10.5cm、長2.98~3.0m、1等）

・2023年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
秋田県	3,500	3,400	2,900	2,800	2,700	2,500	2,600	2,600	2,500	2,600	2,600	2,600
宮崎県	3,500	3,500	3,100	2,700	2,600	2,600	2,500	2,500	2,400	2,400	2,400	2,400

単位：円/本

・2024年

都道府県	1月	2月	3月
秋田県	2,600	2,600	2,600
宮崎県	2,600	2,500	2,500

○ホワイトウッド集成管柱（厚10.5cm、幅10.5cm、長2.98~3.0m、1等）

・2023年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
岡山県	3,600	3,400	3,100	2,900	2,900	2,900	2,900	2,800	2,800	2,800	2,900	2,900

単位：円/本

・2024年

都道府県	1月	2月	3月
岡山県	2,900	2,900	2,900

○針葉樹合板（厚1.2cm、幅91.0cm、長1.82m、1類）

・2023年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
埼玉県			2,240			2,100			2,050			1,990
東京都			2,300			1,990			1,890			1,790
大阪府			2,040			1,920			1,740			1,640

単位：円/枚

・2024年

都道府県	1月	2月	3月
埼玉県			1,830
東京都			1,690
大阪府			1,560

※2022年1月より四半期ごとの公表（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。

資料：農林水産省「木材価格」

注1：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注2：年間を通じて価格を「x」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

○チップ用丸太（針葉樹）

・2023年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道	7,400	7,400	7,400	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,700	7,700	7,700
青森	7,000	7,000	7,000	7,600	7,600	7,600	7,600	7,600	7,600	7,600	7,600	7,600
岩手	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300	7,400	7,500
宮城	6,000	6,000	6,000	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200
秋田	7,000	7,000	7,000	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300
山形	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200
福島	6,800	6,100	5,900	6,100	5,900	6,000	6,600	6,800	6,800	8,000	6,200	6,500
栃木	5,300	5,300	5,300	5,300	5,300	5,300	5,300	5,300	5,300	5,300	5,300	5,300
山梨	7,700	8,800	8,800	8,400	8,400	8,400	8,400	8,400	8,400	8,400	8,400	8,400
長野	7,200	7,200	7,300	7,200	7,200	7,400	7,400	7,400	7,400	7,400	7,400	7,400
京都	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900
兵庫	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,400
島根	9,400	8,500	9,500	9,300	9,800	9,900	10,100	10,000	10,300	10,100	10,100	10,000
広島	6,100	5,900	5,700	5,900	6,700	6,700	6,700	6,700	7,000	7,200	7,100	7,400
高知	5,600	5,600	5,600	5,800	5,800	5,700	5,800	5,800	5,600	5,600	5,400	5,100
熊本	8,200	9,100	8,400	10,700	8,800	10,000	9,100	9,100	9,600	8,700	9,300	10,900
宮崎	8,000	8,000	8,100	8,100	8,100	8,000	8,100	8,200	8,300	8,300	8,300	8,300
鹿児島	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200

・2024年

都道府県	1月	2月	3月
北海道	7,900	7,900	7,900
青森	7,600	7,600	7,600
岩手	7,600	7,600	7,600
宮城	6,200	6,200	6,200
秋田	7,300	7,800	7,800
山形	4,200	6,100	5,700
福島	6,600	6,600	6,800
栃木	5,300	5,300	5,300
山梨	8,400	8,400	8,400
長野	7,400	7,500	7,500
京都	9,200	9,200	9,200
兵庫	7,400	7,400	7,400
島根	10,100	10,300	9,900
広島	7,400	7,200	7,200
高知	5,900	5,900	5,800
熊本	10,900	9,500	9,500
宮崎	8,400	8,400	8,400
鹿児島	8,200	8,200	8,200

○チップ用丸太（広葉樹）

・2023年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道	9,900	9,900	9,900	9,900	9,900	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100
青森	12,100	12,100	12,100	11,900	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800
岩手	11,400	11,400	11,400	10,600	10,800	10,800	10,800	10,800	10,800	10,800	10,900	11,000
宮城	9,000	9,000	9,000	9,300	9,300	9,300	9,300	9,300	9,300	9,300	9,300	9,300
秋田	12,500	12,500	12,500	12,500	12,500	12,500	12,500	12,500	12,500	12,500	12,700	12,700
山形	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700
福島	8,900	9,000	9,600	9,000	9,000	8,700	9,000	8,900	9,200	9,600	9,600	9,200
山梨	7,500	7,500	7,500	7,800	7,900	7,900	7,900	7,900	7,900	7,900	7,900	7,900
島根	10,700	10,700	10,800	10,800	11,100	11,200	11,200	11,300	11,600	11,300	11,300	11,000
広島	6,000	6,000	6,100	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700
熊本	8,700	9,000	8,900	9,100	9,200	9,400	9,600	9,900	9,600	9,600	9,300	9,400
宮崎	8,400	8,700	8,600	8,200	8,900	9,100	8,700	8,700	8,900	9,200	9,200	9,300
鹿児島	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700

・2024年

都道府県	1月	2月	3月
北海道	10,200	10,200	10,200
青森	11,800	11,800	11,800
岩手	11,200	11,200	11,200
宮城	9,300	9,300	9,300
秋田	12,700	12,700	12,700
山形	9,700	9,700	9,700
福島	9,200	8,900	9,200
山梨	7,900	7,900	7,900
島根	11,300	11,300	11,600
広島	6,700	6,700	6,700
熊本	8,700	9,300	9,600
宮崎	8,900	8,800	9,100
鹿児島	9,700	9,700	9,700

資料：農林水産省「木材価格」

注1：「x」は、個人又は法人その他の団体の秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注2：年間を通じて価格を「x」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

○木材チップ（針葉樹）

・2023年

単位：円/t

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道	15,400	15,400	15,400	16,000	16,100	16,200	16,200	16,300	16,300	16,300	16,000	16,000
青森	17,700	17,700	17,700	19,000	19,000	19,000	18,500	18,500	18,500	18,500	18,500	18,500
岩手	17,100	17,100	17,100	18,000	18,100	18,100	18,100	18,100	18,100	18,100	18,300	20,500
宮城	19,800	19,800	20,000	20,300	20,600	20,600	20,600	20,600	20,600	20,600	20,300	20,300
秋田	16,800	16,900	16,900	17,300	17,600	17,600	17,600	17,600	17,600	17,600	17,600	17,600
福島	21,200	21,200	21,200	21,400	21,400	21,400	21,400	21,400	21,400	21,400	22,600	22,600
茨城	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	8,800	8,800	8,800	8,800	8,800	9,400
栃木	12,800	12,800	12,800	12,800	12,800	12,800	12,800	12,800	12,800	12,800	12,800	12,800
富山	18,100	18,100	18,100	18,100	18,500	18,600	18,600	18,600	18,600	18,600	18,600	18,600
静岡	18,000	18,000	18,000	18,100	18,700	18,700	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600
京都	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000
兵庫	19,300	19,300	22,200	22,300	22,300	22,300	22,300	22,300	22,300	22,300	22,300	22,300
岡山	14,600	14,600	14,600	14,600	14,600	14,600	14,600	14,600	14,600	14,600	14,600	14,600
広島	16,000	16,000	16,000	19,000	18,900	18,900	18,900	18,900	18,900	19,300	19,300	19,300
徳島	21,600	21,600	21,600	21,000	22,800	22,500	22,500	22,500	22,500	22,500	22,500	22,500
愛媛	12,900	12,900	12,900	13,300	13,500	13,500	13,500	13,500	13,500	13,500	13,100	13,100
高知	20,900	20,900	20,900	20,900	20,900	20,900	20,900	20,900	20,900	20,900	20,900	20,900
熊本	18,600	18,600	18,600	19,500	19,700	19,700	19,700	19,900	19,900	19,900	20,000	20,000
大分	12,500	12,500	12,500	12,500	12,500	12,500	13,100	13,100	13,100	13,100	13,100	13,100
宮崎	11,100	11,100	11,100	11,100	11,900	11,900	11,900	11,900	11,900	11,900	11,900	11,900
鹿児島	13,000	13,000	13,000	17,900	17,000	17,000	17,000	17,000	17,000	17,000	17,000	17,000

・2024年

都道府県	1月	2月	3月
北海道	16,100	16,100	16,100
青森	18,500	18,500	18,500
岩手	20,500	20,500	20,500
宮城	20,300	20,300	20,300
秋田	17,700	17,700	17,700
福島	22,900	22,900	22,900
茨城	9,500	9,500	9,500
栃木	12,800	12,800	12,800
富山	18,600	18,600	18,600
静岡	19,600	19,600	19,600
京都	22,000	22,000	22,000
兵庫	22,300	22,300	22,300
岡山	14,600	14,600	14,600
広島	19,300	20,300	20,300
徳島	22,500	22,500	22,500
愛媛	13,100	13,100	13,100
高知	21,200	21,200	21,200
熊本	20,000	20,000	20,000
大分	13,100	13,100	13,100
宮崎	11,900	11,900	11,900
鹿児島	17,000	17,000	17,000

○木材チップ（広葉樹）

・2023年

単位：円/t

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道	21,200	21,200	21,200	21,700	21,700	21,700	21,700	21,700	21,700	21,900	21,900	21,900
青森	19,800	19,800	19,800	20,100	20,100	20,100	19,900	19,900	19,900	19,900	19,900	19,900
岩手	19,700	19,700	19,700	19,700	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600
宮城	20,500	20,500	20,900	21,300	21,500	21,500	21,500	21,500	21,500	21,500	21,200	21,200
秋田	22,000	22,200	22,200	22,300	22,300	22,300	22,500	22,500	22,500	22,500	22,500	22,500
福島	21,400	21,400	21,400	21,700	21,700	21,700	21,700	21,700	21,700	21,700	22,900	22,900
栃木	16,400	16,400	16,400	16,400	16,400	16,400	16,400	16,400	16,400	16,400	16,400	16,400
山梨	17,400	17,400	17,400	18,000	18,000	18,300	18,300	18,300	18,300	18,300	18,300	18,300
島根	22,600	22,600	22,600	23,100	25,500	25,500	25,500	25,500	25,500	25,500	25,500	25,500
広島	20,300	20,300	20,100	22,400	22,400	22,400	22,400	22,400	22,400	22,400	22,400	22,400
熊本	22,800	22,800	22,800	24,500	24,500	24,500	24,500	24,500	24,500	24,500	24,500	24,500
宮崎	21,000	21,000	21,200	21,200	21,300	21,300	21,300	21,300	21,300	21,300	21,300	21,300
鹿児島	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700

・2024年

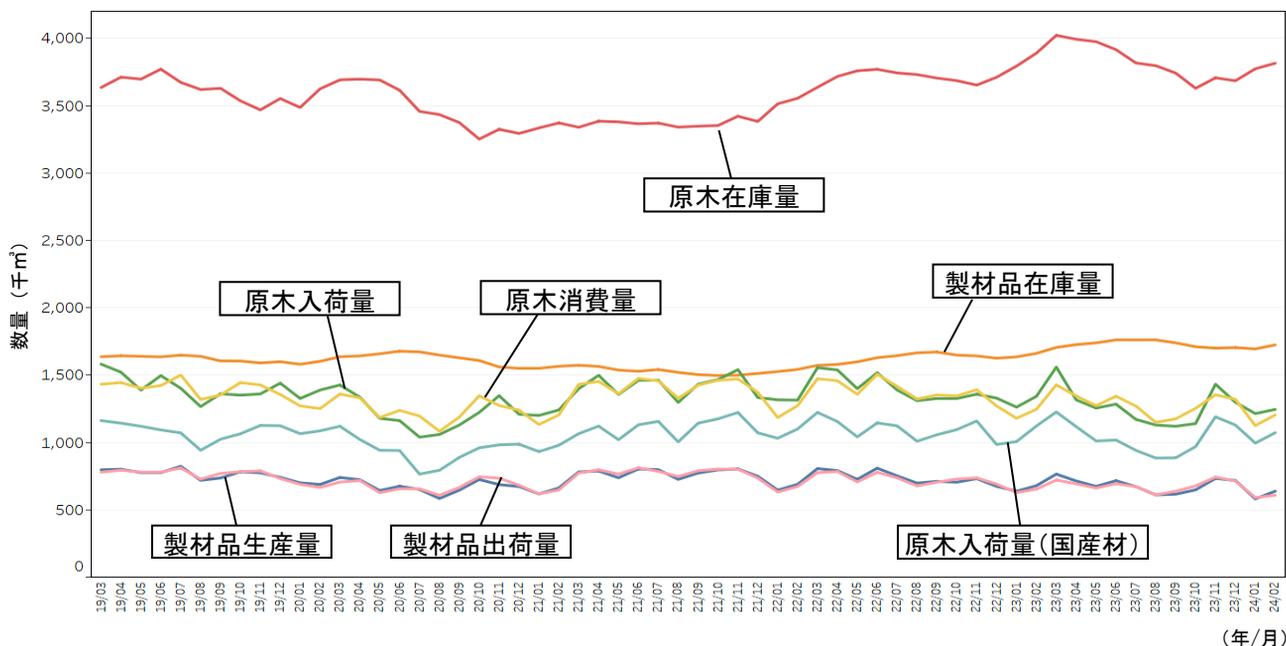
都道府県	1月	2月	3月
北海道	21,900	21,900	21,900
青森	19,900	19,900	19,900
岩手	19,600	19,600	19,700
宮城	21,200	21,200	21,200
秋田	22,500	22,500	22,500
福島	23,000	23,000	23,000
栃木	16,400	16,400	16,400
山梨	18,300	18,300	18,300
島根	25,500	25,500	25,500
広島	22,400	22,400	22,400
熊本	24,500	24,500	24,500
宮崎	21,300	21,300	21,300
鹿児島	15,700	15,700	15,700

資料：農林水産省「木材価格」

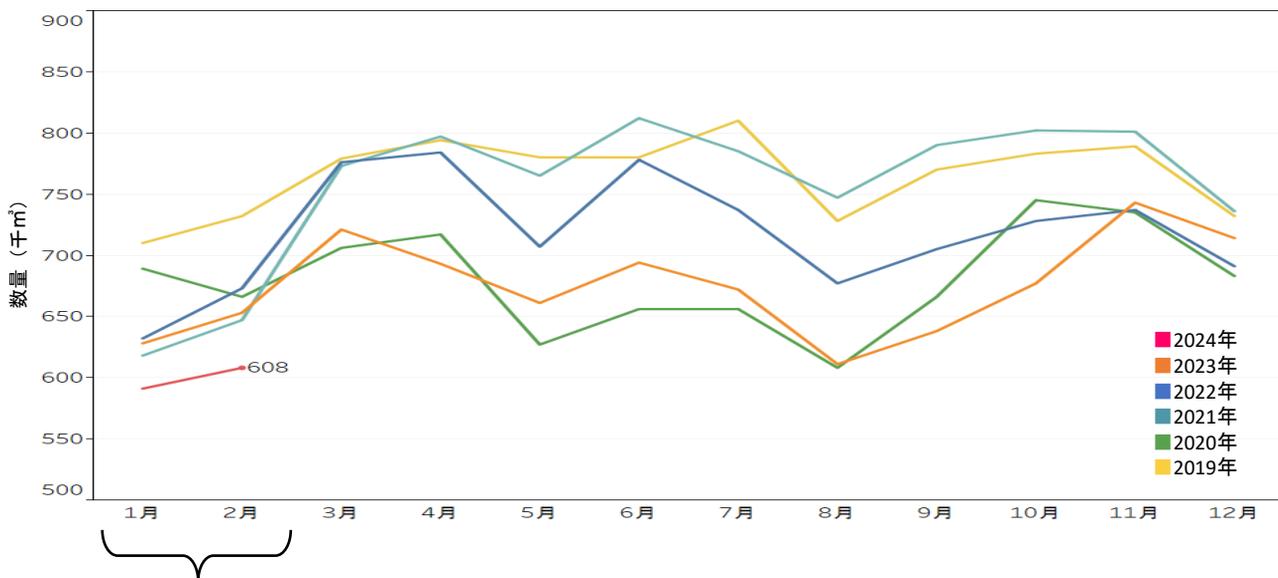
注1：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注2：年間を通じて価格を「x」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

- 2024年1～2月の原木の入荷量は、2,459千m³（2019年比 88%）。
- 同様に製材品の出荷量は、1,199千m³（2019年比 83%）。



○製材品出荷量の月別推移（全国）



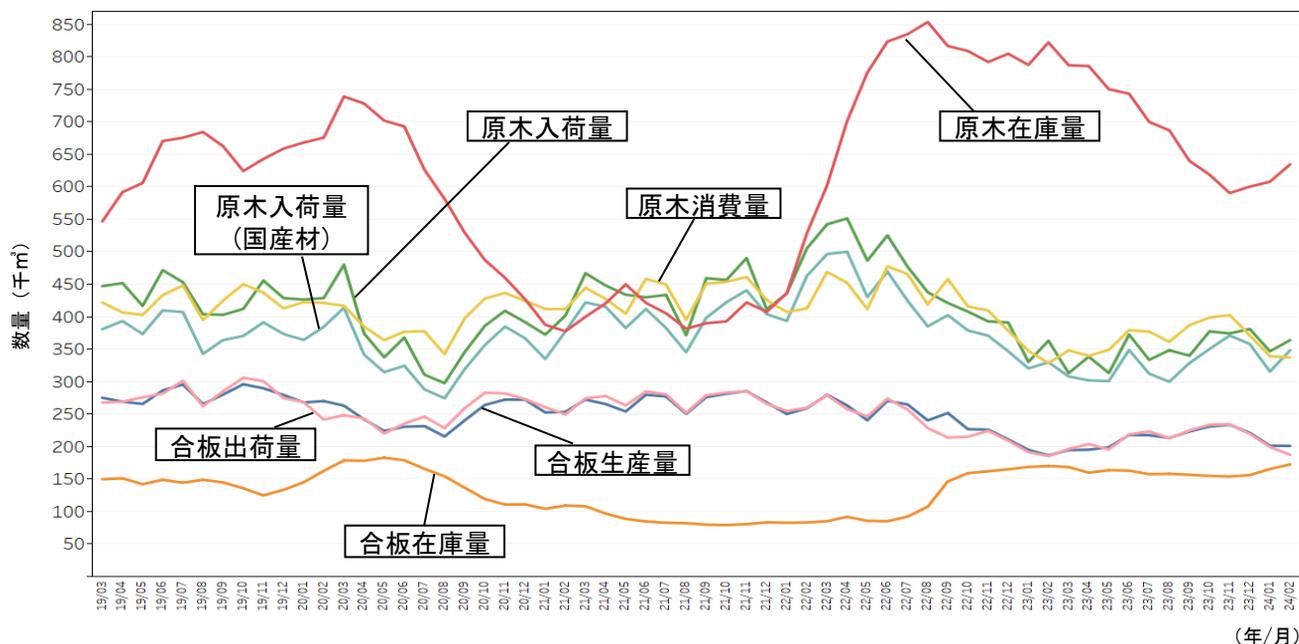
	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
1～2月原木入荷量 合計(千m ³)	2,808	2,715	2,441	2,630	2,604	2,459
2019年との比較※	—	97%	87%	94%	93%	88%
1～2月出荷量 合計(千m ³)	1,442	1,355	1,265	1,305	1,281	1,199
2019年との比較※	—	94%	88%	90%	89%	83%

※2019年（COVID-19の影響前）の数値を100%とした比較

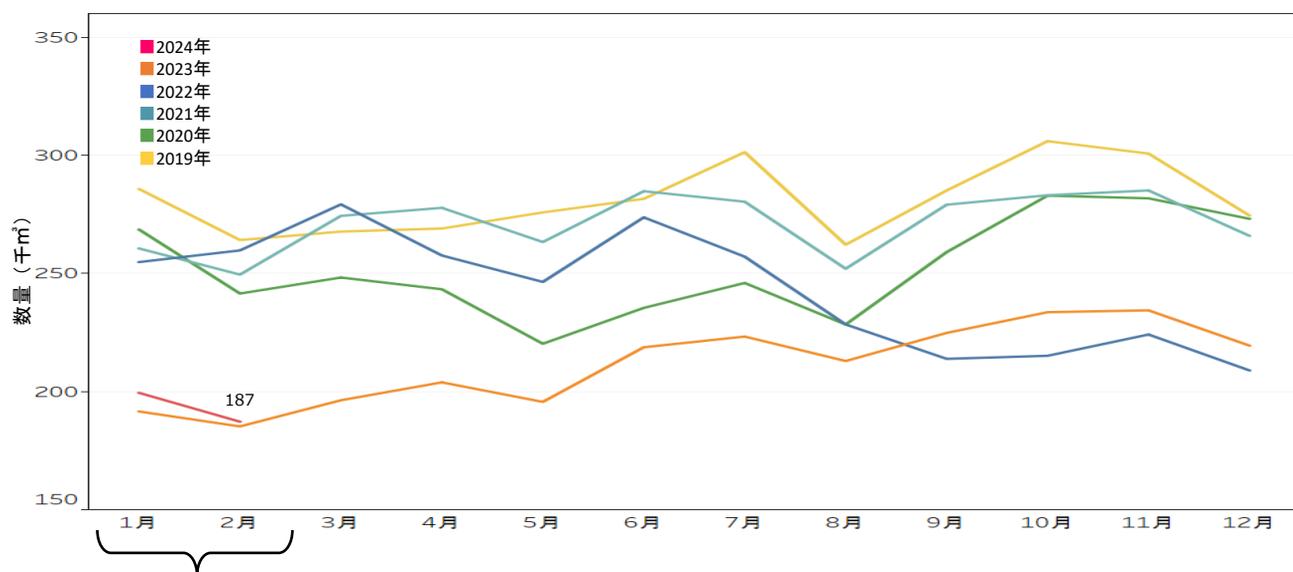
資料：農林水産省「製材統計」

木材需給情報-2 合板工場の原木入荷、製品生産等の動向

- 2024年1～2月の原木の入荷量は、710千 m^3 （2019年比 86%）。
- 同様に合板の出荷量は、387千 m^3 （2019年比 70%）。



○合板出荷量の月別推移（全国）

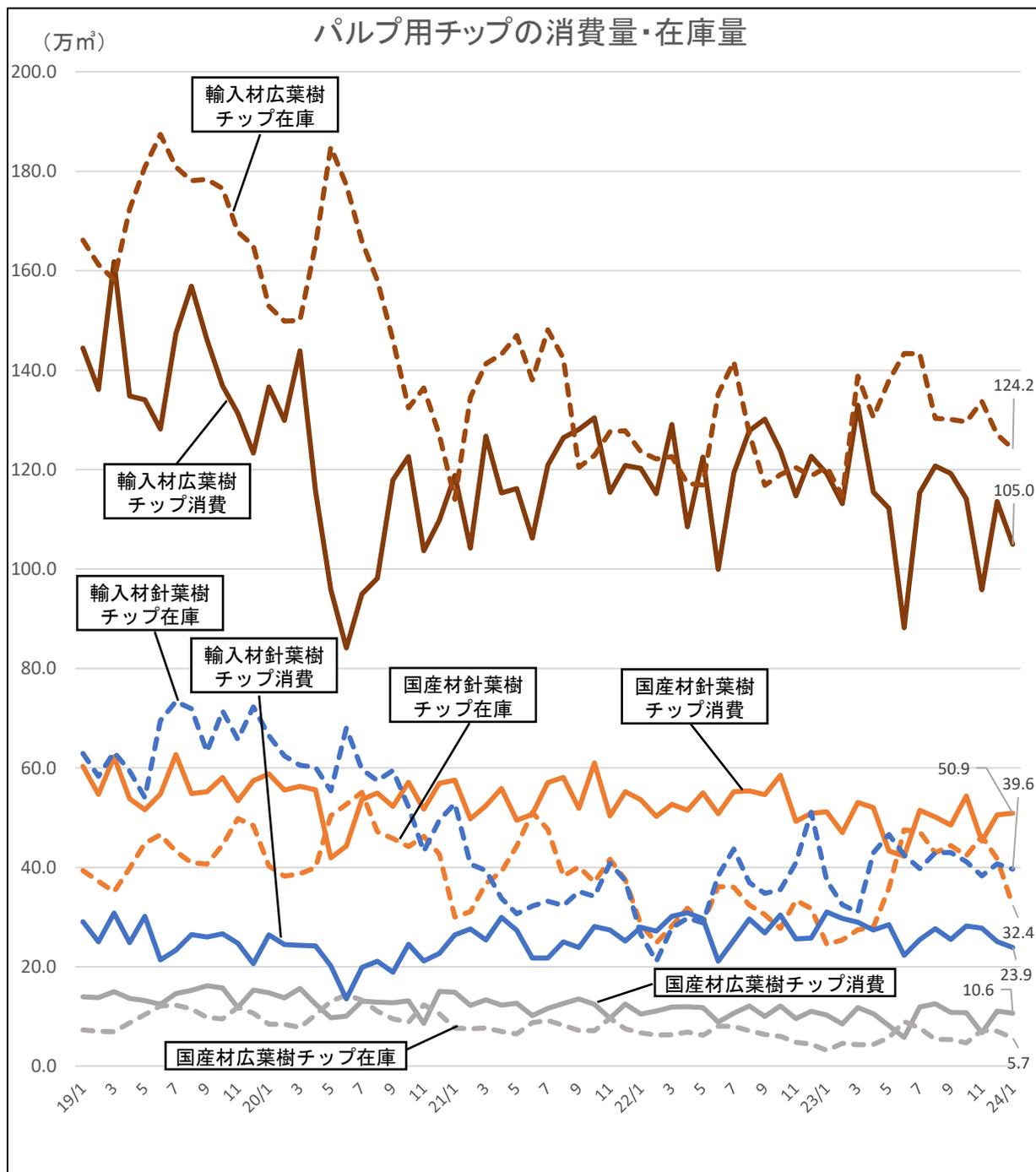


	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
1～2月原木入荷量 合計(千 m^3)	828	855	774	941	693	710
2019年との比較※	—	103%	93%	114%	84%	86%
1～2月出荷量 合計(千 m^3)	550	510	510	515	377	387
2019年との比較※	—	93%	93%	94%	69%	70%

※2019年（COVID-19の影響前）の数値を100%とした比較

資料：農林水産省「合板統計」

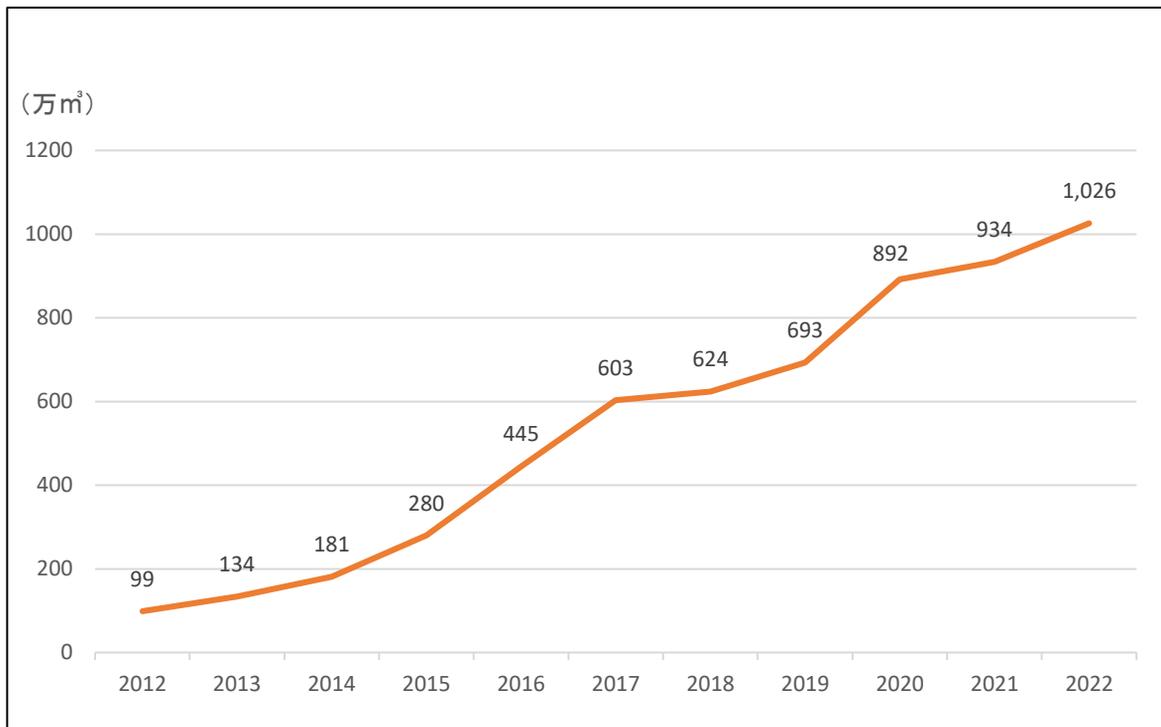
- パルプ用チップの消費について、2024年1月の輸入材広葉樹チップの消費量は105.0万 m^3 。国産材針葉樹チップの消費量は50.9万 m^3 となっている。



資料：林野庁木材産業課調べ

- 燃料材(国内生産)の利用量は、発電利用を中心に増加(過去10年間で約10倍)。
- 2024年2月の紙の生産高は84万トン。板紙の生産高は91万トンとなっている。

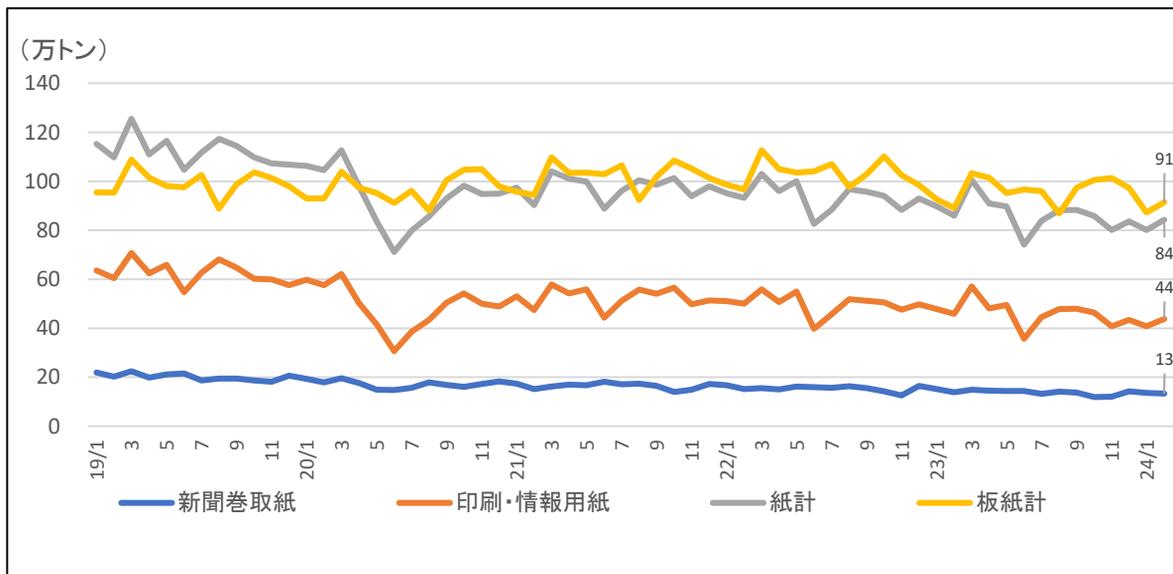
○燃料材(国内生産)の利用量の推移



資料：木材利用課調べ(～2014年)、林野庁「木材需給表」(2015年～)

注：利用量には輸出量は含まない。

○紙品種別生産高



資料：林野庁木材産業課調べ

木材需給情報-5 素材生産量（2022年）

- 2022年の製材、合板及びチップ用材の素材生産量の合計は2,208万m³。

単位：千m³

全 国 都道府県	計	製材用	合板等用	木材チップ用	針葉樹		広葉樹
					スギ		
全 国	22,082	12,937	4,912	4,233	20,386	13,238	1,696
北 海 道	3,335	1,707	706	922	2,774	75	561
青 森	979	361	386	232	942	827	37
岩 手	1,461	470	615	376	1,278	788	183
宮 城	685	218	302	165	637	595	48
秋 田	1,223	524	524	175	1,160	1,112	63
山 形	364	255	68	41	349	339	15
福 島	950	539	81	330	820	668	130
茨 城	455	387	8	60	421	330	34
栃 木	577	463	10	104	523	407	54
群 馬	213	149	27	37	196	145	17
埼 玉	x	30	x	x	42	29	x
千 葉	91	25	8	58	65	48	26
東 京	49	x	x	19	x	30	x
神 奈 川	8	8	0	-	8	5	0
新 潟	156	101	38	17	153	153	3
富 山	70	34	20	16	66	60	4
石 川	113	51	43	19	103	93	10
福 井	139	61	39	39	135	121	4
山 梨	141	19	69	53	122	29	19
長 野	467	189	231	47	461	99	6
岐 阜	391	258	69	64	381	221	10
静 岡	332	191	119	22	330	156	2
愛 知	157	100	x	x	151	82	6
三 重	327	191	76	60	319	190	8
滋 賀	65	14	15	36	53	34	12
京 都	171	46	37	88	149	103	22
大 阪	22	8	-	14	19	11	3
兵 庫	378	91	144	143	364	249	14
奈 良	121	94	9	18	119	70	2
和 歌 山	188	145	29	14	188	124	-
鳥 取	186	65	50	71	163	128	23
島 根	339	102	x	x	296	205	43
岡 山	406	333	28	45	382	131	24
広 島	331	121	76	134	235	122	96
山 口	246	125	x	x	224	151	22
徳 島	307	161	x	x	299	242	8
香 川	24	5	-	19	19	4	5
愛 媛	563	510	x	x	561	343	2
高 知	592	436	x	x	588	255	4
福 岡	186	155	9	22	179	129	7
佐 賀	148	116	6	26	138	83	10
長 崎	129	75	x	x	109	55	20
熊 本	957	744	125	88	935	720	22
大 分	1,198	889	288	21	1,194	1,018	4
宮 崎	2,031	1,869	96	66	2,011	1,878	20
鹿 児 島	743	483	145	115	679	581	64
沖 縄	x	x	-	x	x	-	x

資料：農林水産省「令和4年木材統計」（2023年6月30日公表）

- 統計数値については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値（全国）と内訳（都道府県別）の計が一致しない場合がある。
- 「x」：個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの
- 「0」：単位に満たないもの（例：0.4千m³ → 0千m³）、「-」：事実のないもの

木材需給情報-6 木材生産の産出額（2022年）

- 2022年の都道府県別木材生産の産出額の合計は2,928億円。

単位：1,000万円

都道府県	木材生産	針葉樹					広葉樹	竹材
		スギ	ヒノキ	アカマツ・クロマツ	カラマツ・エゾマツ・トドマツ			
北海道	3,843	3,335	53	-	3	3,231	507	-
青森	1,132	1,093	924	0	49	76	38	-
岩手	2,011	1,803	951	0	209	642	193	-
宮城	764	732	688	4	26	13	30	2
秋田	1,665	1,605	1,554	0	9	31	60	-
山形	497	485	466	0	3	16	12	-
福島	1,016	930	704	131	34	61	85	-
茨城	606	583	396	185	1	0	22	0
栃木	911	856	613	228	3	7	46	7
群馬	278	262	186	44	4	27	15	-
埼玉	x	47	33	12	0	1	x	-
千葉	81	57	44	9	1	2	21	3
東京	40	x	22	13	x	1	x	-
神奈川	13	13	7	6	-	-	0	-
新潟	212	209	209	0	0	0	3	0
富山	80	77	68	2	x	4	4	-
石川	141	131	111	4	x	0	10	-
福井	142	139	123	14	1	0	4	-
山梨	163	142	35	21	18	56	11	-
長野	787	771	113	139	50	466	8	-
岐阜	672	659	336	305	4	11	12	-
静岡	589	588	202	383	0	2	1	-
愛知	224	218	94	104	x	18	6	-
三重	529	522	269	252	1	-	6	-
滋賀	62	50	27	19	1	-	11	1
京都	167	144	96	46	0	0	21	2
大阪	17	14	7	6	1	-	3	-
兵庫	397	382	231	147	0	0	13	0
奈良	200	197	93	105	-	-	2	0
和歌山	229	227	133	94	1	-	-	2
鳥取	195	177	134	39	4	0	18	-
島根	411	374	237	115	15	0	37	0
岡山	590	570	132	433	2	0	15	4
広島	446	392	163	215	14	0	54	-
山口	385	370	220	148	3	-	14	1
徳島	357	353	255	98	0	-	4	0
香川	26	23	4	11	8	-	2	0
愛媛	805	803	407	396	0	-	1	0
高知	859	854	302	508	0	-	2	1
福岡	274	269	182	82	1	2	5	0
佐賀	206	198	100	98	0	-	7	1
長崎	159	145	66	79	-	-	14	-
熊本	1,599	1,578	1,127	451	0	-	15	5
大分	1,604	1,591	1,319	272	0	-	3	4
宮崎	2,828	2,816	2,547	262	6	-	13	-
鹿児島	1,003	941	762	177	1	0	49	13
沖縄	x	x	-	-	-	-	x	-
合計	29,282	27,763	16,745	5,657	477	4,666	1,417	47

資料：農林水産省「令和4年林業産出額」

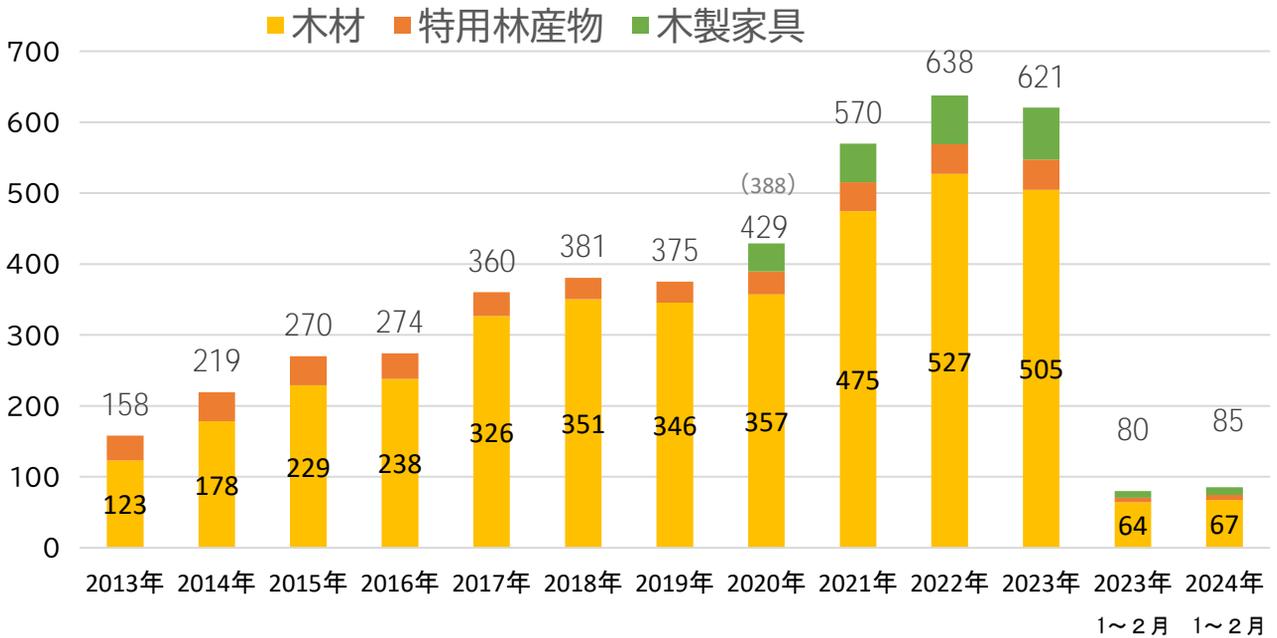
注：都道府県別産出額には、全国値には含まれる木材生産におけるパルプ工場に直接入荷されるパルプ用素材、輸出丸太及び燃料用チップ素材の産出額、薪炭生産におけるまきの産出額、林野副産物採取における木ろう及び生うるしの産出額を含まない。

また、全国値には含まない木材生産における県外移出されたしいたけ原木の産出額を含む。

「x」：個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

- 2024年2月の林産物輸出額は、49億円（前年同期比105%）となった。
- 内訳は、木材が40億円（同105%）、特用林産物が4億円（同106%）、木製家具が6億円（同101%）となった。
- 2024年1～2月の林産物輸出額は、85億円（前年同期比106%）となった。内訳は、木材が67億円（同105%）、特用林産物が7億円（同113%）、木製家具が11億円（同110%）となった。

○林産物輸出の推移
(億円)



資料:財務省「貿易統計」

※特用林産物には、きのこ(はらたけ属以外)、乾しいたけ、ロジン、植物性ろう等が含まれる。なお、木質ペレット、薪、木炭は木材に含まれる。

※2020年の(388)は品目の見直しによる追加品目(木製家具、調整・保存処理したきのこ等)を含まない数字。

※四捨五入により、合計が合致しない場合がある。

○林産物の月別輸出額

(億円)

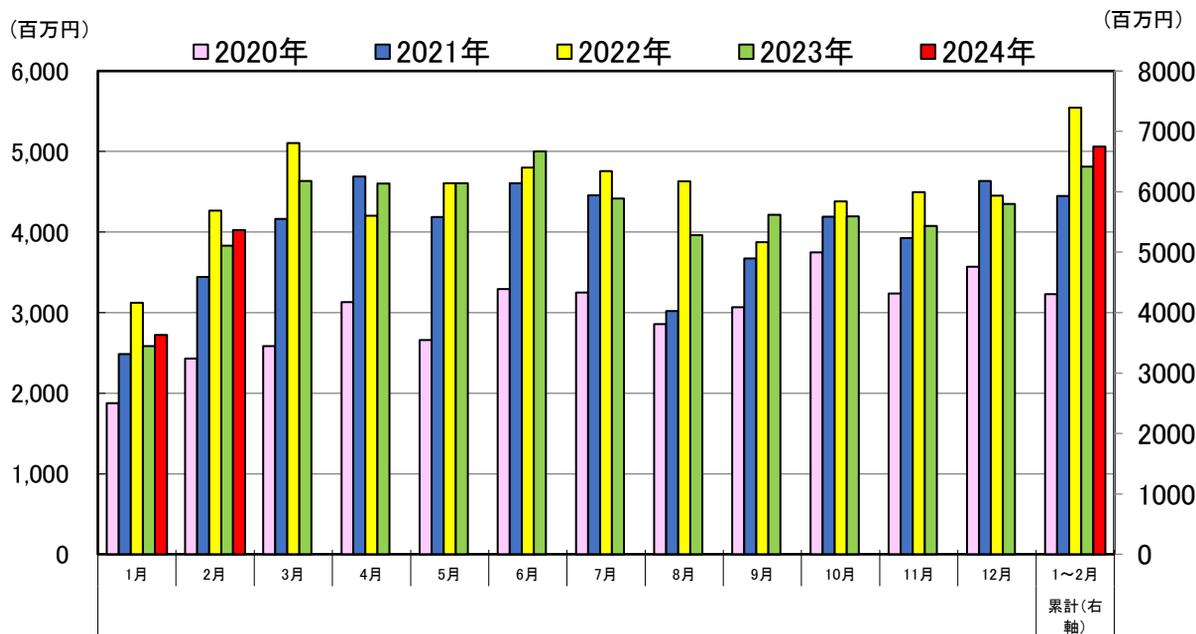
	2023年				2024年					
	林産物	木材	特用林産物	木製家具	林産物	前年比	前々年比	木材	特用林産物	木製家具
1月	33	26	3	4	36	109%	96%	27	3	5
2月	47	38	3	5	49	105%	99%	40	4	6
3月	55	46	3	6						
4月	56	46	3	7						
5月	55	46	3	6						
6月	60	50	4	7						
7月	55	44	4	7						
8月	48	40	3	5						
9月	52	42	4	6						
10月	52	42	4	7						
11月	51	41	4	7						
12月	55	43	4	7						
2月累計	80	64	6	10	85	106%	97%	67	7	11

資料:財務省貿易統計

林産物輸出入情報-2 木材輸出額

- 2024年2月の木材輸出額は40億円(前年同期比105%)、1～2月累計の木材輸出額は67億円(同105%)となった。
- 1～2月累計輸出額の前年同期比をみると、品目別では丸太、製材が増加している一方で、合板は前年を下回っている。丸太は中国向けが、製材は米国、中国、台湾向けが増加している。合板はフィリピン向けが減少している。

○木材輸出額の推移(月別)



○木材輸出額の推移(主な国別・品目別)

輸出先	2月 単月					1～2月累計				
	輸出額 (百万円)	前年比 (%)	主要品目内訳(百万円) 前年比(%)			輸出額 (百万円)	前年比 (%)	主要品目内訳(百万円) 前年比(%)		
			丸太	製材	合板			丸太	製材	合板
中国	2,151	149%	1,881 167%	124 167%	9 82%	3,538	146%	2,991 162%	186 119%	34 202%
韓国	190	69%	120 72%	31 65%	0 103%	377	75%	238 73%	55 77%	0 9%
台湾	206	90%	92 76%	42 129%	0 -	398	109%	169 90%	102 152%	0 -
米国	414	98%	0 -	172 93%	0 -	765	105%	0 -	335 115%	0 0%
フィリピン	761	65%	0 -	34 72%	654 63%	1,185	68%	0 -	71 84%	1,009 65%
その他	302	103%	14 170%	55 123%	5 399%	483	75%	24 173%	78 80%	7 94%
総計	4,024	105%	2,106 148%	458 106%	669 64%	6,746	105%	3,423 144%	827 108%	1,050 66%

※資料：財務省貿易統計(第44類を集計)、四捨五入により、数値が合わないことがある。

木材輸出についての詳細は、次のURLをご覧ください。
<https://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/yusyutu/mokuza-i-yusyutsu.html>



- 2024年2月の木材輸入額は、前月比96%、前年同月比105%の1,099億円。

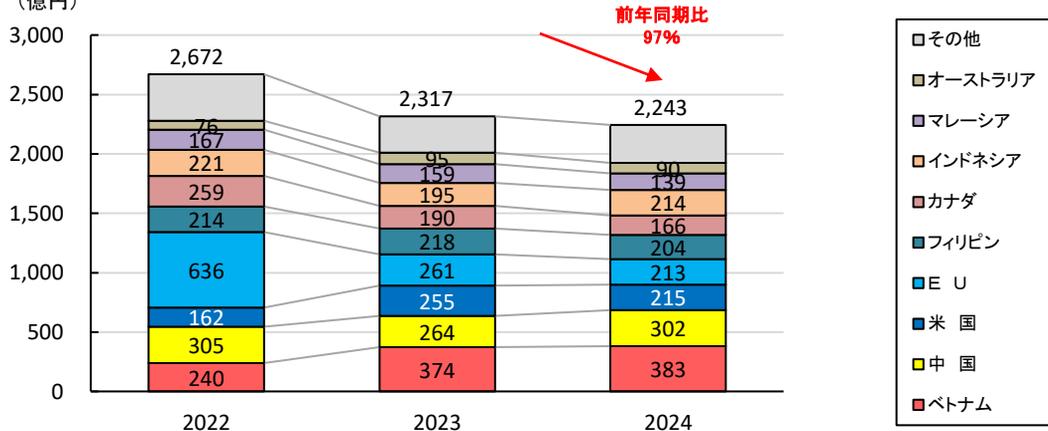
○2024年2月の木材輸入額

(単位:億円)

年 国名	2023年 (1月～ 12月)	月別金額				累計金額		
		2024年 1月	2024年 2月	前月比	前年 同月比	2023年 1～2月	2024年 1～2月	前年 同期比
世界計	13,994	1,144	1,099	96%	105%	2,317	2,243	97%
ベトナム	2,159	168	216	129%	153%	374	383	102%
中国	1,756	169	133	78%	141%	264	302	115%
米国	1,491	108	107	100%	80%	255	215	84%
E U	1,472	100	113	114%	91%	261	213	82%
(フィンランド)	439	30	41	139%	108%	76	71	94%
(スウェーデン)	293	30	21	71%	88%	55	51	93%
フィリピン	1,320	99	105	106%	96%	218	204	94%
カナダ	1,284	90	76	84%	92%	190	166	87%
インドネシア	1,157	105	109	104%	126%	195	214	110%
マレーシア	843	71	68	96%	99%	159	139	87%
オーストラリア	680	46	44	95%	79%	95	90	95%
その他	1,833	188	129	69%	87%	307	317	103%
我が国の総輸入額	1,101,956	95,745	86,270	90%	101%	186,610	177,263	95%
我が国の総輸入額に 占める木材輸入額の割合	1.27%	1.19%	1.27%			1.24%	1.27%	

○2022～2024年の1～2月における木材輸入額

(億円)



資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第44類（木材及びその製品並びに木炭）の合計（※次ページ以降に記載の品目の合計ではない）。

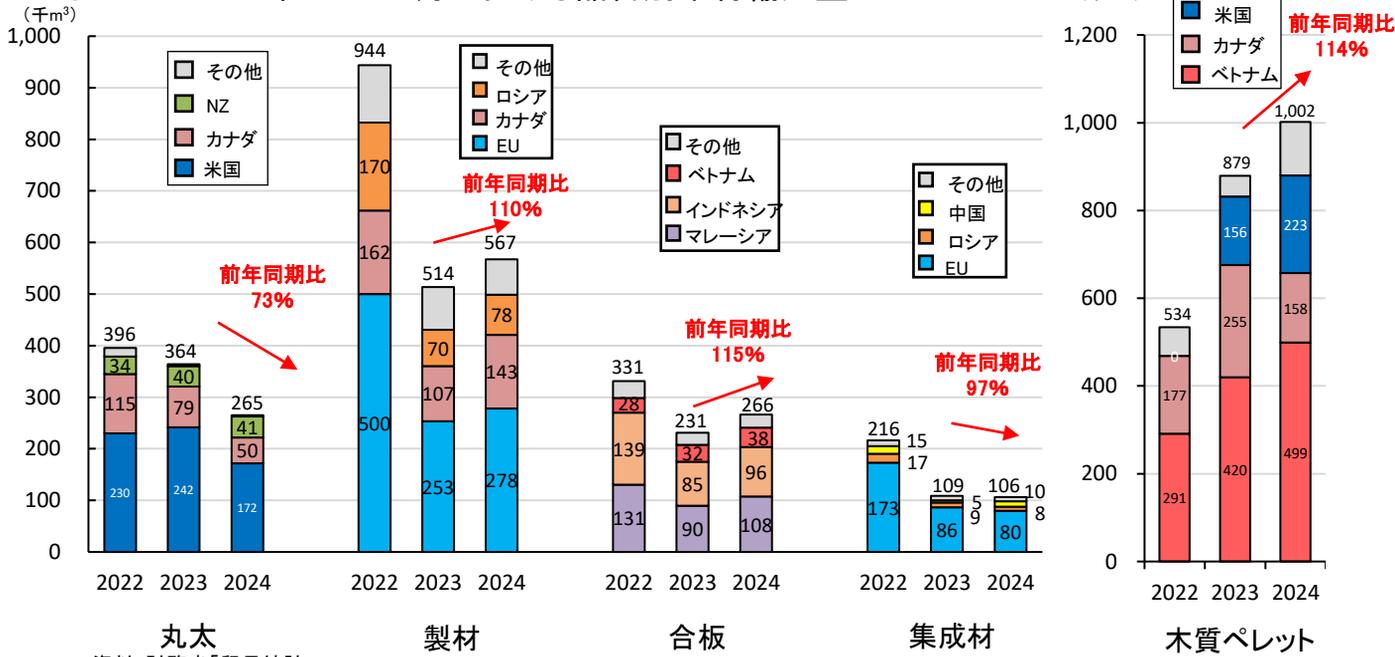
2：E Uに英国は含まない。

3：E Uは、フィンランド、スウェーデンの合計ではない。

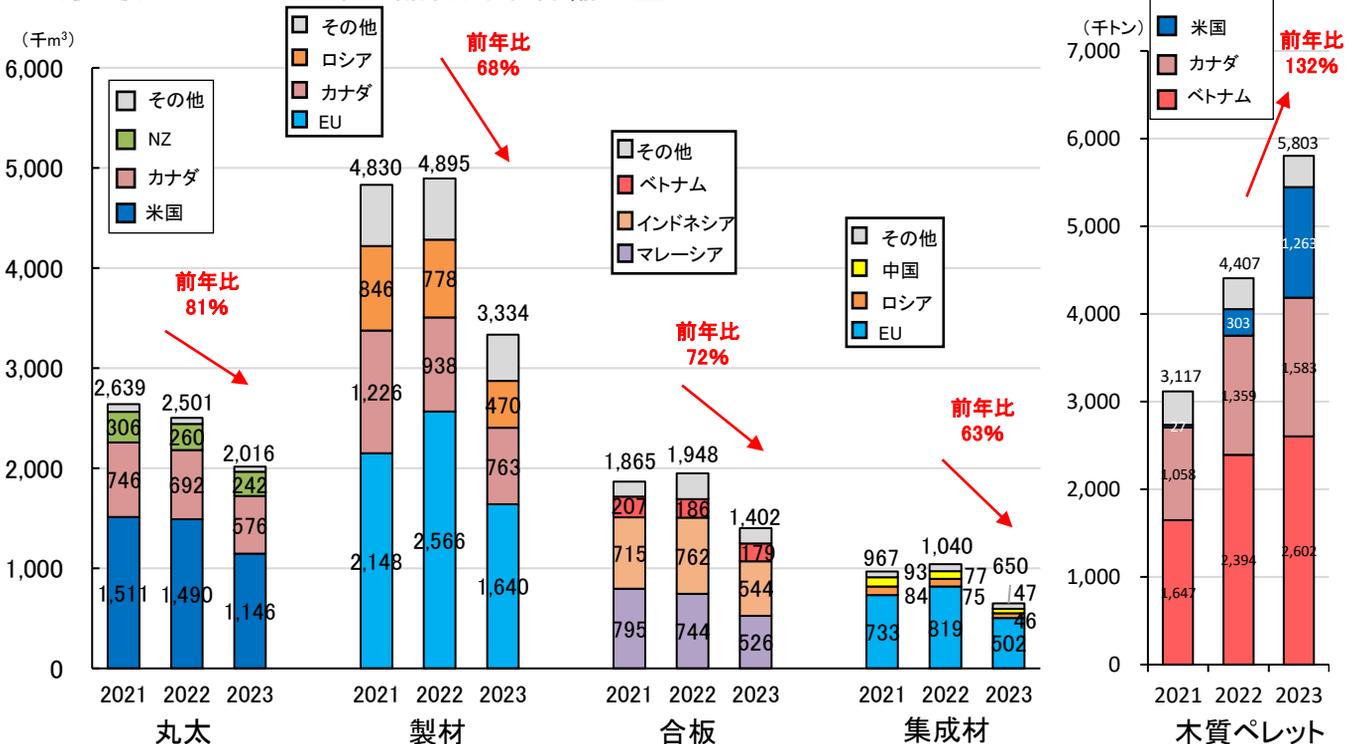
林産物輸出入情報-4 木材輸入量（累計）

- 2024年1～2月累計の品目別輸入量は、前年同期比で、丸太が73%、製材が110%、合板が115%、集成材が97%、木質ペレットが114%となった。なお、2022年同期比では、丸太が67%、製材が60%、合板が80%、集成材が49%、木質ペレットが188%となった。
- 2023年の品目別の輸入量は、前年比で丸太が81%、製材が68%、合板が72%、集成材が63%と大幅に減少する一方、木質ペレットが132%と増加した。

○2022～2024年の1～2月における品目別木材輸入量



(参考) 2021～2023年の品目別木材輸入量



注1：2023年9月号より木質ペレットのグラフを追加。

林産物輸出入情報-4 木材輸入量（丸太）

- 2024年2月の丸太輸入量は、前月比63%、前年同月比73%の10.3万³。

（単位：千³）

材種 国名	年 2023年 (1月～ 12月)	月別数量				累計数量			
		2024年 1月	2024年 2月	前月比	前年 同月比	2023年 1～2月	2024年 1～2月	前年 同期比	
合 計	[100%] 2,016	[100%] 162	[100%] 103			[100%] 364	[100%] 265		73%
米 材	[85%] 1,722	[74%] 121	[98%] 101			[88%] 321	[84%] 222		69%
米国	[57%] 1,146	[57%] 93	[77%] 79			[66%] 242	[65%] 172		71%
カナダ	[29%] 576	[17%] 28	[21%] 22			[22%] 79	[19%] 50		63%
南洋材	[2%] 31	[0%] 0	[0%] 0			[0%] 0	[0%] 0		98%
インドネシア	[0%] 0	[0%] 0	[0%] 0				[0%] 0		皆増
マレーシア	[1%] 17	-	[0%] 0			[0%] 0	[0%] 0		54%
パプアニュー ギニア	[1%] 14	-	-			[0%] 0	-		0%
ロシア材	[0%] 0	-	-			-	-		-
ニュージーランド材	[12%] 242	[25%] 41	-			[11%] 40	[15%] 41		103%
欧州材	[1%] 13	-	[1%] 1			[0%] 1	[0%] 1		82%
EU 計	[1%] 13	-	[1%] 1			[0%] 1	[0%] 1		82%
アフリカ材	[0%] 4	[0%] 0	[1%] 1			[0%] 1	[0%] 1		67%
中 国	[0%] 2	[0%] 0	[0%] 0			[0%] 0	[0%] 0		935%
その他	[0%] 2	[0%] 0	[0%] 0			[0%] 1	[0%] 1		118%

資料：財務省貿易統計

注 1：丸太は輸入統計品目表第4403項の合計。

2：米材は米国、カナダより輸入された材。

3：南洋材はインドネシア、マレーシア、パプアニューギニア、ソロモン諸島、フィリピン、シガポール、ブルネイの7か国より輸入された材。

4：欧州材はロシアを除く全ての欧州各国より輸入された材。

5：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

6：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

7：「-」は輸入実績なし等。

8：EUに英国は含まない。

林産物輸出入情報-4 木材輸入量（製材）

- 2024年2月の製材輸入量は、前月比105%、前年同月比114%の29.0万m³。

（単位：千m³）

材種 国名	年	月別数量				累計数量			
		2023年 (1月～ 12月)	2024年 1月	2024年 2月	前月比	前年 同月比	2023年 1～2月	2024年 1～2月	前年 同期比
合計	[100%] 3,334	[100%] 277	[100%] 290	105%	114%	[100%] 514	[100%] 567	110%	
米材	[26%] 872	[32%] 89	[25%] 72	80%	119%	[24%] 122	[28%] 161	132%	
米国	[3%] 109	[3%] 7	[4%] 11	145%	163%	[3%] 15	[3%] 18	119%	
カナダ	[23%] 763	[30%] 82	[21%] 61	74%	114%	[21%] 107	[25%] 143	134%	
南洋材	[1%] 50	[1%] 4	[2%] 4	107%	104%	[2%] 10	[2%] 9	85%	
インドネシア	[1%] 19	[1%] 2	[1%] 2	89%	116%	[1%] 4	[1%] 4	104%	
マレーシア	[1%] 29	[1%] 2	[1%] 2	128%	99%	[1%] 6	[1%] 4	73%	
パプアニューギニア	[0%] 0	[0%] 0	-	0%	0%	[0%] 0	[0%] 0	97%	
ロシア材	[14%] 470	[14%] 39	[13%] 39	98%	103%	[14%] 70	[14%] 78	111%	
ニュージーランド材	[1%] 32	[0%] 1	[1%] 2	195%	69%	[2%] 8	[1%] 4	42%	
チリ材	[6%] 187	[1%] 4	[8%] 23	667%	98%	[7%] 38	[5%] 27	70%	
欧州材	[50%] 1,668	[49%] 135	[50%] 146	108%	119%	[50%] 258	[50%] 281	109%	
EU計	[49%] 1,640	[48%] 134	[50%] 144	108%	121%	[49%] 253	[49%] 278	110%	
(スウェーデン)	[17%] 567	[23%] 64	[15%] 45	69%	106%	[18%] 91	[19%] 109	120%	
(フィンランド)	[17%] 579	[14%] 38	[20%] 57	152%	139%	[15%] 77	[17%] 95	122%	
アフリカ材	[0%] 4	-	[0%] 1	皆増	562%	[0%] 0	[0%] 1	332%	
中国	[1%] 42	[1%] 4	[1%] 2	56%	134%	[1%] 4	[1%] 6	139%	
その他	[0%] 9	[0%] 1	[0%] 1	147%	165%	[0%] 1	[0%] 1	100%	

資料：財務省貿易統計

注1：製材は輸入統計品目表第4407項の合計。

2：米材は米国、カナダより輸入された材。

3：南洋材はインドネシア、マレーシア、パプアニューギニア、ソロモン諸島、フィリピン、シガポール、ブルネイの7か国より輸入された材。

4：欧州材はロシアを除く全ての欧州各国より輸入された材。

5：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

6：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

7：「-」は輸入実績なし等。

8：EUに英国は含まない。

9：EUは、フィンランド、スウェーデンの合計ではない。

- 2024年2月の合板輸入量は、前月比95%、前年同月比121%の13.0万³。

(単位:千m³)

年 国名	2023年 (1月～ 12月)	月別数量				累計数量		
		2024年 1月	2024年 2月	前月比	前年 同月比	2023年 1～2月	2024年 1～2月	前年 同期比
総輸入量	[100%] 1,402	[100%] 136	[100%] 130			[100%] 231	[100%] 266	
インドネシア	[39%] 544	[38%] 52	[43%] 55	106%	136%	[39%] 90	[40%] 108	120%
マレーシア	[38%] 526	[37%] 50	[35%] 45	90%	101%	[37%] 85	[36%] 96	112%
ベトナム	[13%] 179	[15%] 21	[13%] 17	84%	133%	[14%] 32	[14%] 38	116%
中国	[10%] 139	[9%] 13	[9%] 11	86%	146%	[9%] 21	[9%] 24	115%
E U	[1%] 8	[0%] 0	[0%] 1	231%	138%	[1%] 1	[0%] 1	65%
その他	[0%] 6	[0%] 0	[0%] 0	100%	28%	[1%] 2	[0%] 1	33%

資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第4412.10号111～299、第4412.31号、第4412.33号、第4412.34号、第4412.39号の合計。

2：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

4：EUに英国は含まない。

- 2024年2月の木材チップ輸入量は、前月比101%、前年同月比104%の91.9万トン。

(単位:千トン)

年 国名	2023年 (1月～ 12月)	月別数量				累計数量		
		2024年 1月	2024年 2月	前月比	前年 同月比	2023年 1～2月	2024年 1～2月	前年 同期比
総輸入量	[100%] 11,115	[100%] 906	[100%] 919	101%	104%	[100%] 1,823	[100%] 1,825	100%
ベトナム	[37%] 4,071	[31%] 281	[48%] 438	156%	141%	[39%] 705	[39%] 720	102%
オーストラリア	[18%] 2,022	[16%] 142	[11%] 104	73%	56%	[17%] 315	[13%] 246	78%
タイ	[10%] 1,109	[14%] 125	[7%] 63	50%	65%	[12%] 217	[10%] 187	86%
南アフリカ共和国	[9%] 1,036	[11%] 99	[4%] 33	33%	53%	[9%] 155	[7%] 132	85%
米国	[8%] 940	[7%] 60	[8%] 71	117%	103%	[6%] 110	[7%] 131	119%
その他	[17%] 1,936	[22%] 198	[23%] 210	106%	128%	[18%] 320	[22%] 409	128%

資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第4401.21号と第4401.22号の合計。

2：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

林産物輸出入情報-4 木材輸入量（集成材）

- 2024年2月の集成材輸入量は、前月比101%、前年同月比97%の5.3万^m。
- 構造用集成材に限ると、前月比104%、前年同月比93%の4.6万^m。

（単位：千^m）

年 国名	2023年 (1月～12月)	月別数量				累計数量		
		2024年 1月	2024年 2月	前月比	前年 同月比	2023年 1～2月	2024年 1～2月	前年 同期比
総輸入量	[100%] 650	[100%] 53	[100%] 53			[100%] 109	[100%] 106	97%
うち 構造用集成材	[100%] 558	[100%] 45	[100%] 46	104%	93%	[100%] 93	[100%] 91	98%
E U	[77%] 502	[72%] 38	[78%] 42			[79%] 86	[75%] 80	92%
うち 構造用集成材	[87%] 488	[81%] 36	[88%] 41	111%	94%	[89%] 83	[85%] 77	93%
フィンランド	[38%] 244	[38%] 20	[45%] 24			[40%] 44	[42%] 44	100%
うち 構造用集成材	[43%] 241	[44%] 20	[51%] 24	118%	100%	[46%] 43	[48%] 43	101%
ルーマニア	[13%] 83	[5%] 3	[9%] 5			[12%] 13	[7%] 7	56%
うち 構造用集成材	[14%] 80	[6%] 2	[9%] 4	175%	58%	[14%] 13	[8%] 7	53%
オーストリア	[11%] 72	[11%] 6	[10%] 5			[10%] 11	[10%] 11	104%
うち 構造用集成材	[11%] 64	[11%] 5	[10%] 5	95%	126%	[9%] 9	[11%] 10	111%
中国	[7%] 47	[13%] 7	[7%] 4			[4%] 5	[10%] 10	219%
うち 構造用集成材	[5%] 26	[10%] 4	[4%] 2	54%	205%	[2%] 2	[7%] 6	334%
ロシア	[7%] 46	[8%] 4	[8%] 4			[9%] 9	[8%] 8	87%
うち 構造用集成材	[8%] 43	[9%] 4	[8%] 4	96%	75%	[9%] 8	[8%] 8	90%
その他	[8%] 54	[8%] 4	[7%] 4			[8%] 9	[8%] 8	93%
うち 構造用集成材	[0%] 0	[0%] 0	-	96%	118%	-	[0%] 0	皆増

資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第4412.10号910、第4412.51号100、第4412.59号100、第4412.91号100、第4412.92号100、第4412.99号110、190と、第4418.81号（構造用集成材）の合計。

2：数量の上段の〔 〕書きは、総輸入量に占める各国の割合。

3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

4：「-」は輸入実績なし等。

5：EUに英国は含まない。

6：EUはフィンランド、ルーマニア、オーストリアの合計ではない。

林産物輸出入情報-4 木材輸入量（木質ペレット、LVL）

- 2024年2月の木質ペレット輸入量は、前月比95%、前年同月比116%の48.9万トン。

（単位：千トン）

国名	年 2023年 (1月～ 12月)	月別数量				累計数量		
		2024年 1月	2024年 2月	前月比	前年 同月比	2023年 1～2月	2024年 1～2月	前年 同期比
総輸入量	[100%] 5,803	[100%] 513	[100%] 489	95%	116%	[100%] 879	[100%] 1,002	114%
ベトナム	[45%] 2,602	[47%] 242	[53%] 257	106%	202%	[48%] 420	[50%] 499	119%
カナダ	[27%] 1,583	[15%] 76	[17%] 82	108%	63%	[29%] 255	[16%] 158	62%
米 国	[22%] 1,263	[24%] 121	[21%] 102	84%	65%	[18%] 156	[22%] 223	143%
マレーシア	[4%] 231	[5%] 24	[2%] 10	42%	120%	[5%] 45	[3%] 34	77%
インドネシア	[1%] 67	[7%] 36	[2%] 12	33%	4095%	[0%] 1	[5%] 47	5889%
その他	[1%] 58	[3%] 14	[5%] 26	184%	2396%	[0%] 2	[4%] 40	2087%

資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第4401.31号000を集計。

2：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

- 2024年2月のLVL輸入量は、前月比69%、前年同月比123%の3.9万m³。

（単位：千m³）

国名	年 2023年 (1月～ 12月)	月別数量				累計数量		
		2024年 1月	2024年 2月	前月比	前年 同月比	2023年 1～2月	2024年 1～2月	前年 同期比
総輸入量	[100%] 490	[100%] 56	[100%] 39	69%	123%	[100%] 82	[100%] 95	116%
中 国	[75%] 365	[72%] 41	[66%] 26	63%	111%	[73%] 60	[70%] 66	110%
ベトナム	[22%] 106	[24%] 14	[30%] 12	85%	180%	[22%] 18	[27%] 25	142%
インドネシア	[3%] 15	[3%] 1	[3%] 1	80%	71%	[4%] 3	[3%] 3	83%
その他	[1%] 4	[1%] 0	[1%] 0	129%	114%	[1%] 1	[1%] 1	87%

資料：財務省貿易統計

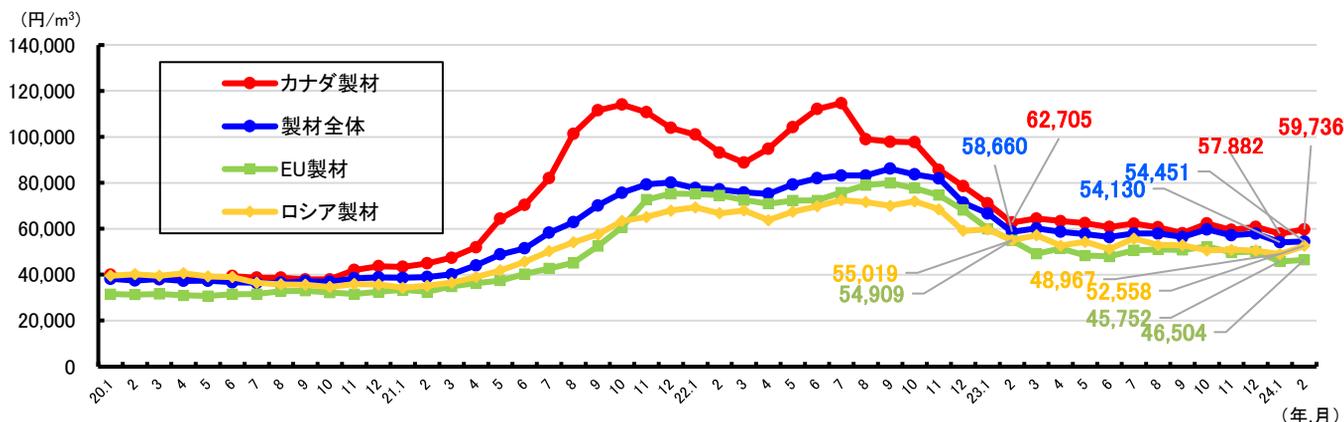
注1：輸入統計品目表第4412.41号000、4412.42号000、4412.49号を集計。

2：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

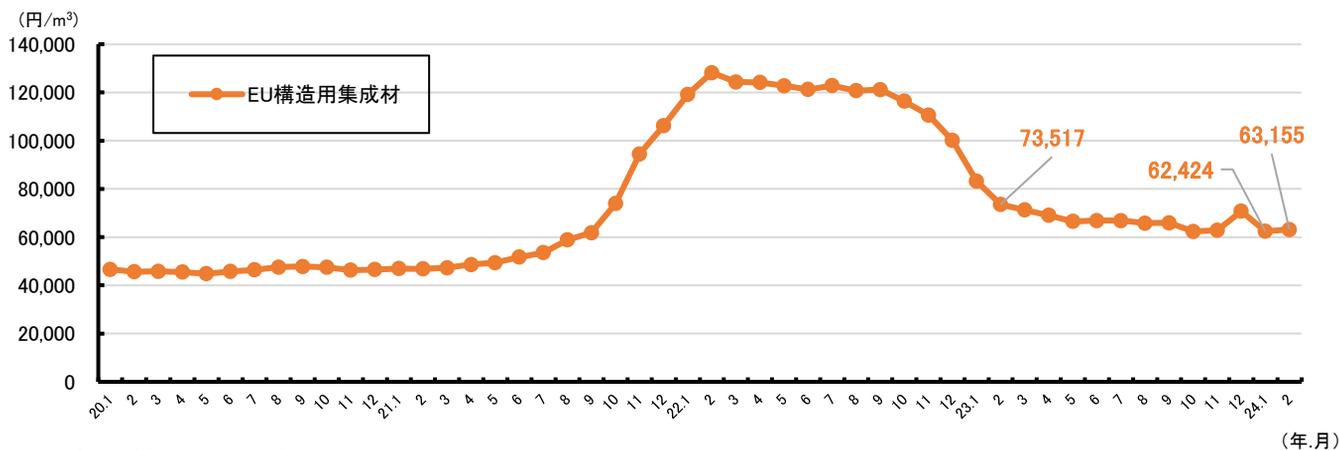
3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

- 2024年2月の製材輸入平均単価（総輸入額／総輸入量）は、前月比101%の54,451円/m³（前年同月比93%）。国別に見ると、カナダの製材は、前月比103%の59,736円/m³（前年同月比95%）、EUの製材は、前月比102%の46,504円/m³（前年同月比85%）、ロシアの製材は、前月比107%の52,558円/m³（前年同月比96%）。
- 同月のEUからの構造用集成材輸入平均単価は、前月比101%の63,155円/m³（前年同月比86%）。
- 同月の合板輸入平均単価は、前月比103%の82,014円/m³（前年同月比92%）。

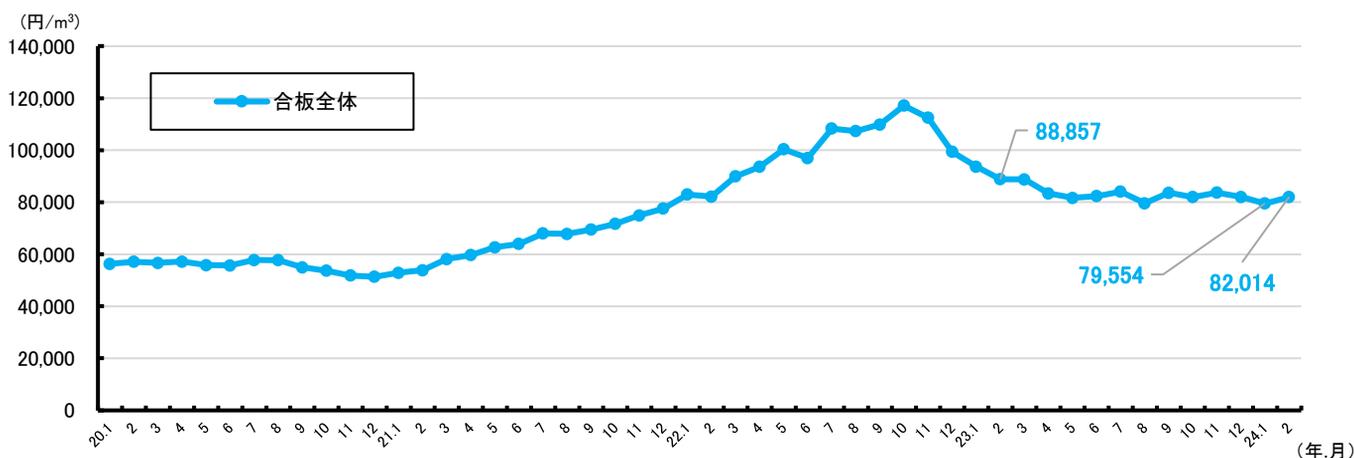
○製材の輸入平均単価



○構造用集成材の輸入平均単価



○合板の輸入平均単価



資料：財務省貿易統計

注：輸入平均単価は、総輸入額を総輸入量で割った値。

特用林産情報-1 特用林産物の国内生産量

- 2022年の食用きのこ類の生産量は46万0,890t（対前年比99.8%）となった。
- たけのこの生産量は2万1,798t（対前年比109.4%）となった。
- 木炭の生産量は1万1,882t（対前年比102.9%）となった。

○きのこ類

単位:t

年次	品目	きのこ類													
		しいたけ計				きのこ		その他							
		しいたけ計	乾しいたけ	乾しいたけ (生換算値)	生しいたけ	なめこ	えのきたけ	ひらたけ	ぶなしめじ	まいたけ	エリンギ	きくらげ類	まつたけ		
2011	平成23	97,125	3,696	25,871	71,254	10,735	60,519	25,426	143,189	2,082	118,006	44,453	38,055	643	36
2012	24	92,414	3,705	25,938	66,476	8,426	58,050	25,816	134,097	1,883	122,276	43,251	38,163	819	16
2013	25	92,437	3,499	24,491	67,946	7,707	60,239	23,383	133,647	2,290	117,363	45,453	40,200	765	38
2014	26	89,093	3,175	22,222	66,872	7,437	59,435	21,796	135,919	2,327	115,751	49,541	39,645	894	42
2015	27	86,284	2,631	18,415	67,869	7,611	60,258	22,897	131,683	3,263	116,152	48,852	39,692	1,182	71
2016	28	88,241	2,735	19,141	69,100	7,324	61,778	22,935	133,297	3,449	116,271	48,523	40,475	1,278	69
2017	29	86,767	2,544	17,807	68,961	6,393	62,568	22,946	135,615	3,828	117,712	47,728	39,088	1,710	18
2018	30	88,196	2,635	18,442	69,754	5,965	63,789	22,809	140,038	4,001	117,916	49,670	39,413	2,309	56
2019	令和元	87,971	2,414	16,901	71,071	5,914	65,157	23,285	128,974	3,862	118,597	51,108	37,635	2,315	14
2020	2	86,394	2,302	16,115	70,280	5,396	64,884	22,835	127,914	3,824	122,802	54,993	38,500	3,132	32
2021	3	86,573	2,216	15,514	71,058	4,981	66,078	24,063	129,587	4,463	119,545	54,521	38,344	3,031	39
2022	4	83,773	2,034	14,241	69,532	4,328	65,204	23,738	126,321	4,501	122,840	56,763	37,798	2,997	35

注:乾しいたけの生換算値は「乾燥重量×7」により算出した。

○その他食品

単位:t

年次	品目	その他食用		
		くり	たけのこ	わさび (根茎+葉柄)
2011	平成23	19,100	32,217	2,703
2012	24	20,900	39,244	2,670
2013	25	21,000	24,203	2,381
2014	26	21,400	36,364	2,429
2015	27	16,300	28,980	2,213
2016	28	16,500	35,592	2,266
2017	29	18,700	23,582	2,214
2018	30	16,500	25,364	2,080
2019	令和元	15,700	22,285	1,973
2020	2	16,900	26,449	2,017
2021	3	15,700	19,917	1,886
2022	4	15,600	21,798	1,635

注:くりの生産量は、農林水産省大臣官房統計部『果樹生産出荷統計』、『令和4年産西洋なし、かき、くりの結果樹面積、収穫量及び出荷量(概数値)』による。

○非食品

年次	品目	非食用																
		生うるし	木ろう	竹材	桐材	木炭	竹炭	オガ炭	オガライト	薪	木質粒状燃料	つばき油	しきみ	さかさ	煉炭	豆炭	木酢液	竹酢液
		kg	t	千束	m ³	t	t	t	t	層積m ³	t	t	t	t	t	t	kl	kl
2011	平成23	1,345	16	1,184	631	22,124	1,058	8,044	1,225	87,760	78,258	80	2,214	832	11,160	11,567	2,141	287
2012	24	1,438	18	1,199	589	22,646	1,002	6,615	1,051	62,071	98,184	44	2,176	860	10,840	11,567	2,136	242
2013	25	1,045	24	1,196	647	21,409	1,119	7,060	435	74,683	110,092	36	1,960	854	7,446	8,831	2,134	232
2014	26	1,003	28	1,178	669	20,281	599	6,869	318	84,659	126,035	50	1,750	832	7,841	10,742	2,100	213
2015	27	1,182	19	1,235	599	17,723	499	7,643	261	72,493	119,570	47	1,892	1,016	6,104	8,235	2,497	185
2016	28	1,294	24	1,272	492	16,769	411	6,553	185	82,584	120,162	70	1,875	1,091	5,123	7,262	2,774	203
2017	29	1,434	15	1,196	465	15,942	526	6,628	88	82,839	126,532	61	1,881	945	6,615	7,306	2,410	193
2018	30	1,845	41	1,143	404	14,699	534	6,479	79	76,659	131,401	45	1,586	811	5,936	6,846	2,450	197
2019	令和元	1,997	26	1,071	264	14,393	447	6,481	66	73,739	147,321	40	1,524	935	4,728	6,093	2,087	193
2020	2	2,051	21	1,030	200	12,945	451	6,363	31	83,536	148,726	42	1,672	866	4,054	5,735	1,743	151
2021	3	2,036	22	916	187	11,550	459	5,156	19	91,791	155,836	78	1,865	1,075	3,972	5,123	1,708	192
2022	4	1,766	22	828	230	11,882	426	4,773	5	91,516	158,046	69	1,774	1,000	3,615	4,830	1,689	190

注: 1 木炭は白炭、黒炭、粉炭を含む。
2 煉炭、豆炭の生産量は日本煉炭工業会調べによる。

資料: 農林水産省「令和4年特用林産基礎資料」

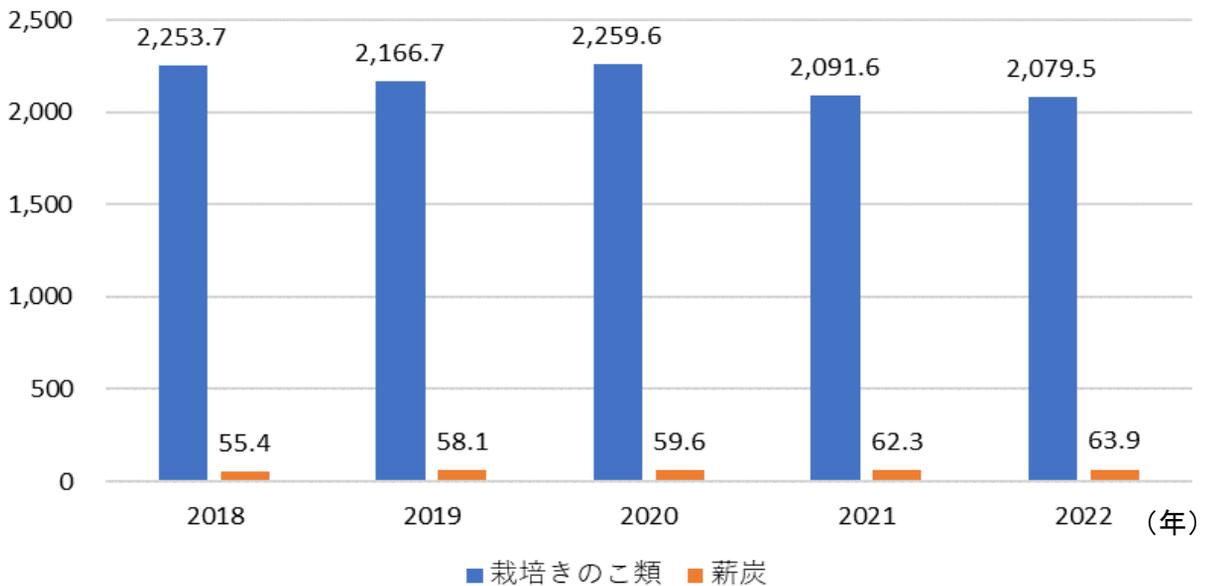
特用林産情報-2 特用林産物の産出額

- 2022年のきのこ類の林業産出額は、2,079.5億円（対前年比99.4%）となった。
- 薪炭の林業産出額は、63.9億円（対前年比102.6%）となった。

（億円）

	2018	2019	2020	2021	2022
栽培きのこ類	2,253.7	2,166.7	2,259.6	2,091.6	2,079.5
薪炭	55.4	58.1	59.6	62.3	63.9

（億円）



資料：農林水産省「令和4年林業産出額」

特用林産情報-3 特用林産物の輸出入量

- 2024年1～2月の乾しいたけの輸出量は7トン、輸入量は725トン。
- 2024年1～2月の木炭の輸出量は5トン、輸入量は10,837トン。

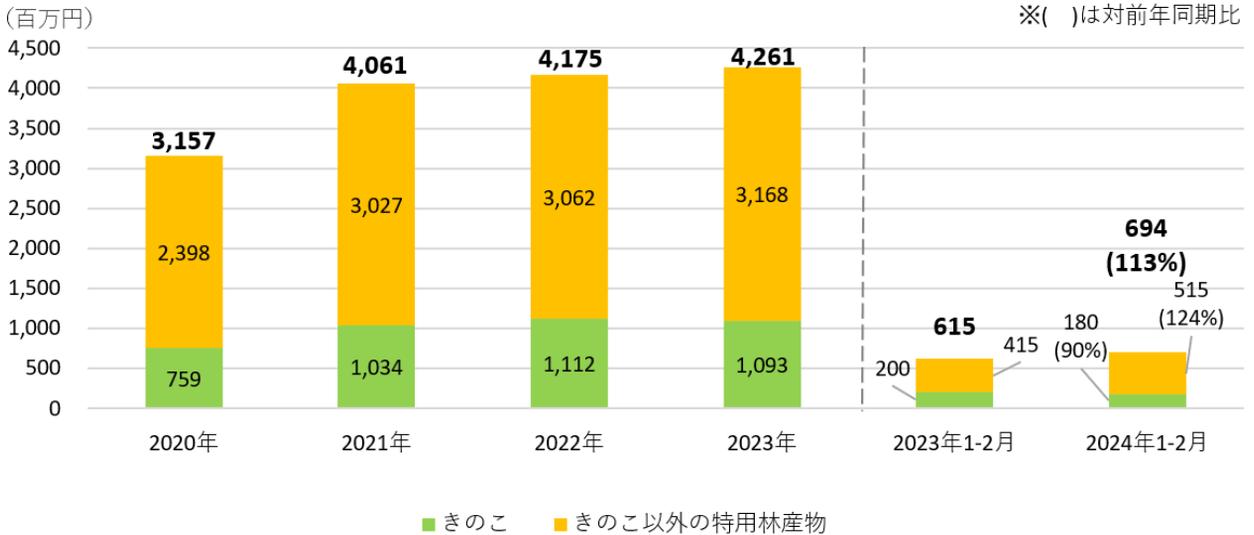
品目	単位	2020		2021		2022		2023		2024 1-2月	
		輸出量	輸入量	輸出量	輸入量	輸出量	輸入量	輸出量	輸入量	輸出量	輸入量
乾しいたけ	トン	33	4,354	41	4,575	36	4,596	36	4,350	7	725
生しいたけ	トン	…	1,785	…	1,988	14	2,262	16	2,162	3	481
なめこ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
えのきたけ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
ひらたけ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
ぶなしめじ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
まいたけ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
エリンギ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
きくらげ類	トン	14	23,190	66	22,060	76	24,882	47	22,831	2	4,059
まつたけ	トン	…	629	…	524	0	408	0	481	-	0
くり	トン	…	7,371	…	8,401	…	8,481	…	8,585	…	470
くるみ	トン	…	56,478	…	67,581	…	53,991	…	54,099	…	8,630
たけのこ	トン	…	142,544	…	149,778	…	153,619	…	130,160	…	21,707
ねまがりたけ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
わさび	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
おうれん	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
きはだ皮	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
木ろう	トン	4	9	5	11	5	10	7	5	1	-
生うるし	kg	…	30,165	…	21,910	…	23,880	…	28,140	…	1,200
つばき油	kl	…	220	…	224	…	218	…	210	…	11
竹皮	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
竹材	千束	0	194	0	191	0	159	0	163	-	25
桐材	m ³	…	9,726	…	9,871	…	9,813	…	9,910	…	1,677
木炭	トン	439	79,739	270	84,224	205	78,838	268	78,816	5	10,837
竹炭	トン	12	7,605	2	6,790	6	9,666	1	12,401	1	1,920
木酢液	kl	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
竹酢液	kl	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
薪	層積m ³	468	2,326	490	7,099	558	9,048	580	8,508	-	1,167
オガライト	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
オガ炭	トン	…	44,499	…	37,584	…	43,396	…	45,198	…	7,475
煉炭	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
豆炭	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…

資料：財務省貿易統計

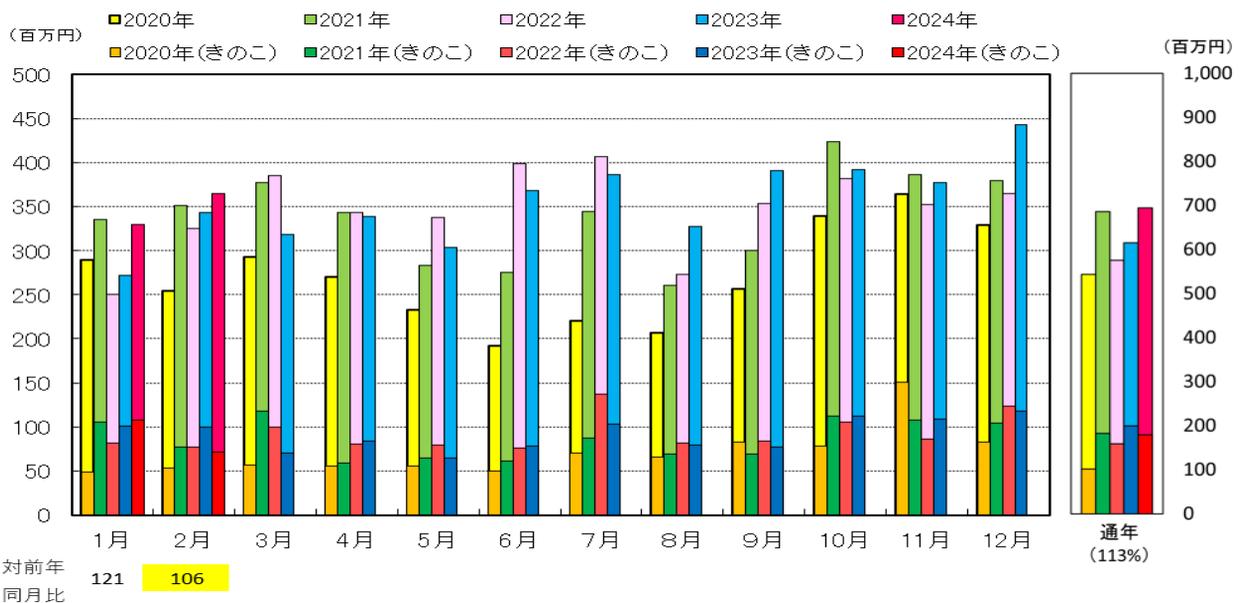
注：「…」は事実不詳又は調査を欠くもの。

- 2024年1～2月の特用林産物輸出額は694百万円（前年同期比113%）となった。内訳としては、きのこ（乾しいたけを含む）は180百万円（対前年同期比90%）、きのこ以外は515百万円（対前年同期比124%）となった。
- 2月の輸出額は365百万円（対前年同月比106%）となった。内訳としては、きのこ（乾しいたけを含む）は72百万円（対前年同月比72%）、きのこ以外は293百万円（対前年同月比120%）となった。

○特用林産物輸出額全体の推移（累計）



○特用林産物輸出額全体の推移（月別）



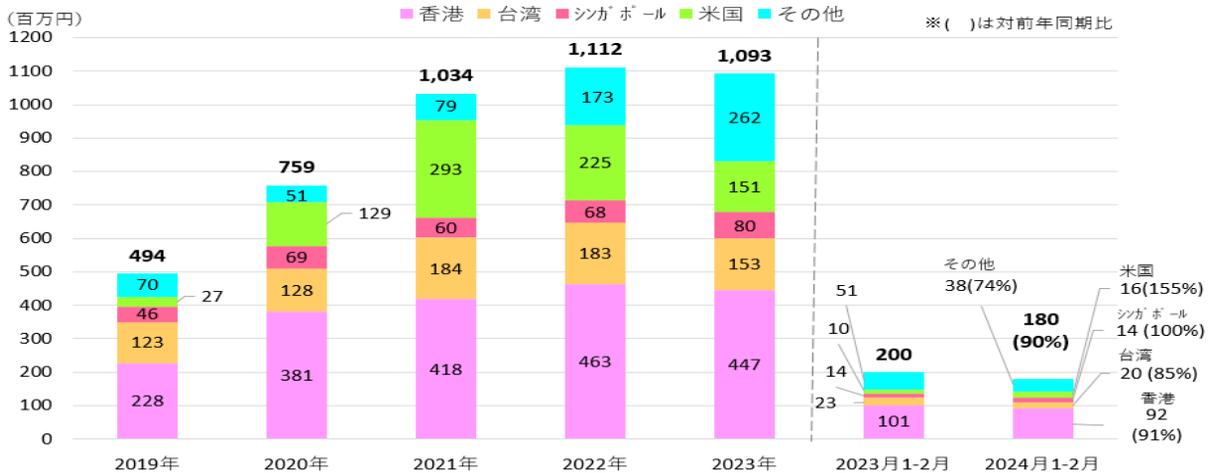
資料：財務省貿易統計

※生鮮きのこ、乾しいたけのほか、ロジン、植物性ろう等を含み、木質ペレット、チップ、薪、木炭は含まず。
 ※令和2年の定義見直しにより、令和3年実績から、乾燥きくらげ類、調整きのこ、保存処理をしたきのこ、しいたけ以外の乾燥きのこを計上した。

特用林産情報- 4 特用林産物の輸出額②

- 2024年1～2月のきのこの輸出額は180百万円で、対前年同期比90%となっている。国別には、主要な輸出先である香港が対前年同期比91%、台湾が85%、シンガポールが100%、米国が155%となっている。
- 2024年1～2月の輸出量は218トンで、対前年同期比83%となっている。主要な輸出先では、香港が対前年同期比83%、台湾が85%、シンガポールが100%、米国が60%となっている。

〇きのこ（乾しいたけ含む）輸出額の推移（累計）



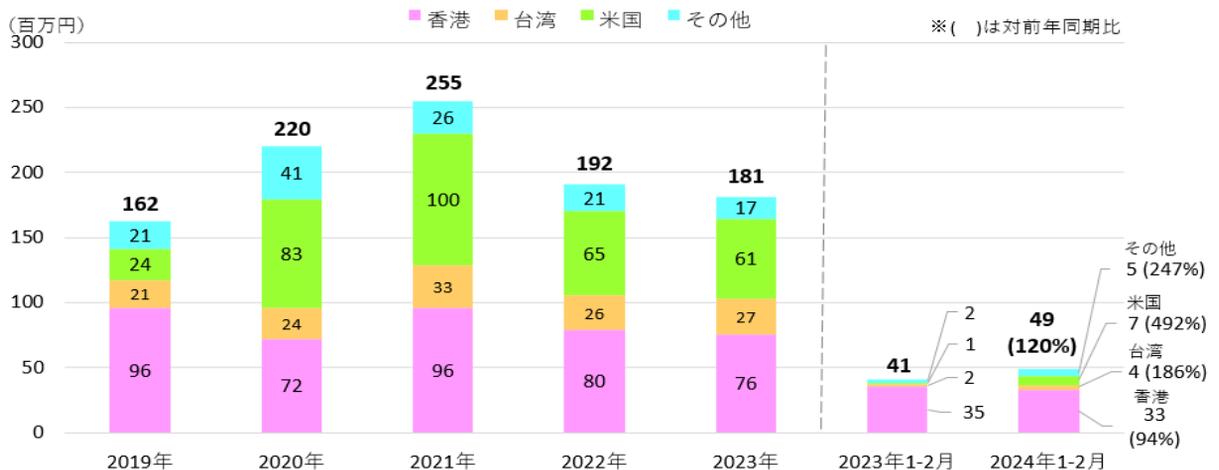
資料：財務省貿易統計

※()は対前年同期比

※令和2年の定義見直しにより、令和3年実績から、生鮮きのこ、乾しいたけに加え、乾燥きくらげ類、調整きのこ、保存処理をしたきのこ及びしいたけ以外の乾燥きのこを計上している。

- 2024年1～2月の乾しいたけの輸出額は49百万円で、対前年同期比120%となっている。国別には、主要な輸出先である香港が対前年同期比94%、台湾は186%、米国は492%となっている。
- 2024年1～2月の輸出量は7トンで、対前年同期比116%となっている。主要な輸出先では、香港が対前年同期比87%、台湾が115%、米国が414%となっている。

〇乾しいたけ輸出額の推移（累計）

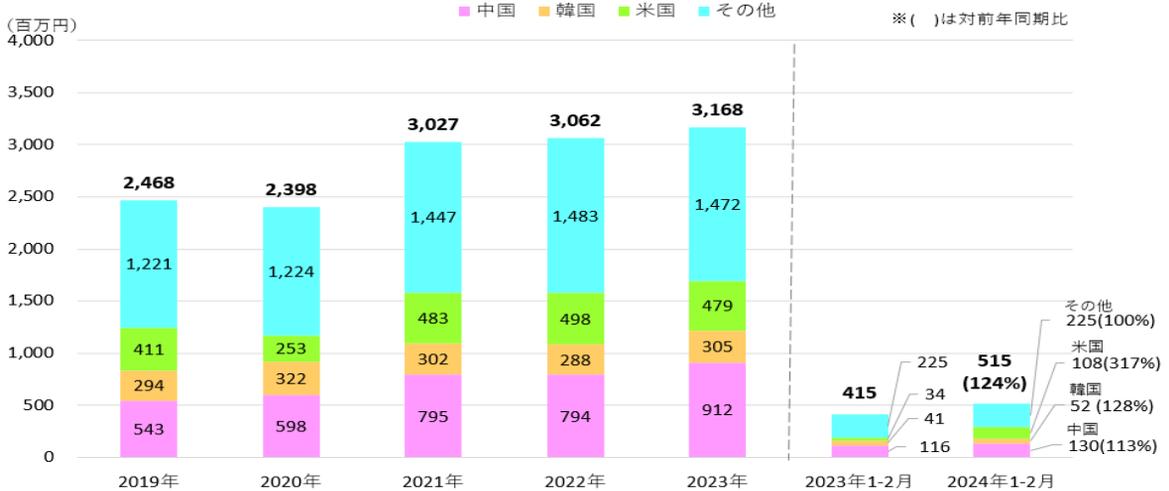


資料：財務省貿易統計

※()は対前年同期比

- 2024年1～2月のきのこ以外の特用林産物の輸出額は515百万円で、対前年同期比124%となっている。国別には、中国が対前年同期比113%、韓国が128%、米国が317%となっている。取引額の大きい品目では、ロジン（松脂）が対前年同期比104%、植物性ろうが133%、テルペン油が205%となっている。
- 2024年1～2月の輸出量は353トンで、対前年同期比99%となっている。主要な輸出先では、中国が対前年同期比116%、韓国が112%、米国が198%となっている。

○きのこ以外の特用林産物の輸出額の推移（累計）



資料：財務省貿易統計
※()は対前年同期比

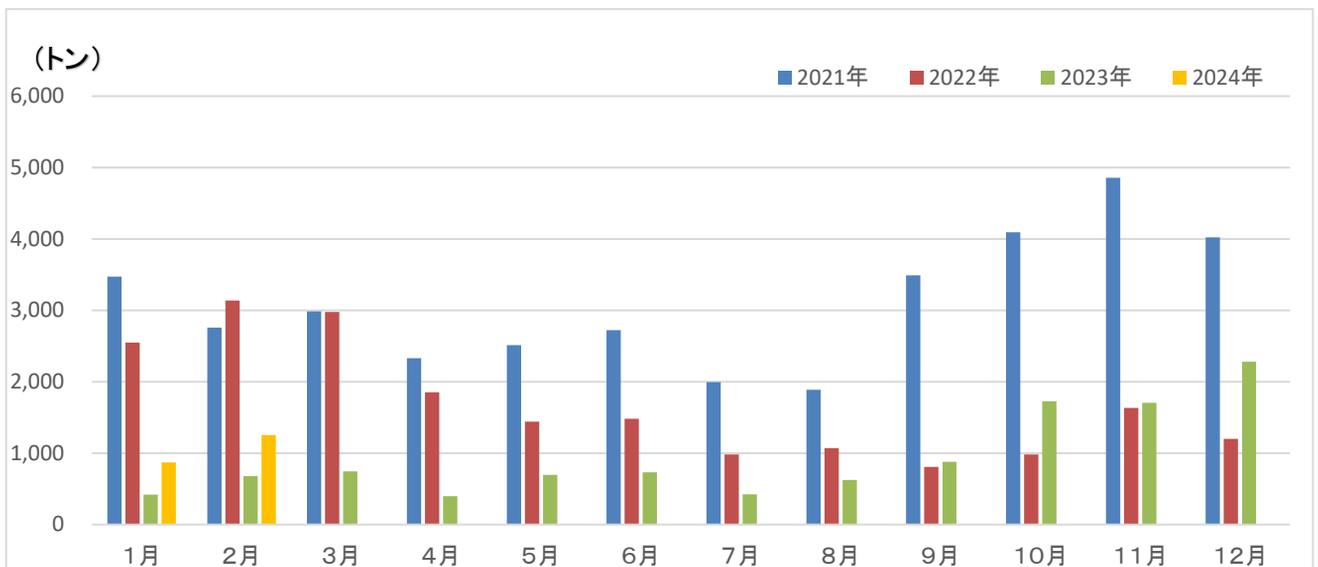
特用林産情報-5 中国からのしいたけ菌糸輸入量

- 中国からのしいたけ菌糸の輸入量は近年増加傾向にあったが、生しいたけの原産地表示のルール改正があった2022年4月以降は減少傾向に転じている。
- 2024年2月の輸入量は1,253トンであり、対改正前直近年の同月比40.0%となっている。

○中国からのしいたけ菌糸輸入量（月別）

（単位：トン）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2021年 (令和3年)	3,472	2,757	2,984	2,330	2,513	2,722	1,996	1,889	3,488	4,092	4,856	4,022
2022年 (令和4年)	2,548	3,136	2,975	1,850	1,439	1,482	980	1,068	808	979	1,634	1,199
2023年 (令和5年)	420	675	746	395	695	732	424	622	880	1,726	1,702	2,278
2024年 (令和6年)	867	1,253										



資料：財務省貿易統計

- 2024年3月のきのこの卸売数量は6,948トン（対前年同月比105.4%）となった。
- 2024年3月のきのこの卸売総額は3,355百万円（対前年同月比109.6%）となった。

きのこ類の卸売数量

単位：トン

	2020年	2021年	2022年	2023年 3月	2023年 10月	2023年 11月	2023年 12月	2024年 1月	2024年 2月	2024年 3月
生しいたけ	48,466	47,744	45,782	1,489	1,621	1,657	1,873	1,480	1,444	1,416
なめこ	16,889	16,285	14,650	498	525	523	528	462	481	513
えのきだけ	98,312	99,571	94,232	2,688	3,586	3,426	3,694	3,014	3,230	3,133
しめじ	62,573	62,049	62,384	1,918	2,201	1,987	2,056	1,726	1,909	1,886
合計	226,240	225,649	217,048	6,593	7,933	7,593	8,151	6,682	7,064	6,948

きのこ類の卸売総額

単位：百万円

	2020年	2021年	2022年	2023年 3月	2023年 10月	2023年 11月	2023年 12月	2024年 1月	2024年 2月	2024年 3月
生しいたけ	43,781	41,270	41,358	1,378	1,737	1,708	2,225	1,660	1,527	1,437
なめこ	7,431	7,032	6,426	229	266	247	247	216	233	247
えのきだけ	26,245	23,267	22,842	696	1,100	1,209	1,591	1,192	1,027	846
しめじ	28,688	25,099	24,164	757	1,137	1,078	1,175	905	908	824
合計	106,145	96,668	94,790	3,060	4,241	4,241	5,238	3,973	3,694	3,355

きのこ類の卸売単価

単位：円/kg

	2020年	2021年	2022年	2023年 3月	2023年 10月	2023年 11月	2023年 12月	2024年 1月	2024年 2月	2024年 3月
生しいたけ	903	864	903	926	1,071	1,031	1,188	1,121	1,058	1,015
なめこ	440	432	439	459	507	472	467	468	484	482
えのきだけ	267	234	242	259	307	353	431	396	318	270
しめじ	458	405	387	395	517	542	572	524	475	437

資料：農林水産省「青果物卸売市場調査」を基に作成。

注1：月別の値は、全国の中央卸売市場のうち、一部の主要卸売市場で得られた旬別の調査結果を単純積み上げて集計したものである。

注2：年別の値は、全国の中央卸売市場の各年の調査結果及び農林水産省が保有する全国の地方卸売市場における直近の年度の市場情報を基に算出された推定値であり、2023年の値は、2024年4月末に更新予定。

林野庁が関係（主催・後援等）する各種セミナー・イベントの情報をご紹介します。

■ 4月中旬以降の開催情報

イベント名	開催日時	会場	イベント概要
第13回「日本の木の家づくり」サミット in 関西	5月21日（火） ～5月23日（木）	国立京都国際会館 アネックスホール	『日本の魅力～住宅のルーツから 新しい暮らしの形を考える～』をテーマに、先進的な地域工務店や有識者から具体的な体験や取り組みを学び、地域工務店として何を為すべきか、これからの住まいづくり・暮らしづくりに必要なことを考えます。 主催：（特非）環境共棲住宅「地球の会」 詳細： https://www.chikyunokai.com/topics/2023/10/vol172.html
理想のすまいと建築フェア	5月30日（木） ～5月31日（金）	インテックス大阪	建築材料及び住宅設備に関する機器・技術を総合的に展示し、広く住宅・非住宅関連の最新情報を提供します。 主催：（一社）日本建築材料協会 テレビ大阪 事前申込：要 参加費：無料 詳細： http://ken-ten.jp/

お知らせ

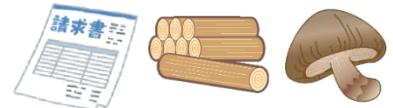
10月1日から消費税インボイス制度が始まりました！

森林・林業・木材産業関係者の皆様に、制度をよく理解いただき、各々の取引実態を踏まえて適切に準備いただく一助となるよう、林野庁ではインボイスサイトを開設し、ポイントをわかりやすくまとめたリーフレット掲載の他、各種パンフレットや関係サイトを紹介しております。
また、相談窓口も開設しておりますので、ぜひご活用ください！



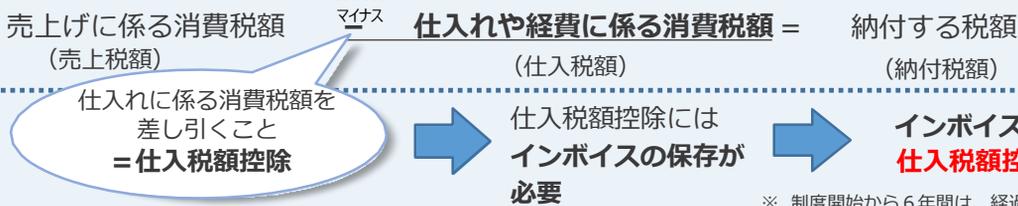
インボイス制度（適格請求書等保存方式）のポイント！

- 消費税は、商品の販売やサービスの提供等の取引に対して広く公平に課される税であり、リーフレット消費者が負担するが、納税は事業者が実施。
- 事業者は、売上げに係る消費税額から、仕入れに係る消費税額を差し引いた額を納税（仕入税額控除）。
- 2023年10月1日から、事業者が仕入税額控除を行うためには、原則として、仕入先からインボイス（適格請求書）を交付してもらい、保存しておく必要。
- このインボイスは、税務署長の登録を受けた課税事業者のみが交付可能。（免税事業者はインボイスの交付不可！）



納付する消費税額の計算方法

（※ 消費税額は、税率ごとに区分して計算する必要）



※ 制度開始から6年間は、経過措置が設けられています。

簡易課税制度を選択した場合の計算方法

納付する税額 = 売上げの消費税額 マイナス 仕入れや経費の消費税額

インボイスの保存不要！

売上げの消費税額 \times みなし仕入率

売上税額がわかれば納付税額の計算が可能！

事務負担が軽減！

事業区分	該当する事業	みなし仕入率
第一種	卸売業	90%
第二種	小売業、農林漁業（飲食料品）	80%
第三種	製造業、農林漁業（飲食料品除く）等	70%
第四種	その他事業（飲食店業等）	60%
第五種	サービス業等	50%
第六種	不動産業	40%

（注）簡易課税制度の適用には、事前の届出書の提出と、基準期間の課税売上高が5,000万円以下であることが必要。

インボイス（適格請求書）とは？

- 丸太等を購入した買手に対し、正確な適用税率や消費税額等を伝えるために、登録番号※、適用税率、消費税額等の記載した請求書。（※ 登録番号は、登録後に税務署から通知される番号）
- 「インボイス」という名称の書類を新たに作成する必要はなく、現在の請求書や領収書等に不足する項目を追加するイメージ。

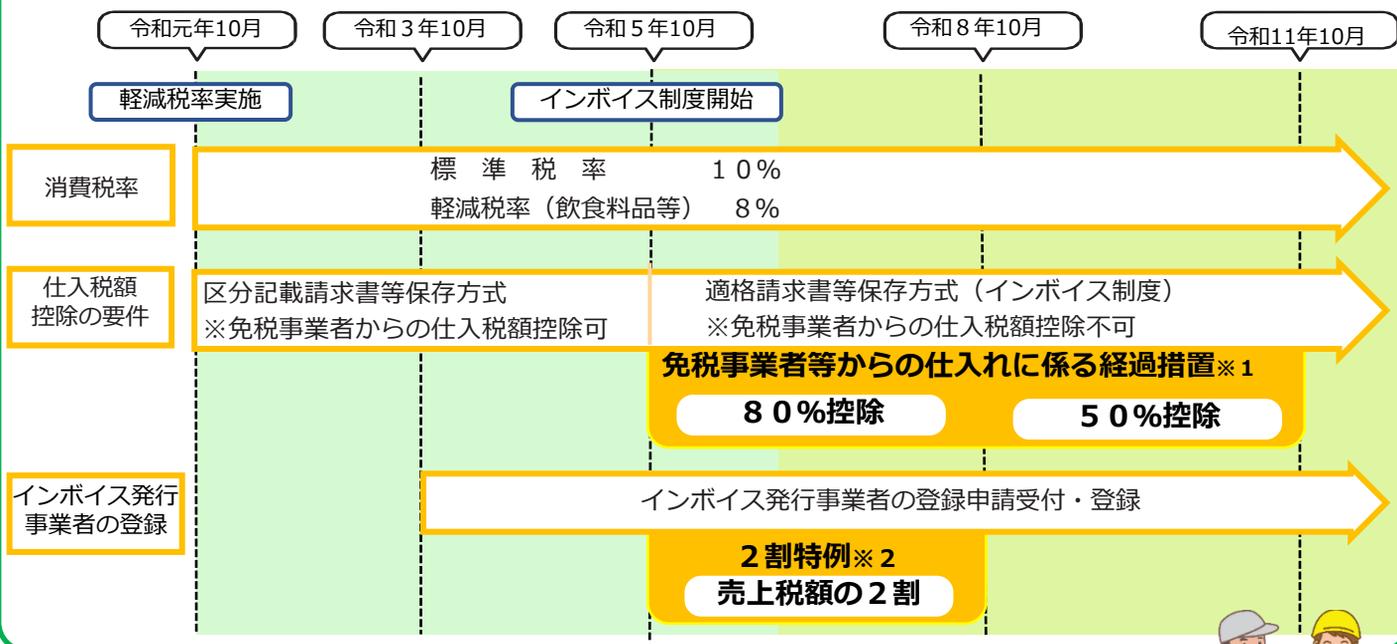
赤字が従来の区分記載請求書との変更点 →

【インボイスのイメージ】

請求書	
●●(株)御中	登録番号 ○○会社 (T1234...)
○年○月分	請求金額 115,400円
○月○日	丸太 110,000円
○月○日	乾しいたけ※ 5,400円
	合計 115,400円
適用税率	
10%対象	110,000円 内税 10,000円
8%対象	5,400円 内税 400円
※は軽減税率対象	
	消費税額等

インボイス制度のスケジュール及び経過措置等

- 免税事業者については、令和5年10月1日から11年9月30日までの日の属する課税期間中に登録を受ける場合、**登録希望日（登録申請書提出から15日経過以後の日）からインボイス発行事業者となる経過措置**が設けられています。但し**登録通知が届くまで一定期間（e-Tax提出：約1ヶ月、書面提出：約1ヶ月半）を要する**ため、登録を受ける事をお決めの方は、**お早めの申請をおすすめします！**
- **制度開始後6年間（～令和11年9月30日）は、従来の区分記載請求書等に基づき、免税事業者等からの仕入れであっても一定の割合で仕入税額控除が出来る経過措置**が設けられています（※1）。
- **免税事業者からインボイス発行事業者となる場合には、納付税額を売上げの消費税額の2割とすることができる負担軽減措置（2割特例）**があります（※2）。



免税事業者の方や、取引先が免税事業者である場合の対応に関する考え方



仕先である免税事業者との取引について、インボイス制度の実施を契機として取引条件を見直すことを検討する場合は、上述の経過措置が設けられていることを考慮しつつ、**一方的な取引価格の引下げや取引の打ち切りなど、独占禁止法上の問題（優越的地位の濫用）等とならないように注意する必要があります。**

また、消費税の性質上、免税事業者であっても自らの仕入れや諸経費に係る消費税を負担しているため、**その分は免税事業者の取引価格に織り込まれる必要があります。**

関係省庁連名で、令和4年1月19日付「**免税事業者及びその取引先のインボイス制度への対応に関するQ&A**」（財務省・公正取引委員会・経済産業省・中小企業庁・国土交通省）が公表されていますので、制度への理解を深め、必要な対応をご検討いただく際に参考としてください。

公正取引委員会
インボイス制度
関連コーナー



林野庁のインボイス制度に関する相談窓口

林野庁企画課 03-3502-8111（内線6064）【受付時間】9:30～17:00（土日祝除く）

メールアドレス syohizei_rinya@maff.go.jp

（インボイス制度の基本的な内容や、業界特有の対応に係るご質問から、地域等での説明会の開催に当たっての講師派遣、広報誌への寄稿等、お気軽にご相談ください！）

林野庁インボイスサイト https://www.rinya.maff.go.jp/j/kikaku/kinyu/syohizei_invoice.html

林野庁
インボイスサイト
はこちら！



公的保証保険機関としての安心
豊富な実績による信頼
60年にわたり多くの方に
ご利用いただいております

農林漁業信用基金の林業信用保証

＜対象事業＞

- ①造林・育林
- ②素材生産
- ③木材・木製品製造
- ④薪炭生産
- ⑤林業種苗生産
- ⑥きのこ生産
- ⑦木材卸売等
- ⑧木材製品利用等



制度の概要、活用事例、申込様式など
詳細はこちら

<https://www.jaffic.go.jp/guide/rin/index.html>

独立行政法人農林漁業信用基金

電話 03-3434-7825 (林業信用保証管理部)

ウッド・チェンジ ロゴマーク 活用のご案内

ウッド・チェンジ ロゴマークは、「ウッド・チェンジ (※)」の趣旨に賛同し、木材利用の取組を積極的に推進していることのPRにご使用いただけます！（例：ポスター、チラシ、webサイト等）

広くロゴマークをご使用いただくことで、「ウッド・チェンジ」の輪が大きくなり、「木づかい運動」を盛り上げ、木材利用の需要拡大につながります。多くの方の使用登録をお待ちしています！

(※) ウッド・チェンジとは、身の回りのものを木に変える、木を暮らしに取り入れる、建築物を木造・木質化するなど、木の利用を通じて持続可能な社会へチェンジする行動を指します。

【背景】

林野庁では、日本の森林の健全な維持やカーボンニュートラルにつながる「伐って、使って、植えて、育てる」という森林資源の循環利用を促進するため、建築物等の木造・木質化や身近なものの木製品化による木材利用拡大に取り組んでいます。

その一環で国民運動として「木づかい運動」を展開しており、「ウッド・チェンジ」を合言葉に様々な取組を行っています。



WOOD  CHANGE

WOOD  CHANGE



【ロゴマークの使用申請について】

1. ウッド・チェンジ ロゴマーク使用規程をご確認の上、内容にご了承いただける場合には、使用を開始する日の5日前（土、日、祝日の日数は算入しない）までに、登録フォームに必要事項を入力して申請してください。
2. 使用を認められないと判断される場合のみ、遅滞なく通知いたします。

(注) 使用が認められない場合の例として、営利を主たる目的とする場合が該当します。

例えば、販売して収益を上げる予定の布バッグやTシャツの柄としてロゴマークをプリントするなど、商品そのものへのマークの使用はお控えください。

なお、商品のチラシやパッケージ、イベントで着用するTシャツや配布者自ら製作する頒布品等に使用することは問題ありません。

ロゴマークの使用規程・ガイドライン、申請登録フォームなど、詳細はこちらから↓
<http://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/kidukai/wood-change-logo.html>

お問い合わせ先：林野庁木材利用課 消費対策班 (TEL：03-6744-2298)



森林所有者の皆様へ

令和6年4月から 相続登記の申請が義務化されました

あなたがお持ちの森林の土地の相続登記はお済みですか？

- ✓ 令和6年4月から、相続によって不動産を取得したことを知った日から3年以内に、相続登記の申請を行うことが義務になりました。
- ✓ 法施行より前に相続した不動産も、義務化の対象です。
- ✓ 新たに設けられる「相続人申告登記制度」により、早期に遺産分割をすることが困難な場合には、申請義務を簡易に履行することができるようになります。

お問い合わせ先

- 制度や手続きの詳細については、法務省Webサイトを
ご覧ください。

相続登記の義務化の詳細について(法務省Webサイト) ▶



Q1 相続登記の義務化とは、どのような内容ですか？

相続人は、不動産を相続で取得したことを知った日から3年以内に、相続登記をすることが法律上の義務になり、法務局に申請する必要があります。

※正当な理由がないのに相続登記をしない場合、10万円以下の過料が科される可能性があります。



Q2 義務化前に相続した不動産も対象ですか？

令和6年4月1日より前に相続した不動産も、相続登記がされていないものは、義務化の対象になります(令和9年3月31日までに申請する必要があります。)ので、要注意です。

Q3 不動産を相続した場合、どう対応すればいいですか？ 相続人が多数いて、早期の遺産分割が難しいのですが。

相続人の中で早めに遺産分割の話し合いを行い、不動産を取得した場合には、その結果に基づいて法務局に、相続登記をする必要があります。

早期の遺産分割が難しい場合には、「相続人申告登記※」という簡便な手続を法務局でとることによって、義務を果たすこともできます。

※相続人申告手続は、戸籍などを提出して、自分が相続人の1人であることを申告する、簡易な手続です。

Q4 相続登記については、どこに相談すればよいですか？

お近くの法務局(予約制の手続案内を実施中)や、登記の専門家である司法書士・司法書士会等にご相談ください。



Q5 自分の森林がどこにあるのか分からないのですが。

森林が所在する(と思われる)地域を管轄する市町村の林務担当部局等にご相談ください。

法務省
不動産登記推進
イメージキャラクター
「トウキツネ」

Q6 森林を今後どのように管理したら良いか分かりません。

森林が所在する地域を管轄する都道府県の出先機関や市町村の林務担当部局、森林組合等にご相談ください。



お知らせ

緑の募金

ご協力を
お願い
します

もり まも もり い
森林を守る 森林を活かす

国土緑化運動・青森運動ポスター原画コンクール
「文部科学大臣賞」
原画：玉置 花怜さん

「緑の募金」は、身近な地域の森づくりをはじめ、国内外の森づくりや人づくりなどに大切に活用されています。



緑の募金

ご協力をお願いします

春の新緑シーズン(1月～5月)と秋の紅葉シーズン(9月～10月)の年2回
家庭募金、街頭募金、職場募金、企業募金、学校募金などによって行われています。

緑の募金に関するお問い合わせはこちらまで

公益社団法人 国土緑化推進機構  0120-110-381
ホームページ <https://www.green.or.jp> 電子メールアドレス bokin@green.or.jp



森林保険

は、
森林所有者のみなさまの
安心を支える公的保険制度です。

－ 保険金のお支払いの対象となる8種類の災害 －



火災
山火事で受けた
損害



風害
暴風による幹折れ、
根返りなどの損害



水害
豪雨、洪水による
埋没、水没、流失な
どの損害



雪害
豪雪・積雪による
幹折れ、根返り
などの損害



干害
乾燥による枯死な
どの損害



凍害
凍結、寒風など
による枯死などの
損害



潮害
潮風、潮水浸水な
どのによる枯死な
どの損害



噴火災
火山噴火による焼
損、幹折れ、埋没、
根返りなどの損害



台風、山火事などの災害による
森林の損害への大切な備え

加入できる森林は？

原則、人工林を対象としています。

誰でも申し込める？

個人、法人を問わず
どなたでもお申込み
いただけます！

相談・申込先は？

最寄りの森林組合、
森林組合連合会に
お気軽にご相談ください。



詳しくはホームページをご覧ください▶

お支払い事例

令和2年【水害】

(鹿児島県 公有林)

ヒノキ (52年生)

実損面積 0.19ha

契約面積 5.34ha

支払保険金 222,300円

(参考) ha当たり保険料
3,650円/年



令和2年7月3日から4日にかけて断続的に激しい雨が降り続き、いったんはおさまったものの5日夕方から6日にかけて再び猛烈な雨となった。

当該地の水害は、この直後に森林組合職員により確認されたものである。

なお、7月3日から31日にかけての西日本・東日本各地の一連の大雨は、令和2年7月豪雨と命名された。



たまちい

入ってよかった
森林保険

森林保険
公式キャラクター



そよりん

お問い合わせは、国立研究開発法人 森林研究・整備機構森林保険センター(044-382-3500)まで